PHALANX COMMUNITY · ハンドブック · 2026年10月

SPARTAN OS ハンドブック

7つのステップで始める方法（ボンドが先）、2026年9月24日時点の表示どおりの条件、トピック別のすべての回答、よくある反論への応答スクリプト、11のデューデリジェンス質問へのプロジェクトの回答、海外パートナーへのメッセージとボンドに関するガイダンス、ローンチ以降のお知らせ、そして資金を安全に保つためのルール。スマートフォンでも印刷でも使えるライブラリです。

目次

このハンドブックの内容

ライブラリと同じ内容を、新しく参加する人が出会う順に並べています。まず7つのステップ、ステーキングの前にボンド、次に条件、次にすべての回答、次に寄せられる反論、次に11のデューデリジェンス質問へのプロジェクトの回答、次にプロジェクトが新しい海外パートナー全員に送るメッセージとボンドに関するガイダンス、次にこれまでのお知らせ、最後にルールです。

I 始め方：7つのステップ 04

II 本日の条件（2026年9月24日時点の表示） 08

III トピック別の回答 13

IV よくある反論 62

V デューデリジェンス：11の質問とプロジェクトの回答 69

VI 海外パートナーへのメッセージとボンド 81

VII ローンチ以降のお知らせ 90

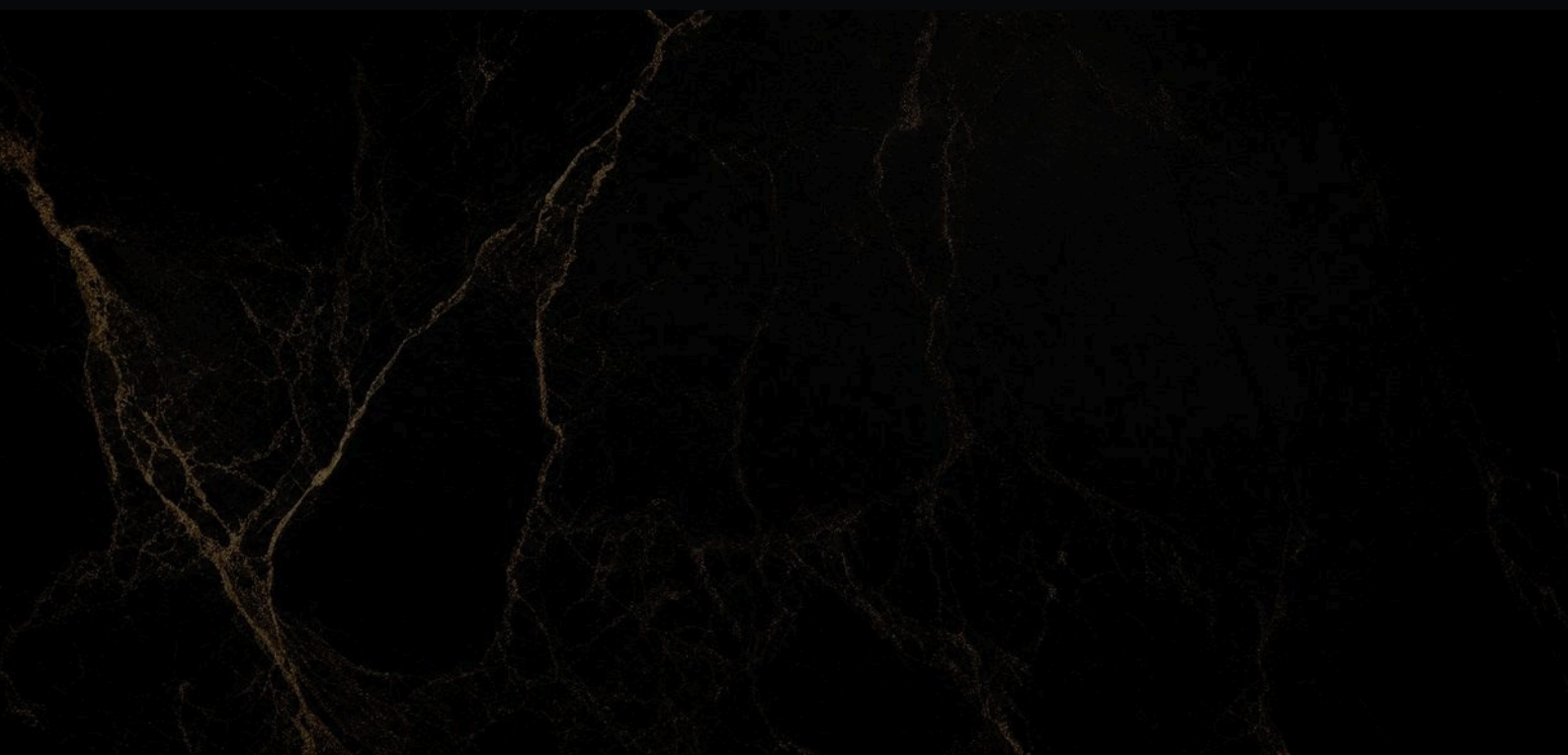
VIII 安全、検証、公式リンク 94

読み方

すべてのレートに上限と日付を添えています。数値がdAppによるものである場合はその旨と読み取った日付を記し、オンラインミーティングや資料によるものである場合はその出典を明記しています。ここにある内容はいずれもリターンを約束するものではありません。最終ページのリンク先にあるライブラリが最初に更新され、このハンドブックは版を重ねるごとにそれに追随します。

Phalanx

三百人が峠を守り抜けたのは、一人ひとりが隣の者を守ったからです。コミュニティも同じように動きます。すべての数値に上限と日付を添えること、リターンを約束しないこと、リンクは公式ページのものだけを使うこと、答えのない質問は推測せずリーダーに回すこと。この4つのルールを守るプロモーターにはチームを任せることができ、初日にこれを聞いた新しい人は、自分がどのようなチームに加わったのかを理解します。



01

第 I 部

始め方：7つのステップ

ウォレットを持ったことがない人のために。何をするか、何が必要か、うまくいったことをどう確かめるか。ひと晩で、まず少額から。ボンドが先です。ステーキングは、システムに参加し、リーダーから購入したRMを保有した後に行います。

ステップ1

ウォレットのインストールとバックアップ

公式アプリストアの掲載ページからBitget Walletをインストールします（Anubis Chainが推奨しています。チェーンが組み込まれており、スワップとクロスチェーンもアプリ内で利用できます）。OKX Wallet、TokenPocket、Binance Wallet、MetaMaskも使えますが、その場合はステップ2でネットワークを手動で追加します。新しいウォレットを作成し、シードフレーズ（復元フレーズ）を紙に書き、その紙はオフラインで保管してください。公式アカウントがそれを尋ねることは決してありません。

必要なもの

スマートフォンまたはパソコン、10分、ペン。

成功の確認方法

ウォレットに0xで始まるアドレスが表示されます。このアドレスはAnubisを含むすべてのEVMチェーンで同じです。

ステップ2

ウォレットにAnubis Chainを追加

Bitget Walletでは、Anubisはすでにネットワーク一覧にあります。それに切り替えてください。その他のウォレットでは、次の値を正確に入力してカスタムネットワークを追加します。ネットワーク名：Anubis、RPC：https://rpc.anubispace.org 、チェーンID：6714、シンボル：DAI、エクスプローラー：https://browser.anubispace.org 。ウォレットの検索でAnubisという名前のネットワークが複数表示されても、そこから選ばないでください。重要な識別子はチェーンID 6714だけです。

必要なもの

上記の5つの値。それ以外は不要です。

成功の確認方法

ウォレットにチェーンID 6714とgasDAIの残高（現時点では0）が表示されます。chainlist.org/chain/6714でも同じ値が表示されます。

ステップ3

gasDAIを入手：すべての操作の燃料

Anubis上の取引は、どれも1セントにも満たない費用で、gasDAIで支払います。gasDAIのないウォレットでは何もできないため、これは最初の送金より前に行います。BNB Chainで5から10ドル分を購入するかスワップしてDAIにし、Anubisへブリッジします。使うのはapp.anubisbridge.com、galebridge.net、またはBitget Wallet内のクロスチェーン画面で、アドレスは手入力し、チャット内のリンクからは決して開かないでください。送信元はBNB Chain、送信先はAnubis（6714）。DAIはgasDAIとして届きます。

必要なもの

BNB Chain上の5から10ドル分のDAIと、そこでの出金ガス代用の少量のBNB。

成功の確認方法

Anubis上のウォレットにgasDAIの残高が表示されます。browser.anubispace.orgにアドレスを貼り付けると、同じ残高が表示されます。

ステップ4

USDTをAnubisへ。まずは少額から

任意の取引所でUSDTを購入し、BNB Chain（BEP-20）上のあなたのウォレットアドレスへ出金します。ブリッジ元として最も安いチェーンです。次に、DAIと同じ方法でAnubisへブリッジします。まず10から50 USDT、残りは着金してからです。Anubis Bridgeは無料ですが時間がかかります（リーダーによると2から3時間）。GaleBridgeは数秒で完了し、手数料は0.5%から1.5%です（9月7日の公表どおり）。後でAnubis上の資産を取引所へ直接送ることは決してしないでください。まずブリッジで戻してください。

必要なもの

BNB Chain上のUSDTと、ステップ3で用意したgasDAI。ブリッジでは承認前に手数料が表示されます。

成功の確認方法

browser.anubispace.orgに、あなたのAnubisアドレスのUSDT残高が表示されます。

ステップ5

リーダーの紹介リンクまたは紹介コードから登録

まずPhalanxのチャンネルに参加し、次にリーダーから直接受け取った紹介リンクでspartanar.orgのSpartan OS dAppを開くか、dAppが求める場所に招待コードを入力します。Anubis上でウォレットを接続し、同期させます。dAppはウォレットが初めて接続したときに紹介者（あなたを招待した人）を紐付け、後から変更することはできません。そのため、公開チャットのリンクは決して使わないでください。その後、ダッシュボードにすべての商品のリアルタイムのレートと上限が表示されます。伝えるべき数値はそれであり、チャットに出回っている数値ではありません。

必要なもの

あなたを紹介した人から受け取ったリンクまたはコード、そしてUSDTとgasDAIが入ったウォレット。

成功の確認方法

ダッシュボードに、あなたのアドレス、USDT残高、紹介者の名前が表示されます。

ステップ6

540日ボンドを購入

ダッシュボードで流動性ボンドの540日を選びます。USDTで支払い、市場価格より低いボンド価格でRMを受け取ります。2026年9月25日時点で540日ボンドは市場価格より14.79%低く（1,000 USDTで38.09 RM、市場価格では32.46 RM）、プロジェクトは割引率が固定ではないと述べています。元本と報酬は540日間にわたって毎日解放され、上限はUSDT建てで参加額の5×、参加時に確定します。日々の報酬は複利で運用できます。これは国際チームが現段階で推奨する参加方法で、ステーキングより先に行います。ステーキングは、システムに参加し、リーダーから購入したRMを保有してから行います。確定する前に画面でボンド価格、割引率、上限を確認し、まず計算ツールで金額を試算してください。

必要なもの

Anubis上のUSDTと、手数料用のgasDAI。1ドルから可能です。まず少額のボンドで試してください。

成功の確認方法

ダッシュボードにボンドが期間、価格、上限とともに表示されます。レートと割引率は変動します。上限は参加時に確定します。ここにある内容はリターンを約束するものではありません。

ステップ7

12時間ごとにタービン経由でクレーム（受け取り）

ボンド、ステーキング、ランク報酬、レベル収入のいずれの解放分も、タービン（ターボプール）を通じてクレームします。RocketSwapで同額のRMを1対1で購入し、24時間待つと、両方の額があなたのものになります。ウォレットにRMとGDを表示するには、「本日の条件」セクションからコントラクトアドレスを一度インポートします（最初の4文字と最後の4文字を照合してください）。利息はそのままにしておけば複利になりますが、追加報酬は複利にならないため、毎日クレームしてください。

必要なもの

クレーム用のgasDAIと、RocketSwapでの同額の購入用のUSDT。

成功の確認方法

クレームと同額の購入の両方が、browser.anubispace.orgのあなたのアドレスに表示されます。ウォレットにはRMとGDが表示されます。

7つのステップの後：ステーキング

ステーキングは7つのステップには含まれません。システムに参加し、リーダーから購入したRMを保有した後に行います。その時点からダッシュボードのステーキング商品（フレキシブル、180日、360日、540日）を利用でき、レートと上限はその日の画面で確認します。ボンドが入り口であり、ステーキングはその後に、リーダーから受け取ったトークンで行うものです。

資金を動かす各ステップの前に

アドレスはクリックせず、手入力してください。チェーンIDが6714であることを確認してください。すべてのアドレスの先頭4文字と末尾4文字を照合してください。新しい経路はそれぞれ少額でテストしてください。シードフレーズ（復元フレーズ）は紙に書いて保管してください。公式アカウントがそれを尋ねることは決してありません。

02



第 I I 部

本日の条件

2026年9月24日時点のspartanar.orgの表示どおり。レートは変動し、基準はdAppです。目の前の画面と異なる場合は、画面が優先します。

$30.81
ボンドページのRM価格

0.2962%
フレキシブルプール、リベースごと、日に2回、上限なし

4× · 4.5× · 5×
長期の上限（180日、360日、540日）、USDT建てで確定

商品	公表レート	上限	備考
フレキシブル・ステーキング	リベースごとに0.2962%（9月24日）、12時間ごとに約0.3%（9月7日）	なし	元本はいつでも引き出し可能、自動で複利
180日ステーキング	日次1.1%（9月7日）、1.0%超（9月14日）	4×（400%）	上限まで支払い、元本は毎日解放され上限内に算入（9月26日）
360日ステーキング	日次1.2%（9月7日）、1.1%（9月14日）	4.5×（450%）	200 USDTから追加報酬、エネルギーはポジションの260%
540日ステーキング	日次1.3%（9月7日）、1.2%（9月14日）	5×（500%）	200 USDTから追加報酬
180日流動性ボンド	180日ステーキングと同様に支払い	4×	RMは$30.4177、9月24日時点で市場価格より1.29%低い、追加報酬なし
360日流動性ボンド	360日ステーキングと同様に支払い	4.5×	RMは$27.6424、市場価格より11.46%低い、追加報酬なし
540日流動性ボンド	540日ステーキングと同様に支払い	5×	RMは$26.4212、市場価格より16.61%低い、追加報酬なし
RM Stability Vault（バーニングボンド）	日次1.5%、純額（9月7日）	250%解放	500 USDTから、エネルギー20%リチャージ、3%のGDエアドロップを30週間かけて段階的に解放

エネルギー、手数料、タービン

エネルギー比率は360日ステーキングで260%、RMのバーンで557%（Energyページの表示どおり）。Charge Incentive Pool（チャージ・インセンティブプール）ページでは基本手数料5%、保護手数料1%。タービンの追加比率は1%。すべてのクレーム（受け取り）はタービンを通ります。RocketSwapで同額のRMを購入し、24時間待ってから解放します。

2026年9月24日のダッシュボード

項目	値
時価総額	$226,452,893
RM供給量	7,350,151 RM
トレジャリー市場価値	$61,503,990（リスクフリー価値（risk-free value）$10,927,391）
プロトコル保有流動性	$61,503,990

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

項目	値
ステーク済みRM	供給量の69.67%
預かり資産総額（TVL）	$157,518,313
フレキシブルプール、預入総額	$57,050,330
LPボンド残高	$106,637,953
買い戻し基金	2,083,658.20 USDT、押し目買いプール24,696.18 RM、バーン済み51,796.35 RM

コントラクトアドレス（2026年9月24日にエクスプローラーで検証）

トークン	エクスプローラー上の名称	アドレス
RM	Rome (RM)	0x2e045e1380f5f5b6e7550328910a7377c9fce59d
GD	Gladiator (GD)	0x21b6b0b3fab224921d3054d187e324a673411b4c
USDT	ペッグUSDT	0xDfb6a28BC6DC51fed17c27C880F2c66cDd040A3e
DAI	ペッグDAI	0x83fd06F0846d9D90B3016bF670Efe2E0B11cDe14

先頭4文字と末尾4文字、そしてウォレットが表示する名称を照合してください。チャット内のアドレスが異なる場合、誤っているのはチャットの方です。

公開済みのSpartan OSコントラクト一覧（2026年9月26日にエクスプローラーで確認）

2026年9月25日と26日にプロジェクトのサービスアカウントが掲載したものです。20件は稼働履歴のあるコントラクトです。チャージ・インセンティブプールのアドレスはエクスプローラー上でコントラクトではないため、その旨を表示しています。ソースコードが検証済みなのはUSDTとDAIのトークンコントラクトのみで、残りは公開バイトコードと公開トランザクションでデプロイされており、読める形のソースコードは公開されていません。

コントラクト	アドレス	エクスプローラー、2026年9月26日
RMトークン（Rome）	0x2e045e1380f5f5b6e7550328910a7377c9fce59d	コントラクト · 1,028,480件の取引
GDトークン（Gladiator）	0x21b6b0b3fab224921d3054d187e324a673411b4c	コントラクト · 3,488件の取引
USDT（ペッグ）	0xDfb6a28BC6DC51fed17c27C880F2c66cDd040A3e	コントラクト · 1,087,220件の取引 · ソースコード検証済み
DAI（ペッグ）	0x83fd06F0846d9D90B3016bF670Efe2E0B11cDe14	コントラクト · 4,543,941件の取引 · ソースコード検証済み
トレジャリー	0x4A9f64917Bd06ffcB03b2910445b451C04e3f2A1	コントラクト · 40件の取引

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

コントラクト	アドレス	エクスプローラー、2026年9月26日
フレキシブル・ステーキング	0x52eAF5237522cd96cDa342C640571c34A7aA3740	コントラクト · 592,444件の取引
180日ステーキング	0x726CD25cd37fCD2D0dcf9Fa56059CCb542f80197	コントラクト · 176,804件の取引
360日ステーキング	0x84BAfF07E17E8d8563585beE533A92a193E1AfC5	コントラクト · 53,706件の取引
540日ステーキング	0x99F715628b35E5b4FECEB26420543e3E704ad98b	コントラクト · 304,531件の取引
180日流動性ボンド	0x1f3553461FD62b4aedF19c5Cc7bD5d3B151cCd2D	コントラクト · 10,180件の取引
360日流動性ボンド	0x7F8a46274e50249E76Bd49ff819030353ee0F54D	コントラクト · 11,139件の取引
540日流動性ボンド	0xB2e97AC63d4ee96C68d4d769282e1fF10950Bc11	コントラクト · 98,822件の取引
180日長期固定ボンド	0xC3462e1052A4150Beb5aBe0402383111b1A878aA	コントラクト · 18件の取引
360日長期固定ボンド	0xB1Ea4aa45DD751512F2f80F88f90A021c2842689	コントラクト · 12件の取引
540日長期固定ボンド	0x7E171bFb09A4A5Ec23E0C713C82Cf0BD31fcFCB0	コントラクト · 10件の取引
バーンコントラクト	0x7bAfD7622f137Fa9cDDaf304cd58CA28c3eA758A	コントラクト · 8,084件の取引
コミュニティ報酬	0xE691522f79Cf30C82DAbDadebE04F2348690f351	コントラクト · 156,070件の取引
Turbo（1:1エンジン）	0xf9A76fF9AAcA29deA56B57c21de0C0E31f36C4Cd	コントラクト · 1,070,848件の取引
アクティビティスコア管理	0x377f3416262c4320318aC053Bd4CD2BfAED5C6da	コントラクト · 4件の取引
安定ボールト	0xabFe1C8b66D64Bc96645b5811aD1d2636b4473E7	コントラクト · 1,683件の取引
チャージ・インセンティブプール	0x0c52A0ac4c59b5144DB1E92755137138995d53Fd	コントラクトではない。未確認のため、何も送らないこと

数値の出典

ページ	アドレス	表示内容
dApp	spartanar.org	Dashboard、Flexible Stake、3つの長期ステーキング、Long-Term Liquidity Bond、RM Stability Vault、Charge Incentive Pool、My Invite、Spider Web Rewards、DAO、Turbine、Energy、Genesis Cornerstone、DAO Vote
公式サイト	home.spartanar.org	dAppのフッターからリンク
DEX	rocketswap.org	USDTでRMを購入。タービンの購入はここで行われます
エクスプローラー	browser.anubispace.org	すべてのアドレス、トークン、トランザクション

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

ページ	アドレス	表示内容
チェーン	チェーンID 6714 · rpc.anubispace.org	手数料はgasDAIで支払い。確認はチェーンIDで



03

第 I I I 部

トピック別の回答

ニュースを除く、ライブラリのすべてのナレッジカードをトピック順に掲載しています。まず回答、次に詳細、最後に出典です。

Anubis Chain

チェーン：誰が構築したのか、何が稼働しているのか、何が違うのか。

Anubis ChainとSpartan OSの背後には誰がいますか？

Anubis Foundationです。同財団は、2年間、5大陸、20か国、100を超えるプロジェクトという実績を公表しています。ここで重要なのはそのうち3つです。Origin（LGNS上のDeFi 3.0）、WebKeyとMelos（公表どおり1,600万ユーザー）、そしてAnubis Chain自体です。Anubis Labsはチェーン上のプロジェクトに資金を提供する部門で、Spartan OSはその最初のプロジェクトです。

多くのプロジェクトはゼロから始まります。ユーザーも資産も実績もありません。このプロジェクトは、財団の名前をすでに知っている数百万人の保有者と、財団が管理するチェーンから始まります。Spartan OSは、OriginとAwakeを動かしたコードベース上で137のスマートコントラクトを稼働させています。CertiKの監査は申請済みです。財団の実績はanubi.proでの公表どおりです。Originとのパートナーシップは、2024年7月8日にAnubis Foundationが発表しました。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド2

Originは何を証明しましたか？

この財団が数百万人規模の市場を築き、それを維持できることです。AVEのスナップショット時点で、Origin（LGNS）は保有者250万、流通時価総額$1.4B、プール$200M、1日91,000件のトランザクションを記録していました。2年後の今も、Polygon上のOriginプールには約$55Mが残っています。

これらは過去の数値であり、現在の価格ではありません。重要なのは最後の点です。2年後もプールは存在し、人々は今も売却できます。スナップショットはAnubis Foundationの提供どおりで、ave.aiで確認できます。現在のプールの数値は、2026年9月14日の説明会での公表どおりです。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド3

Anubis Chainがすでに実現していることは？その数字。

2026年4月からメインネット稼働、チェーンID 6714。2026年9月にAnubis Chainが公表した数値：トランザクション100M件超、アドレス18M超、スマートコントラクト16,000超、トークン1,900超、ブロックあたり約1秒。手数料は、ドルにペッグされたgasDAIで支払われます。

すべてはbrowser.anubispace.orgの公開エクスプローラーで確認できます。チェーンはThe Graphでインデックスされ、Blockscoutで閲覧でき、LayerZero, Stargate, Anubis Bridge, GaleBridgeを通じてクロスチェーン接続されています。以前のプレゼンテーションでは、毎秒2,400件以上のトランザクション、450 msのブロックタイム、52ノード中21のアクティブなバリデーターという数値も挙げられています。これらはプロジェクト自身の数値です。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド4／Anubis Chain定期データレポート、2026年9月

Spartan OSが独自のチェーン上で稼働していることは、なぜ重要なのですか？

プロジェクトが他者のチェーン上で動く場合、ガス代も、ルールも、将来も他者のものです。Anubis Foundationがチェーンを構築し、Anubis Labsがその上で動くものに資金を提供し、Spartan OSはその最初のアプリケーションです。同じ人々、同じコード、新しいチェーン。

プロモーターは一言でこう言えます。多くのプロジェクトはチェーンを借りていますが、このプロジェクトはチェーンを所有しています。これはまた、チェーンとプロジェクトに関するすべての数値を、単一のエクスプローラーbrowser.anubispace.orgで確認できることを意味します。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド2と4

gasDAIとは何ですか？

Anubis Chainがトランザクション手数料に使う単位です。ドルのステーブルコインであるDAIに1対1でペッグされているため、トランザクションのコストは閑散とした日でも混雑した日でも同じです。ウォレットには、EthereumであればETHが表示される場所にgasDAIの残高が表示されます。トランザクションのコストは1セント未満です。

多くのチェーンでは、ユーザーは何かを支払う前に、まずそのチェーン独自のトークンを購入する必要があり、そのトークンの価格は変動します。Anubisでは、ユーザーがトランザクションを承認するときに表示される手数料が、どの日でもドル建てで実際に支払う手数料です。gasDAIは公式ブリッジを通じて入手します。DAIをブリッジすれば、送金先の残高がそのままガス代になります。gasDAIを個人から購入しないでください。

出典：技術ガイド、2026年9月、第II部・ガイド09

Anubis Chainはプライベートですか、パブリックですか？

選択によってその両方です。トランザクションは、Ethereumと同じく、デフォルトでは公開されます。ユーザーはトランザクションをシールドできます。金額と種類は見えたままですが、送信者と受信者の身元はPLONKゼロ知識証明によって保護されます。Anubisはこれを「選択的開示」と呼んでいます。人にとってはプライベート、プロトコルにとっては透明、規制当局にとっては対応可能な仕組みです。

ゼロ知識証明により、ネットワークは、誰が誰に何を送ったかを公開することなく、トランザクションが有効であること、送信者に資金があったこと、ルールが守られたことを確認できます。シールドされたトランザクションは、証明がユーザー側で生成されるため、少し時間がかかります。プロモーターが日々行うことはすべて、通常の透明なトランザクションを使います。

出典：詳細解説、2026年9月、第II部。技術ガイド、2026年9月、第II部

Anubisではフロントランニングをどう防いでいますか？

保留中のトランザクションは、バリデーターが目にする前に暗号化されます。復号するにはバリデーターの少なくとも3分の2が協力する必要があり、それもブロック内の位置が確定した後に限られます。ブロック生成者は、RocketSwapでのあなたのスワップを見て先回りして取引することはできません。この設計は、サンドイッチ攻撃を抑止するのではなく、仕組みとして排除しています。

サンドイッチ攻撃は、分散型取引所（DEX）で個人トレーダーが損失を出す最も一般的な原因です。この仕組みは、Anubis Networkのドキュメントに記載されているとおり、BLS12-381閾値暗号を使用しています。

出典：技術ガイド、2026年9月、第II部（Anubis Networkのドキュメント）

ブロックはどのように確定しますか？トランザクションは最終確定しますか？

固定されたバリデーターの集合が順番にブロックを提案し、3分の2以上が署名した時点でそのブロックは最終確定します。確率的なファイナリティも再編成もありません。一度確定したブロックは変更されません。透明なトランザクションは約一秒で確定します。

技術ドキュメントでは、検証可能なランダム関数によって100ブロックごとにバリデーター集合が再選出される、IBFT 2.0の派生方式が説明されています。docs.anubispace.orgのページとチェーン自身の「100 Questions」では、ステーキング、ガバナンス、二重署名やダウンタイムに対するスラッシングを備えたProof of Staked Authority方式と、理論上毎秒約2,000件の処理能力が説明されています。示せる方を引用し、その出典を伝えてください。

出典：技術ガイド、2026年9月、第II部。Anubis Chainのドキュメント（docs.anubispace.org）

EthereumのソフトウェアはAnubisで動きますか？

はい、そのまま動きます。AnubisはEthereum Virtual Machineを実行しています。Solidityのコントラクトはそのままデプロイでき、MetaMaskやカスタムネットワークに対応するすべてのウォレットが接続でき、Hardhat, Foundry, Remix, ethers.jsはEthereumと同じように動作します。チームは書き直すのではなく、再デプロイするだけです。

Ethereumの経験があるユーザーにとって、新しいのはチェーンID（6714）と手数料の単位（gasDAI）の2つだけです。

出典：技術ガイド、2026年9月、第II部

現在チェーン上で稼働しているインフラは何ですか？

RocketSwap（ネイティブ取引所、Uniswap V2方式、CertiK Skynetに掲載）、2つの公式ブリッジ（Anubis BridgeとGaleBridge。後者は2025年10月にCertiKによる監査済み）、Blockscoutエクスプローラー、The Graphによるインデックス、LayerZeroとStargateのルート、Capybara Launch、そしてBitget, OKX, TokenPocket, Binance Wallet, MetaMaskでのウォレット対応です。

これが、ロードマップを持つチェーンと、機能している経済を持つチェーンの違いです。Bridgersは、Anubisが運営していないサードパーティのルートです。Anubis Chainが公表しているパートナー：DeBox, DappOS, xBubble, Ads3, Golden Pact, REI Network, Bitget Wallet, GoPlay。

出典：詳細解説、2026年9月、第II部

Anubis上のブリッジされたUSDT, USDC, DAIには裏付けがありますか？

Anubis Chainによれば、公式にブリッジされたすべての資産は、元のチェーン上の公式アセットペッグ・ブリッジにネイティブ資産がロックされたときに1対1でミントされ、償還時にバーンされます。そのため、ロックされた準備金はAnubis上の供給量と一致します。ブリッジのコントラクトはEtherscanで公開されています。

Official Asset-Pegging Main Bridge：0x250ba4e73a365cefdd170a2b1ff9fc03097d64f3。Official Transaction Main Bridge：0x8932fe7726C1EE743F662f485C3e5a5D1D595F71。確認するには、Etherscanのページを開き、コントラクトが保有する残高を読み取り、browser.anubispace.org上の同じ資産の供給量と比較します。声明の全文は、このページの公式声明セクションに掲載しています。

出典：Anubis Chainの声明、2026年9月20日

Anubis Labsとは何ですか？

Anubis Chainのインキュベーション部門です。チェーン上で構築するプロジェクトを選び、資金を提供し、ローンチまで支援します。Spartan OSはその最初のコンシューマー向けプロジェクトであり、そのため2つの名前がどこでも一緒に登場します。

Anubis Foundationは、Anubis Chainエコシステムへの$300Mのコミットメントを発表しています。Labs自身のFAQでは、10,000のNFTインセンティブ資産を伴う$100Mのインキュベーションファンドが説明されています。どちらの数値もプロジェクト自身によるものです。Labsが挙げるプロジェクト：Capybara Launch, RocketSwap, GaleBridge, AstraCore, AWAKE, Spartan OS, VEST, Golden Pact。

出典：詳細解説、2026年9月、第II部

Anubis Chainが自ら掲げる6つの強みとは何ですか？

チェーンの検証可能性を保ちながら、ゼロ知識証明に基づくプライバシー。AGIおよびAIエージェントとの統合。アプリケーションを大規模に運ぶために構築されたレイヤー1。EVM互換性により、既存のツールとコントラクトをそのまま移行可能。公式ブリッジ、資産コントラクト、エクスプローラーによる資産の透明性。ウォレット、DEX、データプラットフォーム、開発者からなるグローバルなエコシステム。

6つのうち2つは、現在誰でも確認できます。EVM互換性（chainlist.org上のチェーンID 6714）と資産の透明性（Etherscan上のブリッジコントラクト）です。AGIとの統合は方向性であり、リリース済みの機能ではありません。そう伝えてください。インフォグラフィックは2026年7月1日発行。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年7月1日

Anubis Chainは従来のパブリックチェーンと自らをどう比較していますか？

自らのインフォグラフィックで、8つの観点から比較しています。ポジショニング（単なるトランザクションネットワークに対するAGIプライバシーチェーン）、プライバシー（基本的な透明性に対する、選択的開示を伴うゼロ知識証明）、インテリジェンス、資産の範囲（RWAとDeFiの両方）、データの信頼性（準備金とクロスチェーン記録が検証可能）、エコシステムの連携、開発者サポート、長期的なスケーラビリティです。

この表は比較セクションに全文を掲載しています。これはAnubis Chainが自らと一般的な競合を説明したものなので、プロジェクトのポジショニングとして引用してください。チェーンの検証可能な違いの方が、根拠として示しやすいものです。ドルにペッグされたガス代、暗号化されたメモリプール、選択的なプライバシー、公開コントラクト上の1対1のブリッジ準備金です。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年7月

チェーンを開発しているのは誰で、なぜ匿名なのですか？

「100 Questions」の文書によれば、チームは2024年に結成され、世界各地の匿名のコミュニティ開発者で構成されており、分散型ガバナンスのもとでネットワークを維持しています。匿名性はプロジェクトの中立性と開発者の安全を守るためとされています。対外的な顔はAnubis FoundationとAnubis Labsで、チェーンは財団が、その上のプロジェクトはLabsが担っています。

2つの説明があり、どちらもプロジェクト自身によるものです。プロモーター向け資料はAnubis Foundationとそのこれまでのプロジェクトを挙げ、FAQは匿名の開発者集団を説明しています。プロモーターは両方を伝え、それ以上を知っているふりをしないでください。名前が公表されている人物：なし。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q2・Q3

チェーンはどのように合意に達しますか？PoSAをわかりやすく。

Proof of Staked Authority：委任型プルーフ・オブ・ステークとプルーフ・オブ・オーソリティを組み合わせた方式です。バリデーターはステークを預け、ステークが最も多いものがアクティブセットを構成し、順番にブロックの生成と投票を行います。2つのブロックに署名するなどの不正行為はスラッシングで罰せられ、アンボンディング期間があるため、バリデーターはペナルティが科される前に離脱することはできません。ブロックは約1秒で確定します。

理論上の処理能力は毎秒約2,000件とされていますが、実際のスループットは負荷によって変わります。ノードには、ファスト、フル、アーカイブの3種類があります。2026年7月時点では、バリデーターの募集はまだ始まっていませんでした。文書に記載された最低セルフデリゲーションは2,000 DAIです。クライアントはGeth互換であり、そのためEthereumのツールがそのまま動作します。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q11からQ21

Anubis Chainには独自のコインがありますか？

まだありません。2026年7月時点で、ネイティブトークンは発行されていません。手数料は、ブリッジされたDAIから得られるgasDAIで支払われます。FAQのガバナンスに関する回答では、総供給量2,100万の将来のANBトークンをチェーンのガストークンとして説明し、LGNSをエコシステムの価値の基盤として挙げ、そのステーキング率を87%超としています。ANBは計画中として扱い、稼働中のものとして何も引用しないでください。

現在「Anubisコイン」を販売している人は、チェーンが存在しないとしているものを販売しています。チェーン上に実際に存在するトークンは、ペッグ資産（USDT, USDC, DAI, ETH, BNB, POL, LGNS）と、RMやGDなどのプロジェクトトークンです。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q22・Q28・Q75

チェーンはどのくらいの速さで成長していますか？公式のマイルストーン。

103日目（7月20日）：アドレス12.13M、トランザクション38.49M、TVL $189.91M。8月8日：アドレス14.10M、トランザクション57.78M。137日目（8月22日）：アドレス15.61M、トランザクション74.73M、24時間で1.079M。155日目（9月10日）：アドレス18.19M、トランザクション102.93M、コントラクト16,533、1秒ブロック、ガス代$0.01未満。

すべての数値は、各日付にAnubis Chainが公表したとおりです。リアルタイムのカウンターはbrowser.anubispace.orgにあります。アドレスは人数ではありません。1人が多数のアドレスを保有できます。トランザクション数と日付を引用し、残りはエクスプローラーに任せてください。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月22日、8月8日、8月22日、9月10日

DEXToolsで、Anubisはチェーンの中で何位ですか？

2026年7月26日、Anubis ChainはDEXToolsのホットペアのデータを引用し、AnubisChainがパブリックチェーンの中で総取引量で12位、流動性で10位にランクされているとしました。ランキングは日々変動します。引用する前にdextools.io/app/hot-pairsを開いてください。

ランキングは、第三者がある日に取得したスナップショットです。日付を伝えてください。FAQによれば、DEXToolsとの統合自体は2026年4月19日からです。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月26日。Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q76

Anubis Chainはどのようなパートナーシップと統合を発表していますか？

AVE.aiのクロスチェーンとスワップ（6月15日）。パブリックチェーンとしてのCoinGeckoへの掲載（6月23日）。6月26日のパートナーマトリクス：CoinMarketCap, CoinGecko, DEXTools, Bitget Wallet, MyToken, Ave.ai, dappOS, RocketSwap, AuraOS, Ads3, Spartan OS, VEST。Bitget Walletのガス代補助（7月7日）。AstraCoreのAC Wallet（7月26日）。LayerZeroとOFT規格（7月31日）。The Graphのサブグラフ対応（9月15日）。TOKEN2049 Singaporeでゴールドスポンサー（10月7日から8日）。

いずれもAnubis Chainによる発表で、ニュースセクションにリンクがあります。データサイトへの掲載は推奨を意味しません。統合は読者が試せる技術的な事実です。このページの作成時点では、LayerZero自身による発表はまだ公開されていませんでした。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年6月から9月

AWAKEとは何ですか？

Anubis Chain初のジェネシスレベルのエコシステムプロジェクトです。2026年5月13日、Capybara LaunchのILOを通じて、RocketSwapでDAI/LGNSペアをローンチしました。初期プールは、プロジェクトの公表によれば約$163Mです。Anubisはこのプールを、チェーンの流動性アンカーと呼んでいます。

AWAKEは、Spartan OSが後に続く前例です。Labsのプロジェクト、Capybaraでのローンチ、RocketSwapのペア。そのNFTは、Q3のブループリントでチェーンのデジタルアイデンティティとして挙げられています。数値はAnubis Chainの公表どおりです。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q66・Q73。SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月22日

Anubis Labsはどのようにプロジェクトを選び、資金を提供していますか？

Labsは、$100Mのエコシステムファンドと10,000のANUBIS NFTインセンティブ資産、3つの助成モデル（DEX流動性、CEX上場、コミュニティ成長）、そして3A構造（Accelerator, Alliance, Amplifier）を説明しています。インキュベーションまたは支援の対象として挙げられているプロジェクト：Capybara Launch, RocketSwap, GaleBridge, AstraCore, AWAKE, Spartan OS, VEST, Golden Pact。申請先はbd@anubislabs.usです。

プロモーター向け資料では、Anubis Foundationによる$300Mのコミットメントも挙げられています。FAQの数値は、Labsのファンドについて$100Mです。どちらもプロジェクト自身の数値です。重点分野：プライバシーインフラ、AIエージェント、DeFi、RWA、SocialFiと予測、DEXとウォレット、DePINと決済。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q88からQ100

5か年計画とは何ですか？

5つの方向性を並行して進めます。インフラの継続的な強化（メインネット、ブリッジ、エクスプローラー、ウォレット、DEXの流動性、開発者ツール）、オンチェーンアプリケーションへのAGIとAIエージェントの統合、RWAとオンチェーン金融の拡大、グローバルな開発者ネットワークの拡大、インテリジェントなオンチェーン経済の形成です。2026年Q3のブループリントでは、オムニチェーンの相互運用性からAIとRWAの統合まで、この四半期の8つの分野が挙げられました。

計画は計画です。5つのいずれにも日付はなく、FAQのロードマップに関する回答も同じ5つを別の言葉で述べています。リリース済みのもの（チェーン、ブリッジ、DEX、最初のアプリケーション）と計画中のものを、分けて伝えてください。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年7月1日。SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年8月18日

ガス代を無料にできますか？

Bitget Walletを通じてなら、制限付きで可能です。2026年7月7日以降、Anubis Chainは、Bitget Walletで行われる対象トランザクションについて、AnubisChain内でのガス代ゼロの送金を日に最大3回、各回最大0.1 gasDAIまで補助しています。クロスチェーンのトランザクションは対象外です。

補助キャンペーンは終了する可能性があります。ウォレットのキャンペーンページを確認してください。それ以外の用途では、数ドル分のDAIを一度ブリッジすれば、ウォレットに数千件のトランザクション分のgasDAIが入ります。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月7日

AC Walletとは何ですか？

AstraCore Walletです。2026年7月26日にAnubisChainを統合したAGI-Web3ウォレットです。Spartan OSはこれを、AnubisChainの公式推奨かつ戦略的なウォレットパートナーとしています。iOSとAndroid向けの公式ダウンロード：api.astracorewallet.app/website/download（Anubis Chainの公表どおり）。Anubisは、別のアプリではなく、AstraCoreとともにWeb3ソーシャルモジュールを構築すると述べています。

つまり、公式資料で推奨されているウォレットは2つです。Bitget Wallet（チェーンを内蔵、ガス代補助）とAC Wallet（戦略的パートナー、キャンペーンの入口）です。1,000,000 DAIのAC Carnivalエアドロップは8月12日から9月11日まで実施され、終了しています。9月8日には、毎日30,000 DAIのインセンティブが発表されました。キャンペーンを約束せず、現在のキャンペーンを確認してください。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月26日・29日、9月8日

Anubis Chainの公式AIガイドはありますか？

はい。2026年8月7日、Anubis ChainとDappOSは、メインネット、ウォレット、セキュリティ、プライバシー、スワップ、ブリッジを扱うAIの質疑応答ページを公開しました。回答はプロジェクトが承認した情報源に基づいています：anubis-ai-web-production.up.railway.app。このページのアシスタントは、Spartan OSについて同じことを行います。

チャットのリンクをたどらず、アドレスを直接入力してください。また、そこでの回答はプロジェクトの見解として扱ってください。資金を動かすことについては、引き続きエクスプローラーと公式ブリッジのページが基準です。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年8月7日

開発者向けのテストネットはありますか？

はい。チェーンID 202601、RPCとエクスプローラーはcheras-rpc.anubispace.org、テスト用トークンは管理者への依頼によりフォーセットコントラクトから入手できます。開発者向けドキュメントはgithub.com/anubis-chain/docsにあります。Solidity 0.8.xとVyperに対応しており、Remix, Hardhat, FoundryはEthereumと同じように動作します。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q70からQ72

チェーンがハッキングされたことはありますか？

Anubis Chainによれば、2026年4月8日のメインネット公開以降、チェーンも公式ブリッジのコントラクトも侵害されたことはなく、コントラクトの欠陥やネットワーク攻撃によってユーザー資産が失われたこともありません。CertiKとArmorが137のコアコントラクトを監査しました（2026年7月13日発表）。

5か月間の無事故の記録は、5か月間についての事実です。ブリッジは依然として業界で最も攻撃される構成要素です。FAQ自体もブリッジの防御策（メッセージ検証、日次の上限額、許可リスト、緊急停止）を挙げたうえで、まず少額でテストするようユーザーに伝えています。

出典：Anubis Chain「100 Questions and Answers」、公式、2026年7月、Q78・Q79。SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年7月13日

Anubis Foundation, Anubis Labs, Anubis Chain：それぞれの役割は？

3つの名前、1つのグループ。Anubis Foundationは組織で、Origin（LGNS）、WebKey、Melosを構築し、その後独自のレイヤー1を構築しました。Anubis Chainはそのチェーンです。2026年4月からメインネット稼働、チェーンID 6714、手数料はgasDAI、エクスプローラーはbrowser.anubispace.org。Anubis Labsはチェーン上のプロジェクトを選定し資金を提供するインキュベーション・資金提供部門で、Spartan OSはその最初のコンシューマー向けプロジェクトです。

Spartan OSの背後に誰がいるのかを聞かれたら、次の順で答えてください。実績のある財団、財団が所有するチェーン、その上で動くものに資金を提供する部門です。財団が公表している実績は、2年間、5大陸、20か国、100を超えるプロジェクト、そしてエコシステムへの$300Mのコミットメントです（以前の数値は$100M）。「100 Questions」は、チェーンの開発者を匿名の集団と説明しています。公式チャンネル：anubischain.ai、@AnubisChainL1（9月16日以降のメインアカウント）、@ANUBISCHAIN_（以前の記録）、@Anubis_Labs、anubislabs.us、AC Wallet、Resource Library。

出典：プロモーター用デッキv14.2、スライド2から4／Anubis Chain「100 Questions and Answers」、2026年7月／Anubis Labsのページ

Anubis Foundationにはどのような実績がありますか？

Origin（LGNS）：AVEのスナップショット時点で保有者250万、流通時価総額$1.4B、プール$200M、1日91,000件のトランザクション。2年後の今も、Polygon上のOriginプールには約$55Mが残っています。WebKeyとMelos：公表どおり1,600万ユーザー。Awake：同じコードベース上の別のアプリケーション。Anubis Chain：2026年9月までにトランザクション100M件超、アドレス18M、コントラクト16,000、CertiKとArmorによる137のコアコントラクトの検証、CertiKによるGaleBridgeの監査、Bitget Wallet, DappOS, GoPlay, The Graph, LayerZeroを含むパートナーリスト、そして2026年10月のTOKEN2049 Singaporeでのゴールドスポンサー。

公開エクスプローラー上にあるものを除き、すべての数値はプロジェクト自身によるものです。公開エクスプローラー上にあるのは、Polygon上のOriginプール、チェーンのトランザクション数、Etherscan上のブリッジ準備金、skynet.certik.com上の監査です。どれがどちらかを伝えてください。公開されていないもの：人物の名前です。財団はこれを公表しないことを選んでいます。

出典：プロモーター用デッキv14.2、スライド2から4／Anubis Chainデータレポート、2026年8月から9月／「ニュース」セクション

他の言語の公式リソースライブラリはありますか？

Telegramに5つあり、2026年9月26日にSpartan OSのサービスアカウントが掲載しました。英語：@SpartanOSLibrary、中国語：@SpartanOSResourceLibraryCN、韓国語：@SpartanOSKoreanLibrary、日本語：@SpartanOSJapaneseLibrary、ベトナム語：@SpartanOSVietnameseLibrary。さらにDeBox上に中国語のライブラリがあります。すべてリンクセクションに掲載しています。

韓国語やベトナム語のメンバーには、あなたのライブラリの翻訳ではなく、その言語のライブラリを送ってください。ヒンディー語の資料は9月25日にプロジェクトが約束しましたが、まだ公開されていません。公開されるまでは、インド向けには英語のライブラリが基準です。

出典：Spartan OSのサービスアカウント、2026年9月26日。各アドレスは同日に開いて確認済み

Spartan OS

最初のアプリケーション：5つのシステム、2つのトークン、TempleRaid。

Spartan OSを一言で言うと？

Anubis Chain上の最初のアプリケーションで、人々が今日チェーンを使い、明日また戻ってくる理由をつくるためにAnubis Labsが構築しました。2つのトークン、RMとGD。稼働中のゲーム、TempleRaid。12時間ごとに支払われるステーキング。2026年6月16日から稼働中。

チームはこれを、オンチェーンのエンターテインメントとAIのためのオペレーティングシステムと説明しています。ユーザー、トークン、配信を共有する5つのシステムです。2つは稼働中（TempleRaidによるユーザーゲートウェイと、RM、GD、Token RouterによるAgent Token Hub）、3つは計画中（AI配信、コンピュートエンジン、開発者ネットワーク）です。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド5／詳細解説、2026年9月、第III部

Spartan OSの5つのシステムとは何で、どれが稼働中ですか？

稼働中：ユーザーゲートウェイ（TempleRaid）とAgent Token Hub（RM、GD、Token Router）。計画中：AI配信、コンピュートエンジン、開発者ネットワーク。「2つが稼働中、3つが計画中」と伝えてください。5つすべてが存在するかのように示すよりも、強い立場です。

ゲートウェイは、頻繁に戻ってきてもらうために作られたオンチェーンのゲームとアプリケーションです。AI配信は、次に関連するアプリケーションをユーザーの前に提示するレコメンデーション層です。コンピュートエンジンは、AIタスクのための処理能力をプールします。Agent Token Hubは、AIエージェントが作成され、トークン化され、呼び出され、決済される場所です。開発者ネットワークは、Spartan OSを通じてサードパーティのチームをAnubisに呼び込みます。計画中の3つについては、日付は発表されていません。

出典：詳細解説、2026年9月、第III部。Spartan OSのインフォグラフィック、2026年6月

RMとGDとは何ですか？

RMはエコシステムトークンです。獲得し、ステークし、アプリケーションで使い、RocketSwapでUSDTと取引するトークンです。GDはガバナンストークンで、390,000枚で固定され、Spartan OSでの議決権を持ちます。どちらもTempleRaidで使えます。

この分離は意図的です。支出とガバナンスの両方に1つのトークンを使うプラットフォームでは、価格が動くたびにガバナンスの主体が変わってしまいます。RMは流通し、GDは少量の固定供給量で、長期的な関心を持つ人々の手元にとどまります。GDは公開市場で、またはバーニングボンドの3%エアドロップを通じて入手できます。コントラクトアドレス：RM 0x2e04…e59d、GD 0x21b6…1b4c。完全なアドレスは本日の条件セクションに掲載しており、2026年9月24日にエクスプローラーで検証済みです。

出典：詳細解説、2026年9月、第V部

2026年9月14日、Spartan OSのダッシュボードには何が表示されていましたか？

RM流動性プールに2,900万USDT、RM保有者500,000、RM供給量の68%がオンチェーンでステーク済み、1,000万USDTのトレジャリー、RM供給量610万。RMは6月16日に$18.85で始まり、$30超と公表されました。GDは5月4日に$40で始まり、$16,000と公表されました。

「68%がステーク済み」は2回言ってください。これは、トークンの3分の2が、売却を待つのではなくロックされて報酬を得ていることを意味します。懐疑的な人も反論できない数字です。すべての数値は2026年9月14日のSpartan OSの公表どおりです。現在の値はエクスプローラー、DEX、dAppで確認してください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド5／Spartan OS説明会、2026年9月14日

TempleRaidとは何ですか？

Spartan OS最初のアプリケーションで、ゲームパートナーのGoPlayとともに2026年9月6日にローンチされました。六十秒のオンチェーンラウンドです。ウォレットを接続し、資産（RM、GD、またはその他のエコシステム資産）を選んで参加すると、検証可能な乱数から結果が決まり、Anubis Chain上で決済されます。どのラウンドも、誰でもエクスプローラーで確認できます。

このゲームは意図的にシンプルです。育てるキャラクターも、インベントリも、チュートリアルもありません。複雑さはチェーンの側にあります。毎回こう伝えてください。運に左右されるゲームにはリスクがあり、プレイヤーは投入したものを失う可能性があります。TempleRaidのどの要素も、リターンを約束するものではありません。

出典：詳細解説、2026年9月、第IV部。技術ガイド、2026年9月、ガイド12

Token Routerとは何ですか？

Agent Token Hubを支える仕組みです。ビルダーはAIエージェントを独自のトークンを持つサービスに変え、ルーターが作成、トークン発行、呼び出し、決済、インセンティブを一本の経路につなぎます。すべてAnubis Chainに記録されます。エージェントが収益を上げると、その収益はトークンの保有者に決済されます。

現在、AIサービスはサブスクリプションかAPIキーで提供され、お金は企業のところで止まります。ルーターはそれをトークンに置き換えます。Spartan OSのXアカウントで発表されたもので、5つの段階より先の仕組みは公表されていません。発表された内容だけを説明し、そこで止めてください。

出典：詳細解説、2026年9月、第IV部

なぜゲームが最初だったのですか？

消費者向けに成功したプラットフォームはどれも、人々が楽しみのために行う何かを通じてそこに到達しました。ゲームは高頻度のインタラクション、低い参入障壁、速いフィードバックループをもたらします。各ラウンドが取引であり、各取引がディストリビューション・レイヤーにとってのデータポイントであり、戻ってくるプレイヤー一人ひとりが、次のアプリケーションが引き継ぐユーザーです。

GoPlayは既存のオーディエンスとディストリビューションを、Spartan OSはチェーン、トークン、決済をもたらしました。だからこそ、最初のユーザーはコールドスタートなしで集まりました。

出典：詳細解説、2026年9月、第IV部

なぜ今なのですか？タイミングの根拠は？

Anubis Chainには現在1つの消費者向けアプリケーションがあり、ロードマップには2つ目と3つ目が示されています。今構築するリーダーは、それらのアプリケーションがもたらすすべてのユーザーを引き継ぎます。デッキにあるとおり、誕生から90日ということは、90日の出遅れという意味ではありません。

希少性を売り込みすぎないでください。伝えるのは一度だけです：2つ目のアプリケーションは近づいており、それが届く先は、最初のアプリケーションのもとでチームを築いた人たちです。2つ目と3つ目のアプリケーションの日付は、プロジェクトが確認すべきものです。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド12

ロードマップには何があり、日付が決まっているのはどれですか？

フェーズ1（現在）：メインネット（2026年4月）、RMとGD（稼働中）、GoPlayと組んだTempleRaid（2026年9月6日）、AIディストリビューション（日付なし）。フェーズ2：2つ目と3つ目のアプリケーション、コンピュートサービス・ネットワーク、開発者プログラム（いずれも日付なし）。フェーズ3：チェーン全体のインフラとしてのコンピュートエンジン。

資料に[date]と表示されている箇所は、日付が発表されていないということです。埋めないでください。プロジェクトが示していない日付を口にするプロモーターは、プロジェクトに代わって約束をしていることになります。

出典：詳細解説、2026年9月、第VI部

Spartan OSはどの市場の間に位置していますか？

一方にエンターテインメントのゲートウェイ（Steam：月間アクティブユーザー13,200万人）、もう一方にAIエージェント・トークン（Spartan OSのデッキ作成時点で、カテゴリー時価総額$3.4B、日次取引高$780M）。業界予測では、AI市場は2033年までに3.5兆ドルに達するとされています。

これらは背景としての数字であり、Spartan OSの数字ではありません。目指している市場の規模を示すものです。「AI市場は3.5兆ドルになる」はAI市場についての事実であり、RMについての事実ではありません。数字を引用する前に、最新の値を確認してください。

出典：詳細解説、2026年9月、第VI部（各出典はSpartan OSによる引用どおり）

Spartan OSのホワイトペーパーには、要するに何が書かれていますか？

Web3は資産のネットワークからアプリケーションのネットワークへと移行しつつあり、エンターテインメントは最も高頻度な入口です。Spartan OSはAnubisChain上に5つの機能として構築されています：エンターテインメントの入口、AIグロースエンジン、AI Agent Token Hub、AIコンピュートエンジン、開発者エコシステムで、6つの技術レイヤーの上に成り立っています。トークンは2つ：ガバナンス用のGD、インセンティブ用のRM。ロードマップは5つのフェーズで、いずれも日付はありません。

ホワイトペーパー自身のリスクの章は、プラットフォームは収益の約束を避け、リスクを開示すべきだと述べています。プロジェクトが何を約束しているのかと聞かれたら、この一文を使ってください：ホワイトペーパーが約束しているのは構造であり、リターンではありません。全文は「公式資料」セクションにあります。

出典：Spartan OSホワイトペーパー、公式、2026年

Spartan OSの公式デッキには何が入っていますか？

プロジェクトによる三十一枚のスライドです。Spartan OSとは何か、4つのシステム（ゲートウェイ、グロース、サービス、コンピュート）、基盤としてのAnubisChain（プライバシー重視のLayer 1、PLONK証明、EVM、低コスト）、AIコンピュートエンジン、価値の循環、出典付きの市場の背景、先例としてのSteamとHugging Face、ビルダーネットワーク、成長指標、5つの資産クラス、3段階のロードマップ。

これはプロジェクトのデッキです。このページのプロモーター用デッキは、Zoom向けに作られた13枚版です。技術系や機関投資家の聴衆には公式版を提示してください。その中の市場数値は、Spartan OSが引用した第三者による推計です。

出典：Spartan OS公式デッキ、31枚、2026年

Anubis × Spartanのパートナーシップで、それぞれは何を提供しますか？

AnubisChainは、セキュリティ、プライバシー、インテリジェンス、資産、技術、グローバルなリソースを提供します：チェーン、証明、ブリッジ、DEX、Labs、パートナーネットワーク。Spartan OSは、ユーザー、アプリケーション、サービス、コンピュート、開発者、市場の成長を提供します：エンターテインメントの入口、トークンハブ、ゲーム、コミュニティ。インフォグラフィックの言葉どおり、1つのチェーン、1つのオペレーティングシステムです。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年7月9日

Spartan OSはGDとRMを公式にどう説明していますか？

GD：ガバナンストークン。総供給量390,000。プラットフォームのガバナンス投票、プロトコルパラメーターの調整、予測市場の決済、エコシステムの価値捕捉に使われ、長期的なガバナンス権と中核的な価値の担い手として位置付けられています。RM：適応型アルゴリズムのインセンティブエンジンが発行するユーティリティ兼報酬トークン。参加報酬、アプリケーション特典、コミュニティ貢献ボーナス、タスクインセンティブ、成長報酬に使われます。

GDは長期的な権利を持ち、RMは毎日循環します。AICSスコアリングとTriZoneインセンティブエンジンが、この2つのトークンと並んで位置しています。2026年6月26日のインフォグラフィックとホワイトペーパーの第5章は、同じことを述べています。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年6月26日；Spartan OSホワイトペーパー、公式、2026年、第5章

GDの供給量390,000はどのように配分されていますか？

Genesis Cornerstone Program 35%、段階的に解放。流動性インセンティブ25%、LPインセンティブのサイクルに沿って解放。DAOエコシステム報酬10%、5年間で線形に解放。チームとコア貢献者10%、12カ月のクリフの後、36カ月で線形に解放。エコシステムファンド10%、DAOガバナンスにより必要に応じて解放。戦略パートナー5%、24カ月で線形に解放。プロトコル・トレジャリー準備金5%、非流通。

チーム分の10%は一年間動かせず、その後さらに3年かけて譲渡可能になります（公表どおり）。Economic Model Analysisの5ページ。2026年9月24日のデューデリジェンス回答はさらに、RM Stable Vaultに紐づくGDの権利はこの当初配分のうち流動性インセンティブ枠の25%から拠出され、30週間かけて線形に解放されること、そして5%のトレジャリー準備金はリスク準備金であることを補足しています。最大供給量390,000は変わりません。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、5ページ

Genesis Foundation ProjectとGenesis NFTとは何ですか？

初期参加者向けのプログラムです。Genesis NFTは世界で10,000枚、4つのティアがあり、それぞれに目標サイクル倍率があります：S1 Pioneer 3.5×、S2 Guardian 4.0×、S3 Vanguard 4.5×、S4 Spartan Elite 5.0×。明記されている権利：GDガバナンスのエアドロップ、DAO優先資格、創設メンバーの地位、加重されたコミュニティ報酬、エアドロップの優先権、限定割引。

ティアの獲得方法と、倍率が何に適用されるかは、このページでは明記されていません。同じプログラムが、2026年7月に価格安定基金の資金を拠出しました。Economic Model Analysisの8ページ。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、8ページ

価格安定基金とは何ですか？

1,000,000 USDTの基金で、2026年7月10日にGenesis Foundation Programの第3ラウンドから割り当てられました。用途は、RMの市場価格の安定、流動性の改善、異常な変動時の対応に限られます。公表されたアドレス：0x2aF89Eb5c0b8c689845E8Ae5bd15c03072F00635。財団は、プログラムの規則に従って運営し、DAOとコミュニティの監督を受け入れるとしています。

安定基金とは、プロジェクトが市場で使えるお金であり、価格の下限ではありません。発表もそうは主張していません。読者は誰でも、エクスプローラーでこのアドレスを確認できます。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年7月10日

Charge Incentive Pool（チャージ・インセンティブプール）とは何ですか？

2026年8月4日に発表されたエアドロッププールです。360日または540日の長期ステーキング、360日または540日のボンド、またはRM Stable Vault（2.5×）で、一度の参加額が200 USDTを超えるユーザーは、発表でBottom-Fishing Incentive Pool（底値買いインセンティブプール）と呼ばれるプールから、不定期のエアドロップを受ける資格があります。時期とルールは公式発表で定められます。

不定期とは、文字どおり不定期という意味です。長期ポジションに付随する可能性として紹介し、決してレートとして示さないでください。最新のルールは、dAppの各機能ページに掲載されています。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年8月4日

Spartan OSは監査を受けていますか？

はい。Anubis Labsは2026年8月2日、Spartan OSがCertiKのセキュリティ評価を完了したと発表しました。対象はガバナンス用マルチシグ、トレジャリー、ステーキング、報酬分配、主要トークンのコントラクトで、クリティカルの指摘はゼロ、メジャーもゼロ、ミディアムの指摘3件はすべて解決済みです。

以前のプロモーター資料では、監査は提出済みとされていましたが、完了の発表がそれに取って代わります。懐疑的な人にこの結果を伝える前に、skynet.certik.comのレポートのリンクを求めてください。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年8月2日

TempleRaidの「保険付き」とは何を意味しますか？

Spartan OSはTempleRaidを、初の永続型・保険付きブロックチェーンゲームと呼んでいます：25マス、六十秒のラウンド、オンチェーンの乱数、そして「負けても保険メカニズムで保護される」という一文。保険がどれだけを返し、どのプールから支払われるのかは、ここで入手できる資料では公表されていません。

その空白を埋めないでください。発表の内容と、仕組みの条件はプロジェクトが公表すべきものであることを伝えてください。部分的な保険が付いた運任せのゲームも、運任せのゲームであることに変わりはありません。対応資産：RM, GD, DAI, USDT。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年9月3日・5日

DappOSとは何で、DOSのエアドロップとは何でしたか？

DappOSは、Anubis ChainとSpartan OSの戦略的AGIパートナーです。2026年8月、Spartan OSは長期ポジション向けに、DappOSのトークンDOSのエアドロップを実施しました：500 USDTからの360日ステーキングまたはボンドはDOSで1.5%の追加分、540日は3%を獲得し、500 USDT単位でした。8月31日に終了しています。DOSは8月11日にUpbit, Binance Alpha, Bitget, OKX, Gateに上場しました（発表どおり）。

終了したキャンペーンは過去の出来事であり、売り文句ではありません。長期ポジションがこれまでに受け取ったものの例として触れ、今後のエアドロップは発表されていないことをはっきり伝えてください。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年8月1日、3日、4日、11日、31日

最新の流動性の数字は？

2026年9月5日：RM/USDTの流動性28,153,200 USDT、エコシステム準備金4,000,000 USDT、RMは$25.122から$29.9639に上昇（公表値）。9月13日：流動性は約2,903万USDT、準備金400万、総資本基盤は3,300万+と公表、RMは$32.84から$25.12に下落した後、$30を回復。9月14日の説明会では、プールは2,900万ドルとされました。

同じ投稿には目標も記されています：次は$33M、年末までに$90Mから$100M、RMは$40と$50。目標はプロジェクトの意欲であって、数字ではありません。数字は日付とともに引用し、目標は省いてください。最新の流動性は、geckoterminal.comとRocketSwapのプールページで確認できます。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載された発表、2026年9月5日・13日

エネルギー解放プロトコルはどのように機能しますか？

コミュニティ報酬をターボプールにクレーム（受け取り）すると、エネルギーが1対1で消費されます：ユーザーは保有するエネルギーの範囲内で報酬を解放できます。エネルギーは、長期ステーキング（360日ポジションはエネルギー価値150%、540日ポジションは200%）か、トークンのバーンで得られます。バーンで得られるエネルギーは、デッキでは200%から600%の範囲で動的に設定されるとされています。

このページの150%と200%は、すでに置き換えられています：2026年9月26日、プロジェクトは、稼働中のdAppのパラメーター（その日のエネルギーステーキング260%、RMバーン557%。いずれも動的で、プロトコルにより調整可能）が最終的な基準であり、このページもデューデリジェンス回答にある2〜6倍のレンジも、それに優先すべきではないと述べました。Economic Model Analysisの17ページ。倍率ではなく、仕組みのために掲載しています。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、17ページ

ターボトレーディングプールとは何ですか？

プロモーターが「タービン」と呼んでいるものの公式名称です。リベースとコミュニティ報酬は、受け取り時にターボトレーディングプールに預けられます。プロトコルは受け取った報酬と1対1でRMを自動購入し、購入したトークンは購入完了時にロックされます。すべての支払いが購入になります。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、19ページ

5%の売却手数料は、公式にはどこへ行くのですか？

購入0%、売却5%で、4つに分配されます：0.5%はプラットフォーム基金（運営と技術保守）、1.2%は買い戻し基金（GDとRMの買い戻しとバーン）、1.3%はコミュニティ開発基金、2.0%はエコシステム基金（準備金と拡張）。デフォルトの買い戻し比率：GD 0.6%、RM 0.6%。市場状況に応じて調整可能です。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、20ページ

公式のランク表には何が書かれていますか？

Spartan OSの「ひと目でわかる」ページは、個人保有額、直紹介（あなたが直接紹介した人）の数、コミュニティ実績、報酬レンジによって12のレベルを示しています：V1 500 USDT・直紹介3人・コミュニティ10,000・5%〜10%、V2 1,500・4・50,000・8%〜15%、V3 3,000・5・150,000・10%〜20%、V4 5,000・6・300,000・15%〜25%、V5 7,000・8・600,000・20%〜35%、V6 9,000・10・1,200,000・25%〜45%、そしてV12は50,000・直紹介20人・V11の2倍の実績・85%〜100%です。

報酬の列はパーセンテージのレンジであり、日額のドル金額ではありません。プロモーター用デッキにあるV1からV5の日額は、9月7日のレートでこれらのレンジをリーダーが換算したものです。公式の記載はレンジのほうです。Economic Model Analysisでは、各レベルをRecruitからSpartan Kingまでの名前で呼んでいます。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年6月17日；Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、16ページ

TriZoneとは何ですか？

レベル収入の背後にある3層のインセンティブ構造です。コアゾーン：直接の貢献、8%。コーディネーションゾーン：コミュニティでの協働とチームの成長、4%。エコシステムゾーン：より広い拡大とユーザーへのリーチ、2%。ホワイトペーパーは、インセンティブを静的な配分から動的な評価へ移す方法として、AICSスコアリングとともにこれを紹介しています。

出典：Spartan OSホワイトペーパー、公式、2026年、5.5節；SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年6月17日

O²はOlympus DAOと、項目ごとにどう違いますか？

プロジェクト自身の表にある8つの観点です：流動性（POL＋動的調整 対 POLのみ）、利回り（収益上限と適応型の解放 対 高いリベースAPY）、市場調整（能動的な戦略 対 自己均衡）、安定性（センチメントとデータ 対 裏付けのない支え）、供給（ミント、バーン、買い戻し 対 リベースによる拡張）、リスク管理（プロトコルによる介入 対 参加者の行動）、ガバナンス（DAO＋マルチシグ＋階層的な実行）、柔軟性（動的なパラメーター 対 固定された仕組み）。

表の全体は「比較」セクションにあります。その列はOlympus DAO自身が書いたものではありません。Economic Model Analysisの29ページ。

出典：Spartan OS Economic Model Analysis、公式デッキ、2026年、29ページ

公式の図では、5つのコアドライバーとは何ですか？

コンテンツアクセスハブ（高頻度のインタラクション、ユーザーの集約）、AIグロースエンジン（需要の理解、ディストリビューションの改善）、AI Agent Token Hub（サービスのオーケストレーション、価値の循環）、AIコンピュートエンジン（計算能力の提供、弾力的なスケーリング）、開発者エコシステム（オープンなツール、シナリオの拡大）。ホワイトペーパーと同じ5つのシステムで、現在稼働しているのは2つです。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、2026年6月から7月

Phalanx Communityとは何ですか？

このライブラリを中心に、Anubis Chain上でSpartan OSを築いている英語圏のコミュニティです。名前は、三百人が一人ひとり隣の者を守ることで峠を守り抜いた陣形に由来します。ルールは4つ：すべての数字に上限と日付を添えること、リターンを約束しないこと、リンクは公式ページのものだけを使うこと、答えのない質問は推測せずリーダーに回すこと。

チャンネルはTelegramの@spartanos_phalanx（t.me/spartanos_phalanx）です。紹介リンクは「登録」セクションにあります。資料はまずチャンネルに投稿され、その後ここで更新されます。

出典：Phalanx Community、2026年9月

Phalanxのチャンネルはどこですか？

Telegramの@spartanos_phalanx（t.me/spartanos_phalanx）です。お知らせ、オンラインミーティング、最新の資料はまずそこに届き、このページは各版の更新でそれに続きます。登録リンクは、チャンネルと並んで「登録」セクションにあります。

新しい人はまずチャンネルに参加し、決めたときにだけ登録します。最初のメッセージでは、リンクではなくチャンネルを送ってください。

出典：Phalanx Community、2026年9月24日

資産サイドとトークン供給サイドとは何ですか？

声明が示す、経済の2つの側面です。資産サイド：プロトコルに入る資本は、プロトコル資産、流動性、トレジャリー、POLの規模に加わります。トークン供給サイド：RMは、プロトコルと利用する商品のルールに従って、ミント、ロック、解放、買い戻し、バーンされます。両者は相互に作用しますが、同じものではありません。したがって、入金は分割されてRM報酬として支払われるお金ではありません。

これは、プロジェクトが自らの源流として挙げるOlympus型のトレジャリーとボンドの論理です：将来のトークン供給を使って、プロトコルが今日必要とする資産と流動性を獲得します。誠実な伝え方は、両方のサイドを一息に説明し、プロジェクト自身の注意点を添えることです：ミントだけでは何も解決せず、問題は実需が供給を吸収するかどうかです。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

資本はSpartan OSに入った瞬間から、どうなるのですか？

プロジェクトの説明では次のとおりです：資本がプロトコルに入り、プロトコル資産、トレジャリー、POL、または流動性になります。プロトコルのルールに従ってRMがミントされ、そのRMは管理された形でロックされ、解放されます。RMは二次市場の需給と出会い、O²が市場を監視し、買い戻し、バーン、保護、流動性の仕組みが反応します。そしてシステムは、新たな需給均衡へと向かいます。

ステップは9つあり、RMが一度に公開市場に出るとは限りません。ミントと市場の間には、ロック、解放、1:1のターボ需要、買い戻しとバーン、そしてO²があります。この流れをそらで言えるプロモーターは、経済に関する質問の大半に、聞かれる前に答えられます。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

Spartan OS経済の3つのレイヤーとは何ですか？

プロトコルのルール、ネットワークのインセンティブ、市場のバランシングです。プロトコルのルールのレイヤーは、資産がどのように入り、ロックされ、ミントされ、解放されるかを定めます：ステーキング期間、ボンド、解放スケジュール、最大報酬倍率で、これらは日々恣意的に変更されるものではありません。AICSはネットワークのインセンティブのレイヤーで、ネットワークの健全性に応じてインセンティブを調整します。O²は市場のバランシングのレイヤーで、市場の健全性に応じて保護を調整します。

プロジェクトによる一文の要約：AICSはネットワークの健全性を、O²は市場の健全性を管理する。プロトコルのルールが枠組みを与え、実際のインセンティブと保護のパラメーターは恒久的な固定値ではなく、2つのフィードバックループを通じて適応します。これらの仕組みは耐性を高めるために設計されたものであり、価格や利回りの安定を保証するものではないと伝えてください。声明自体もそう述べています。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

すでにRMとステーブルコインがあるのに、なぜGDが存在するのですか？

Spartan OSの言い方では、3つの資産に3つの役割があります。ステーブルコインは価格を付け、決済し、資本を呼び込みます。RMは高頻度の資産で、インセンティブ、ステーキング、ボンド、流動性、複利、バーン、アプリケーションを通って動きます。GDは希少なガバナンスと長期的なエコシステム権利のレイヤーです：最大390,000トークンで固定され、ユーザー、TVL、アプリケーションに応じて増えることはありません。プロジェクト自身の論点は、速く循環する資産と最も希少な長期的権利を、同じトークンにすべきではないということです。

この回答は、懐疑的な人がまず言うことを認めています：一般的なガバナンストークンも同じように作れるので、名前だけでは何の証明にもならない、ということです。GDの違いは、固定された390,000に、実際のガバナンス権、アプリケーションでの効用、エコシステムへの参加を結び付けることで、勝ち取らなければなりません。GDの出どころ：初期NFT保有者の権利、あらかじめ定められたガバナンスとエコシステムの配分、RM Stable Vaultに紐づくGDの権利、そして二次市場。Stable VaultのGDは、新たにミントされるのではなく、当初配分（流動性インセンティブ枠の25%）から30週間かけて線形に解放されます。当初の構造には、5%のプロトコル・トレジャリーのリスク準備金もあります。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

希少性のほかに、GDの需要を生むものは何ですか？

利用です。プロジェクト自身の言葉では、希少性だけでは需要は生まれません。意図されている構造は、固定供給、限られた取得手段、ガバナンス需要、アプリケーションでの効用、エコシステムの拡大の組み合わせです。TempleRaidは、GDを活用する最初のアプリケーションです。さらなるゲーム、DeFi、RWA、DID、NFTシステム、取引インフラが、同じ390,000トークンにガバナンスへの参加、アプリケーション内の権利と権限を加えていく計画です。

Spartan OSは、それを証明する指標を挙げており、価格はその中に含まれていません：GDのアクティブアドレス数、保有の分布、ガバナンスへの参加、GDを使うアプリケーションの数、アプリケーション内のインタラクション、オンチェーンの利用状況。その基準は両方向に働きます：エコシステムが拡大してもGDの利用が増えなければ、構造的な需要は示されていない、ということです。懐疑的な人に言われる前に、その一文を自分から伝えてください。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

「U字回復」の話とは何で、なぜプロジェクトはそれを最初に語るのですか？

Spartan OSが現在、仕組みやレートについて話す前に、新しい海外パートナー全員に送っているメッセージです。Anubis Chainは2026年4月8日にローンチし、Spartan OSは6月16日に市場に公開され、総資本基盤は1つの完全なサイクルを経て3,500万USDTを超えました：急成長、調整局面、信頼が試された期間、そしてプロジェクトがU字型と呼ぶ回復です。最初に語る理由：初期のコミュニティはそのサイクルの中で規律を学んだのであり、プロジェクトは海外市場に、下落を繰り返すのではなく、その教訓を引き継いでほしいと考えています。

一度は全文を読み、その後は一文を抜き出すのではなく、セクションのリンクを送ってください。この文章自体に限界が明記されています：3,500万は公表された総額であり、その後のマイルストーンは開発目標であり、価格は需給で決まります。先立つ調整局面に触れずに回復だけを引用するプロモーターは、プロジェクトとは違う話をしていることになります。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

「上がるときは規律を、下がるときは構築を」とは、実際にはどういう意味ですか？

初期のコミュニティが学んだことについての、プロジェクト自身の要約です。上昇局面では、プロトコルが健全なままでも、集中的で大規模かつ無秩序な売りが流動性とセンチメントを損なうことがあります。そのためコミュニティは、合理的で分散した、秩序ある取引を勧めています。下落局面では、構築を続けました：コミュニティの育成、市場教育、イベント、新しい参加者。プロジェクトがすべての市場に守ってほしいと求める6つの言葉：市場が上がるときは冷静に。調整するときは慌てない。個人の選択を尊重し、共有の市場を尊重する。価格を見て、流動性はもっと見る。リターンを見て、エコシステムも見る。今日を考え、明日のために築く。

これらは、プロジェクトの言葉で言えば慣習であり、契約上のルールではありません。文化として伝え、決してメンバーになる条件として伝えないでください。覚えておくべき一文：共有された流動性の市場では、個人の行動がエコシステム全体に影響しうる。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

プロジェクトによれば、Spartan OSは誰のものですか？

エコシステムの構築に貢献するすべての人のものです：中国のものでも、インドのものでも、ドバイのものでも、どこか単一のコミュニティのものでもありません。プロジェクトは次の段階を、ある市場が別の市場を率いるのではなく、世界が共に築く段階と説明しています。規模が大きくなるにつれ、中国、インド、中東、東南アジアの市場が、1つの市場のつながった部分になっていくとしています。

メンバーから、海外市場は中国市場の二番手なのかと聞かれたときに役立ちます。プロジェクト自身の答えは、初期のコミュニティが基盤を築き、今はその経験を伝えている、というものです。締めくくりの公式は、O²＋AICS＋エコシステムの発展＋コミュニティ・ガバナンス＋グローバルなコンセンサスです。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

収入

ステーキング、ボンド、タービン。すべてのレートに上限と日付を。

Spartan OSでは、どのように収入を得るのですか？

5つの収入源があり、すべて12時間ごとに支払われ、そのうち4つは$1から始められます。フレキシブル・ステーキングは12時間あたり0.3%。長期ステーキングは180日、360日、540日で日次1.1%〜1.3%。バーニングボンドは$500からで、純額で日次1.5%。レベル収入は3つのレベルでROIの8%、4%、2%。ランク報酬はV1〜V12で、DAOプールから毎日支払われます。

レートはSpartan OSの公表どおり（2026年9月7日・14日時点）。レートは変動します。すべての長期ポジションには、参加時にUSDT建てで確定する上限があります。獲得したRMはすべて、ウォレットに届く前にタービンを通ります。リターンを約束するものではありません。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド6

フレキシブル・ステーキングはどのように機能しますか？

$1から、ロックなし。RMに対して12時間ごとに0.3%、日次で約0.6%。そのままにしておけば自動で複利になります。手を付けなければ月約20%。元本はいつでも引き出せます。上限なし。

$1,000の場合：日額約$6、月額約$180、複利で約$200。これらはRM建ての数字で、ドルでの結果は売却日のRM価格によって決まります。公表されている概要では、レートは0.22%〜0.93%のレンジとして記載されています。9月7日時点の実際のレートは12時間あたり0.3%で、変動します。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド7／リーダー向け資料、2026年9月、第II部

長期ステーキングはどのように機能しますか？

$1から、期間は180日、360日、540日。公表日次レート：1.1%、1.2%、1.3%。総支払額の上限：USDT建て参加額の4×、4.5×、5×で、参加した時点で確定します。ポジションは期間にかかわらず、その上限に達するまで支払いを続けます（2026年9月25日に確認）。元本は期間中、利息および追加報酬とともに毎日分割して解放され、そのすべてが上限内に算入されます。上限に達した後に元本が上乗せで支払われることはありません（2026年9月26日に確認）。

$1,000の場合：公表レートで日額$11、$12または$13、月額約$330、$360または$390。長期の注文には元本、利息、追加報酬の3つの枠が表示され、いずれも毎日クレーム（受け取り）できます。利息はそのままにしておけば12時間ごとに複利になります。追加報酬は複利にならないため、毎日クレームしてください。9月14日には、レートはそれぞれ1.0%超、1.1%超、1.2%超と案内されていました。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド7と8／リーダー向け資料、2026年9月、第II部

上限とは何を意味しますか？

すべての報酬を合算して、ポジションが支払える最大額です。参加した時点でUSDT建てで設定されます。540日で$1,000を投じた場合、支払われるのは最大でRM換算$5,000です。そこでポジションは完了し、新しいポジションを開きます。フレキシブル・ステーキングには上限がありません。

まず上限を伝えてください。上限のないレートはただの物語にすぎず、上限のあるレートは契約です。2026年9月25日に確認：ポジションは期間にかかわらず、上限に達するまで支払いを続けます。公表レートでは、360日と540日のポジションは期間終了前の約10か月で上限に達し、バーニングボンドは約3か月で達します。2026年9月26日に確認：元本は上限内に含まれます。元本と収益はともに解放され、どちらも4×、4.5×、5×に算入されます。元本が上乗せで追加支払いされることはありません。計算ツールはこの解釈のみを適用しています。リーダー向け資料では上限を400%、450%、500%と記載しています。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド7／リーダー向け資料、2026年9月、第I部

$1,000の日額はいくらですか？

公表レートで、チーム収入を含まない場合：フレキシブルで$6、180日で$11、360日で$12、540日で$13、バーニングボンドで$15。$10,000の場合：日額$60、$110、$120、$130、$150。

2026年9月7日時点の公表どおりの単純な日次レートで、複利は含みません。レートは変動します。上限は参加時にUSDT建てで確定します。リターンを約束するものではありません。結果はすべてRMで伝え、換算は聞き手に任せてください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド8

流動性ボンドとは何ですか？ステーキングと同じですか？

いいえ。ボンドは同じダッシュボードから購入しますが、別の商品です。流動性ボンドはRMを市場価格から割り引いて販売し（公表日時点で、180日は約2%〜5%、360日は4%〜10%、540日は6%〜16%）、対応するステーキングと同じように、同じ上限のもとで支払われます。追加報酬はありません。$1から。

オンラインミーティングでの計算例：$1,000を割引率15%の540日ボンドに入れると、$1,150相当のRMを購入できます。RM単価$30.46なら、参加価格は$26.21です。ステーキングはRMをより速く解放し、追加報酬が付きます。ボンドは同じ上限のもとで、より多くのRMを購入します。相手がどちらを保有したいかを尋ねてください。割引率は市場とともに変動します。プロジェクトは2026年9月25日にそれを明言しており、同じ日に海外チームに対し、現段階ではボンドから紹介するよう伝えています。ボンドの元本と報酬は毎日解放されます。ボンドのカードと「公式声明」セクションを参照してください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド9／リーダー向け資料、2026年9月、第II部

バーニングボンドとは何ですか？

$500から、最大額の制限なし。注文額の250%（純額で150%）を、複利なしの純額日次1.5%で解放し、上限は2.5×です。さらに20%のエネルギーチャージと3%のGDエアドロップが付きます。リーダーがレベル収入のためのエネルギーを手に入れる方法であり、GDを得る2つしかない方法のうちの一つです。

日次の数字は最も高く、上限は最も低く、公開市場以外でGDを得る唯一の入口です。公表レートでは、約3カ月で上限に達します。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド8と9／リーダー向け資料、2026年9月、第II部

タービンとは何ですか？

ステーキング、ボンド、ランク報酬、レベル収入のいずれで得たRMも、すべてここでクレーム（受け取り）します。DEXで同額のRMを1対1で購入し、24時間待つと、両方の額があなたのものになります。すべての支払いは、同時に購入でもあります。

それが、毎日リターンを支払いながら、RMがローンチ以来$30を上回って推移していることについてのプラットフォームの説明です：リターンそのものが買い圧力になっているのです。一息にこう伝えてください：得たものはすべてタービンを通り、同額を購入し、24時間待てば、あなたのものになる。追加でエネルギーが必要なのは、レベル収入だけです。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド11／リーダー向け資料、2026年9月、第III部

追加報酬とは何ですか？

長期ポジションにだけある3つ目の枠で、追加売却税の35%が原資となり、12時間ごとにクレームできます。複利にならないので、毎日クレームしてください。360日または540日のポジションに$200以上ある人は誰でも、その分配を受けます。

他の人が慌てて下落の中で売ると、その人たちが支払う追加税は分けられます：65%はバーン、35%はこのプールへ。下落は、保有者への支払いになります。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド7と11

ジェネシス段階とは何ですか？

公表どおり、6日間の段階が3つあります：第1段階は$4で、倍率5.0×、GDエアドロップ8%、手数料1%。第2段階は$3、4.5×、5%、0.8%。第3段階は$2、4.0×、3%、0.5%。各列はプロジェクトのものですが、それぞれがどう適用されるかは、まだ完全には定義されていません。

ここは、モデルの中で最も変わりやすい部分です。どれかを紹介する前に、x.com/Spartan_Arena_で最新の発表を確認してください。数字が異なる場合、リーダー向け資料の該当ページは置き換えられたものとみなします。

出典：リーダー向け資料、2026年9月、第VI部

本日のレート、価格、上限は？

2026年9月24日時点のspartanar.orgの表示どおり：RM $30.81。フレキシブルはリベースごとに0.2962%、リベースは日に2回、上限なし。長期の上限は4×、4.5×、5×。ボンドは180日、360日、540日でRM価格よりそれぞれ1.29%、11.46%、16.61%低い。安定ボールト：500 USDTから、解放上限250%、GDは30週間かけて段階的に解放。エネルギーは360日ステーキングで260%、RMのバーンで557%。手数料は基本5%、保護1%。タービンの追加比率1%。

ダッシュボードの読み取り値：時価総額$226.45M、RM供給量7,350,151、トレジャリー$61.5M（リスクフリー価値（risk-free value）$10.93M）、RMのステーク率69.67%、預かり資産総額（TVL）$157.5M、フレキシブルプール$57.05M、LPボンド残高$106.6M、買い戻し基金2,083,658 USDT。レートは変動します。引用する前にdAppを確認し、全一覧は「本日の条件」セクションを参照してください。

出典：spartanar.org、2026年9月24日時点の読み取り

ある金額がいくら支払うか、あるいはチームがどのランクの資格を得るかは、どう計算しますか？

このページにある2つの計算ツールを使ってください。1つ目は、金額、商品、レート（公表値を入力済み）、価格、試算期間を入力すると、1日目、30日、試算期間、上限とそれに達する日をRMとUSDTで表示し、さらにすべての商品を並べて比較します。2つ目は、あなた自身のポジションとラインを入力するとランクを判定し、小ゾーンのDAO報酬、レベル収入、エネルギー、各ボーナスの行を表示します。同じボリュームを2〜6ラインに分け直した場合も示します。

どちらも、すべての前提を明示しています。3つのボーナスの行は、確認済みのルール（差額はレンジの差に基づく。同ランクボーナスと追い越しボーナスは、最も近い該当ポジションの収益の10%〜15%）に、推定の基数で従っており、各行にどの部分が推定かを記しています。「要約をコピー」で、話している相手に貼り付けられるテキストが、上限と日付を含めて作成されます。

出典：本ページ、2026年9月24日

各入金のうち、どれだけの割合がネットワークに回るのですか？

そのような割合はありません。Spartan OSは、$100ごとにネットワーク、コミュニティ、報酬への固定の取り分に分けるような資金分配モデルではないと述べています。プロトコルに入る資本は、資産サイド（商品に応じて流動性、トレジャリー、プロトコル保有流動性）に向かいます。それとは別に、プロトコルはルールに従ってそれに対してRMをミントし、ロックし、管理された形で解放し、O²がその供給を需要とバランスさせます。割合で答えると、プロジェクトが運営していないと言っているモデルを説明することになります。

割合を聞かれたら、2つの側面を伝えてください：その$100がどのようなプロトコル資産を生むのか、そしてそれに対してどのような将来のRM供給が生まれ、どのように市場に届くのか。懐疑的な人に渡すべきは、声明自身のデューデリジェンスの問いです：資本1単位ごとに、どのような資産が生まれ、または取得されるのか。どのようなRM供給、または将来の負債が生じるのか。それはどのように解放されるのか。そして、何がそれを実需と流動性に対してバランスさせるのか。そのうえで、それに答えるデータを示してください：RMの純発行量、買い戻しとバーンの量、POLと流動性の厚み、継続率、ストレス時の挙動。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

プロジェクト自身の言葉では、タービンはなぜ存在するのですか？

供給と並んで需要を生むためです。1:1のTurbo Engineのもとでは、参加によって同じ規模のRMの強制購入が発生し、保有期間が設けられます。声明の目的は明確です：システムはトークンの排出を生むためだけに設計されたものではなく、報酬と供給が生み出され解放される間に、RMに対応する市場需要を生もうとしています。

仕組み（クレーム、同額のRMを購入、24時間）については、タービンのカードと併せて伝えてください。経済的な要点は、すべての排出に同額の購入要件が伴うことです。これが、ミントするモデルがどれも向き合わなければならない問い、つまり新たな供給を誰が買うのかという問いに対する、プロジェクトの答えです。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

元本は上限に含まれますか？

はい。ステーキングのポジションやボンドの当初元本は、4×、4.5×、5×の総解放上限の内側に含まれます。この仕組みは元本と収益を時間をかけて一緒に解放し、上限に達した後に元本が別途上乗せで返されることはありません。5×のポジションでは、プロトコルが解放する元本と収益の両方が、その5×の総額の内側に数えられます。2026年9月26日に確認。

プロジェクトと同じように伝えてください：元本と収益は一緒に解放され、どちらも上限の内側にあり、元本が上乗せで支払われることはありません。したがって、$1,000を540日で預けた場合、支払いは合計でRM価値$5,000となり、そのうち$1,000はあなた自身の元本が戻ってくるものです。公表レートでは、360日と540日のポジションは期間終了前に上限に達します。プロジェクトの回答は上限到達後は何も支払われないとしているので、文字どおりに受け取り、それ以外を約束する前には確認してください。計算ツールは現在、この読み取りだけを適用しています。

出典：4つのフォローアップ質問への回答、2026年9月26日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

新しい海外メンバーは、通常のステーキングとボンドのどちらから始めるべきですか？

2026年9月25日のプロジェクトの回答：現段階ではボンドです。通常のステーキングと比べてボンドに何の利点があるのかと聞かれたHarryの答えは、ボンドには割引があり、ステーキングはより多くのコイン数を得られる、というものでした。同じ時間に海外チームへ伝えられた指示：現段階では、通常のステーキングではなくボンドを購入するよう、海外市場に伝えること。

日付を付けたプロジェクトのガイダンスとして伝え、決してあなたからのリターンの推奨として伝えないでください。理由は比較のカードにあります：同じUSDTでもボンドのほうが多くのRMを購入でき、元本と報酬は毎日解放されます。割引率は変動するので、引用する前にボンドのページを開いてください。2026年10月3日に定めたPhalanxの順序：まずボンド。ステーキングは、その人がシステムに入り、リーダーから購入したRMを保有してから。

出典：Spartan OS海外チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日、「公式声明」セクションに転載

9月25日に、1,000 USDTで市場とボンドではそれぞれ何が買えましたか？

市場価格$30.8081で、約32.459 RM。360日LPボンド（$27.5301、市場より10.64%割安）では約36.324 RMで、3.865多くなります。540日LPボンド（$26.2535、市場より14.79%割安）では約38.090 RMで、5.631多くなります。数字はすべて、2026年9月25日にプロジェクトが投稿したとおりです。

これらの数字は、ある1日のスナップショットです。「公式声明」セクションの比較カードに日付付きで掲載されており、商品の計算ツールはボンドのページから当日の割引率を取得します。追加で得られるRMは参加時の利点であり、その後ポジションが支払うのは、対応する長期ステーキングと同じレートと上限です。

出典：Spartan OS海外チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日、「公式声明」セクションに転載

ボンドは満期にだけ支払われるのですか、それとも毎日ですか？

毎日です。360日と540日のLPボンドのどちらも、元本と報酬はボンド期間を通じて毎日解放されます。元本を満期まで待つ必要はありません。2026年9月25日にプロジェクトが確認。

9月26日の「元本は上限の内側」というルールと一致しています：元本と収益は一緒に解放され、どちらも4×、4.5×、5×の上限の内側に数えられます。「毎日解放、上限の内側」と伝えれば、2つの回答は矛盾しません。

出典：Spartan OS海外チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日、「公式声明」セクションに転載

ボンドの割引率は固定ですか？

いいえ。「割引率は固定ではありません。プロトコルは実際の状況に基づいて調整されます」。9月24日、ボンドページには180日、360日、540日でそれぞれ市場価格より1.29%、11.46%、16.61%低いと表示されていました。9月25日、プロジェクトは360日と540日について10.64%と14.79%と案内しました。割引率はその日のボンドページで確認してください。

日付のない割引率は決して載せないでください。計算ツールのボンドの欄に「ボンドのページの表示どおり」とあるのは、このためです。

出典：Spartan OS海外チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日、「公式声明」セクションに転載

チームとランク

レベル収入、エネルギー、V1〜V12の階段、AICSスコア。

レベル収入はどのように機能しますか？

直紹介（あなたが直接紹介した人）が得たROIの8%、第2レベルで4%、第3レベルで2%が、12時間ごとに支払われます。引き出しにエネルギーが必要な唯一の収入源で、ほかのすべてと同じようにタービンを通ります。

1期間の計算例：第1レベルは3人がそれぞれ20 RMを生み出し、60 × 8% = 4.8 RM。第2レベルは6人が15 RMで、90 × 4% = 3.6 RM。第3レベルは10人が10 RMで、100 × 2% = 2 RM。合計10.4 RMで、引き出すには10.4単位のエネルギーが必要です。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド10／リーダー向け資料、2026年9月、第IV部

エネルギーとは何で、どうすれば手に入りますか？

レベル収入を引き出すのに必要な単位で、1 RMの引き出しにつき1単位です。個人のステーキング、ボンド、ランク報酬には不要です。入手方法は2つあり、倍率は当日dAppに表示されるものです：RMを360日ステークする（2026年9月26日時点でポジションの260%）か、RMをバーンする（バーン額の557%。したがって約0.18 RMをバーンすれば、レベル収入1 RM分をまかなえます）。どちらの倍率も動的なプロトコルパラメーターで、dAppが最終的な基準です（2026年9月26日に確認）。

レベル収入$1,000を引き出すには1,000単位が必要です：557%なら約$180相当のRMをバーンし、260%なら約$385相当のRMを360日ステークで保有します。バーニングボンドには20%のエネルギーチャージが付きます。Economic Model Analysisの150%と200%、9月24日のデューデリジェンス回答にある2〜6倍のレンジは、2026年9月26日のプロジェクト自身の指示により、稼働中のdAppの数字に置き換えられています。倍率を引用する前にEnergyページを開き、日付を添えてください。

出典：リーダー向け資料、2026年9月、第III部

V1〜V12のランクはどのように機能しますか？

3ラインではなく2ラインです。大きいラインでランク資格を判定し、小さいラインで報酬を計算します。V1には$500のステーク、資格を満たす直紹介（あなたが直接紹介した人）3人（各$100以上）、2ラインそれぞれに$10,000が必要で、DAOプールから日額約$15〜$25が支払われます。V2：$1,500、直紹介4人、各ライン$50,000、日額約$80〜$180。V3：$3,000、5人、$150,000、約$150〜$300。

V4：$5,000、直紹介6人、各ライン$300,000、日額$300〜$500。V5：$7,000、8人、$600,000、$800〜$1,200。V6〜V12の数字は参考値で、ブロック報酬レートとAICSスコアによって毎日決まります：固定ではなく、保証されません。Originでは3チームが必要でしたが、Spartan OSでは2チームです。最も大きいラインが大ゾーンで、それ以外のすべてのラインを合わせたものが小ゾーンとなり、報酬は小ゾーンに基づいて支払われます（2026年9月24日に確認）。V10〜V12には、それぞれ直下のランクを持つ2ラインが必要です。ランク間の差額は、2つのレンジのパーセンテージの差として確認されており、上位のランクに支払われます。同ランクボーナスは、あなたの下にいる最も近い同ランクのポジションの該当収益の10%〜15%で、一度だけ支払われ、さらに下にいるそうしたポジションのすべてから支払われるわけではありません。追い越しボーナス（override）も、同じく最も近いポジションの原則に従います（2026年9月26日に確認）。V12の個人ステークは50,000 USDT、同日に確認。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド10／リーダー向け資料、2026年9月、第IV部

V1には何が必要ですか？

自分で$500をステークし、各$100以上の直紹介3人、2ラインそれぞれに$10,000。公表されているV1の日次ランク収入：約$15〜$25で、AICSスコアによってレンジ内で変動します。

デッキの言い方では：3人と、$10,000の2チーム。Originでは$50,000の3チームが必要でした。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド10

AICSスコアとは何ですか？

すべてのアカウントに付くスコアで、2026年9月24日に、30日間のローリング期間におけるScore = 0.2H + 0.4C + 0.2A + 0.2Rとして公表されました：保有0.2、活動0.4、貢献0.2、継続率0.2で、活動の0.4は同日に確認されています。スコアによって報酬はレンジ内で動くため、同じV6の2人でも支払額が異なることがあります。プログラムは規模だけでなく、参加の質に対して支払います。

印字されている文字は、各次元を明記していません。上記の重みが確認済みの読み取りです。各次元がどう測定されるかは公表されていません。聞かれたら、そう伝えてください。

出典：リーダー向け資料、2026年9月、第IV部

新しいリーダーに、チーム側をどう説明すればよいですか？

まずレベル収入：3つのレベルでROIの8、4、2パーセント、12時間ごと、引き出しにはエネルギーが必要。次に階段：2ライン、大きい方で資格を判定し、小さい方で支払う。次にV1を平易な言葉で：$500、3人、$10,000の2チーム。そこで止めてください。V6以上について聞かれたら、概算であり参考値だと伝えてください。

ほとんどの参加者は、V1〜V3にとどまります。上位レベルはプログラムの構造として示し、目の前の相手のための計画として示さないでください。どのレベルでも、小さいラインが最も効いてくる制約です：まずそれについて尋ねてください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド10のノート／リーダー向け資料、2026年9月、第VII部

コミュニティミーティングには、どのように補助が出ますか？

2026年8月26日のCommunity Meeting Policies（コミュニティミーティング規定）による：必要な資格を持つコミュニティは、規模に応じた費用を添えて事前に申請します。30人のミーティングで500 USD、50人で800 USD、100人で1,500 USD。ミーティングはオンラインまたはコミュニティグループ内で開催され、地元のリーダーが主催し、コアチームのメンバーが同席します。イベント後の実績が費用の150%以上に達した場合、超過分は報酬として払い戻されます。達しなかった場合は、主催コミュニティがイベント費用の半分を負担します。

3〜5日前までに申請し、電子的に支払い、イベント前に承認を得て、スクリーンショットとリンクを保管してください。参加者は最後まで参加します。規定は、妊娠中の方、65歳以上の方、心臓の持病や高血圧のある方に対し、参加を見合わせるか、事前に主催者に伝えるよう求めています。公表どおり。最新の条件は運営チームに確認してください。

出典：SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）、補助金規定のトピック、2026年8月26日

紹介リンクはどのように機能し、自分のリンクはどこで手に入りますか？

dAppは、すべてのアカウントを、最初に接続したリンクの持ち主の下に配置します。この紐付けは後から変更できません。Phalanxのリンクはspartanar.org/myinvite?code=0x83659d0BDF57ac8550060E869fC5926e52E2e5Feで、コードは紹介者（あなたを招待した人）のウォレットアドレスです。リーダーから渡されたリンクで登録してください。あなた自身のリンクはdAppのMy Inviteページにあり、招待した総数、直紹介、チームの実績、レベル別の招待記録も表示されます。

レベル収入（3つの世代でROIの8%、4%、2%）と、DAOページのランクは、この紐付けに基づきます。直紹介は100 USDTからノードとして数えられます。公開チャットで見つけたリンクから、決して登録しないでください：ラインは永久に固定されます。

出典：spartanar.org、2026年9月24日時点の読み取り

大ゾーンと小ゾーンとは何ですか？

最も大きいラインが大ゾーンで、それ以外のすべてのラインを合計したものが小ゾーンです。2026年9月24日に確認。大ゾーンでランク資格を判定し、DAO報酬は小ゾーンに基づいて、日次のブロックレートで、そのランクのレンジ内で支払われます。要件を満たす2ラインが最低条件で、ラインを増やすほど、同じボリュームのうちより多くが小ゾーンに入ります。

プロジェクトのV1の例：メインライン10,000、その他のラインの合計10,000。ランクの計算ツールでは、持っているラインをすべて入力してください。ページが大ゾーンを特定し、残りを合計します。

出典：Phalanx Community、2026年9月24日に確認；Spartan OSのV1の例

ランク間の差額はどのように機能しますか？

2つのランク間のパーセンテージの差は、上位のランクに支払われます。2026年9月24日に、プロジェクト自身の例で確認されました：V7が60%、V8が70%を支払う場合、V8はそのV7のラインについて10%の差額を受け取ります。同ランクボーナスと追い越しボーナス（override）の行は、2026年9月26日に確認されました：あなたの下にいる最も近い同ランク、または最も近い上位ランクのポジションの該当収益の10%〜15%で、一度だけ支払われ、ライン上のそうしたポジションのすべてから支払われるわけではありません。

差額が適用される基数は明記されていません。計算ツールは、下位ランクのリーダーの推定小ゾーンにブロックレートで適用しており、その旨を表示しています。計算ツールの数字ではなく、ルールを引用してください。

出典：Phalanx Community、2026年9月24日に確認

V10、V11、V12には何が必要ですか？

それぞれ直下のランクを持つ2ラインです：V10にはV9のライン2つ、V11にはV10のライン2つ、V12にはV11のライン2つ。2026年9月24日に確認。これはボリュームではなく、ランクの要件です。個人ポジションとノード数：V10は18,000 USDTと18ノード、V11は20,000と19、V12は50,000と20（V12の数字は2026年9月26日に確認）。

報酬プールのページには「2 V9s」と印字されており、一部のプロモーターはこれを倍のボリュームと読んでいました。Economic Model Analysisの16ページでV12に印字されている25,000は使わないでください：プロジェクトは2026年9月26日に、V12の個人ステークとして50,000 USDTを確認し、別のガバナンス・ウェイトのパラメーターはないと述べています。

出典：Phalanx Community、2026年9月24日に確認；Economic Model Analysis、16ページ

AICSの計算式は？

2026年9月24日の公表どおり：Score = 0.2H + 0.4C + 0.2A + 0.2R。評価期間は30日間のローリングで、活動に0.4の重み（同日に確認）、保有、貢献、継続率にそれぞれ0.2です。評価では、保有者の参加、有効アカウント、長期参加の割合、継続率、活動、エコシステムとその流動性への貢献が考慮されます。同じランクの2つのネットワークが、同一の実効インセンティブを受け取るとは限りません。

印字されている文字は、各次元を明記していません。9月の説明会では保有0.2、活動0.4、貢献0.2、継続率0.2とされ、活動の0.4は9月24日に確認されました。計算式は書かれたとおりに、重みは確認されたとおりに伝えてください。スコアは、長期参加、継続率、アクティブアドレス、建設的な貢献によって上がることがあり、大量の売り、継続率の低下、流動性への貢献の弱まりによって下がることがあります。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

チームが大きいほど、必ず多く稼げるのですか？

設計上はそうではありません。Spartan OSは、長期的なネットワーク報酬は、誰かが何人を勧誘したか、あるいはネットワークが生むボリュームだけに左右されるものではないとしています。AICSは参加の質と健全性を30日間のローリングで評価するため、報酬はますますネットワークの質と結び付いていきます：長期参加、継続率、アクティブアドレス、建設的な貢献は評価を押し上げ、大量の売りと継続率の低下は評価を押し下げます。

これは、リーダーのチームの築き方を変えます。ステークし、とどまり、アプリケーションを使う10人のほうが、すぐに離れていく50人よりスコアは高くなります。ランクの階段は引き続き要件を定め、AICSはレンジ内で支払いを動かします。両方を示し、リーダーが日々コントロールできるのはどちらかを伝えてください。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

同ランクボーナスはどのように、いくつのポジションについて支払われますか？

あなたの下にいる最も近い同ランクのポジションの該当収益の10%〜15%で、一度だけです。プロジェクト自身の例：下に2つのV5アカウント（1つは第1世代、もう1つは第2世代）を持つV5は、第1世代のV5についてのみ支払われます。そのラインのさらに下にいるすべてのV5から、同ランク報酬を重ねて受け取ることはありません。チーム内にV8がいるV8は、資格を満たす最も近いV8ポジションの該当収益の10%〜15%を受け取ります。2026年9月26日に確認。

追い越しボーナス（override）も、同じく最も近いポジションの原則に従います。レンジ内で10%と15%のどちらが適用されるかは示されていないので、レンジで引用してください。計算ツールは、各ラインで最も近い同ランクのリーダーに推定の基数でこのルールを適用しており、その旨を表示しています。異なる2つのラインにいる2つの同ランクのポジションの両方から支払われるかどうかは、示されていません：文言は「あなたの構造の下にある最も近いポジション」と単数で、例も単一のラインです。

出典：4つのフォローアップ質問への回答、2026年9月26日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

V12の個人ステークは25,000ですか、50,000ですか？

50,000 USDTです。現行のLeader Editionのランク表に印字されているとおりです。プロジェクトは、50,000がV12の個人ステーク要件であり、別のガバナンス・ウェイトのパラメーターはないとしています。Economic Model Analysisの16ページにある25,000は使わないでください。2026年9月26日に確認。

したがって、階段は次のとおりです：個人ステークはV10が18,000、V11が20,000、V12が50,000 USDTで、ノードは18、19、20、そしてそれぞれ直下のランクを持つ2ライン。メンバーに25,000のページを見せられたら、その表はLeader Editionの数字に置き換えられていると伝え、この回答を示してください。

出典：4つのフォローアップ質問への回答、2026年9月26日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

どのエネルギー倍率を引用すればよいですか？

当日dAppに表示されているものです。仕組みは2つ別々にあります：エネルギーステーキング（2026年9月26日時点で260%）と、エネルギーのためのRMバーン（557%）。どちらもプロトコルが調整できる動的なプロトコルパラメーターなので、変わることがあります。Economic Model Analysisの150%と200%、デューデリジェンス回答にある2〜6倍のレンジは、稼働中の数字に優先すべきではありません。2026年9月26日に確認。

実際の読み方：360日ステークは、その規模の2.6倍のエネルギーを持ちます。1 RMをバーンすると5.57単位を得られるので、その設定では約0.18 RMのバーンでレベル収入1 RM分をまかなえます。数字には日付を添え、引用する前にEnergyページを開いてください。2つの仕組みを混同しないでください。

出典：4つのフォローアップ質問への回答、2026年9月26日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

O²と価格

価格を守るもの、それができないこと、売却税。

O²とは何ですか？

RMの適応型バランシング・プロトコルです。Spartan OSはこれを世界初と位置付けています：Olympus DAOとOriginのプロトコル保有流動性のモデルを、市場が固定されたルールに合わせるのではなく、ルールが市場に合わせて適応するようにアップグレードしたものです。需給のバランスをとり、流動性を守ります。価格を決めるものではありません。

4つのレイヤー：流動性（プロトコル保有流動性＋動的な流動性管理）、行動（買い戻し、報酬、取引側の調整）、供給（バーン、買い戻し、LPトークンのバーンオプション）、そして適応エンジン（市場状態の分析と対応の選択）。目に見える税率の変更は、外側の殻にすぎません。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド11／O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月

O²は何を見ているのですか？

時間加重平均価格、平均取引価格、買いの出来高、売りの出来高、買いと売りの比率、流動性の厚みで、3時間ごとに再評価されます。通常の利益確定もパニック売りも価格を押し下げることがありますが、同じ出来事ではありません。システムが反応するのは、変動が本当の不均衡になったときだけです。価格はシグナルであって、判決ではありません。

それと並んで、恐怖と強欲のセンチメントエンジンがあります：極端な強欲は不安定な追いかけ買いを招き、極端な恐怖は集中的な離脱を引き起こしうるため、プロトコルは現在の局面を実行戦略に対応させます。

出典：O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月、スライド4・7

売却税とは何ですか？

購入に税はかかりません。売却は5%から始まります。価格が3時間平均に対して5%を超えて下落すると、税率は区分ごとに上がります：5%〜8%の下落では8%〜13%、8%〜15%の下落では13%〜20%、15%以上の下落では20%〜30%。ゆっくり売ればコストは低く、投げ売りはそうではありません。目的は連鎖的な下落を遅らせることであり、出口をふさぐことではありません。

5%を超える部分の税のうち、65%はバーンされ、35%は長期保有者に回ります。すべての売却の固定1.2%で、RMとGDを買い戻してバーンします。区分内で税率を決める要素は公表されていないので、区分で引用してください。下落局面での売却は、設計上コストが高いことをはっきり伝えてください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド11／リーダー向け資料、2026年9月、第V部

売却税はどこへ行くのですか？

すべての売却の1.2%で、RMとGDを買い戻してバーンします。5%を超える追加税のうち、65%はそのままバーンされ、35%は360日または540日のポジションに$200以上ある人に回ります。供給量は減り、下落は保有者への支払いになります。

取引に関して公表されている手数料の配分は5%です：0.5%はプラットフォーム基金、1.2%は買い戻し基金、1.3%はコミュニティ基金、2.0%はエコシステム基金。追加税からの報酬は72時間ロックされ、加重方式で分配されます。その加重の方法は公表されていません。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド11／リーダー向け資料、2026年9月、第V部

下落時、O²は時間を追ってどう振る舞いますか？

3時間ごとに、新しいデータで市場が再評価されます。最初の不均衡で保護が発動します。安定すると、その保護は段階的に解除（ロールバック）されます。新たな売りの波が来ると解除は一時停止し、より強い保護が再発動します。回復が続けば、解除は24時間の枠内で完了することもあります。

O²はオン・オフのスイッチではなく、フィードバックループのように振る舞います。実行ループは、市場データ、評価、戦略、実行チェック、実行、再評価を3時間で回します。有効な戦略にも、有効な実行のタイミングが必要です：変動が異常な範囲に急拡大した場合、実行は先送りされることがあります。

出典：O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月、スライド6・9

極端な状況では何が起こりますか？

供給サイドの強力な手段は、異常なリスク状態のために温存されています。LPトークンのバーンは日常的な手段ではありません：持続的な異常下落とLPの厚みの悪化がある場合にのみ検討され、TWAPの警告条件とガバナンスの承認によって制限されます。リスクの水準が異なれば、発動する手段も異なります。1つの仕組みにすべてを解決させることは決してありません。

リーダー向け資料は、同じ考え方をベースプールのバーンとして挙げています：発動水準が公表されていない、最後の手段です。適応型市場エンジンのパラメーターも公表されていません。プロジェクトが説明していない以上、これを超えて仕組みを説明しないでください。

出典：O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月、スライド8；リーダー向け資料、2026年9月、第V部

O²にできないことは何ですか？

需要を作り出すことです。プロジェクト自身の言葉では、プロトコルは時間を稼ぐことはできても、持続的な支えを生むのはコンセンサスだけです。O²は流動性を守り、集中的な売りを遅らせ、供給サイドの圧力を減らすことができます。価格を決めるのは市場です。

相手が尋ねる前に、考えている質問に答えてください：他のプロジェクトのように崩壊しないのはなぜか。誠実な答えは、プロトコルは流動性を守り、連鎖的な下落を遅らせるが、価格を約束するものではない、ということです。そのうえで4つのカード：タービン、税、バーン、プール。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド11のノート／O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月、スライド10と12

Spartan OSの経済のフライホイールとは何ですか？

成長が報酬を生みます。すべての支払いがタービンを通るため、報酬が買い需要を生みます。買い需要が支えを強めます。支えが信頼を強めます。信頼が次の成長の波を後押しします。プロトコルのバランスとエコシステムの需要は、互いを複利のように強め合います。

出典：O²コア解説デッキ、Spartan OS、2026年9月、スライド11

O²は実際には何に反応するのですか？

価格そのものではなく、需給です。プロジェクトの言葉では、価格は結果であり、需給が原因です。O²は3時間ごとに、買いの出来高、売りの出来高、TWAP、平均約定価格、買い／売り比率、流動性の厚み、全体の需給状況を読み取ります。不均衡が大きい場合は売り側の保護を強め、状況が健全な範囲に戻ると保護を段階的に戻します。基準値に戻るには、その状況が継続して保たれる必要があります。

声明はこれを、実行レイヤーにおける適応型の安全弁と呼んでいます。平易な言葉ではこう伝えてください：連鎖的な下落を遅らせ、流動性に時間を与えるものであり、価格を決めるものでも、誰かの売却を止めるものでもありません。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

仕組みで暴落を止められますか？

いいえ。プロジェクトもそう述べています。プロトコルは仕組みを管理できても、人間の行動を制御することはできません。O²があっても、突然の大規模な売りや市場のショックを完全に避けることはできません。O²は需給のバランスを、AICSはネットワークの健全性を管理します。どちらもリスクを減らしますが、どちらも誰かの売る自由を奪うものではありません。だからこそSpartan OSは、コンセンサスの教育、コミュニティのガイドライン、長期的な文化を重視しているとしています。

プロジェクト自身の一文を使ってください：仕組みはバランスを保ち、コンセンサスは長期的な価値を築く。これは、O²についてのどの会話にも当てはまる誠実な締めくくりでもあります。設計が機能するかどうかは、説明ではなく、時間をかけたオンチェーンのデータで判断すべきものです。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

RMが排出と売りのトークンになるのを、何が防いでいるのですか？

Spartan OSが挙げる、帳簿の両側にわたる7つの仕組みです：管理された解放。1:1のTurbo需要。360日と540日のボンド、長期ステーキング、複利による長期ロック。バーン（RMをバーンしてその価値の2〜6倍のエネルギーを得る仕組みと、360日構成のエネルギーステーキング）。AICS。O²。そしてアプリケーションの需要。Turboでの購入には24時間の沈黙期間があり、基本の売却税は5%なので、購入が一時間後に同じ規模の売り注文になることはありえません。

プロジェクトが重要だとする指標は、RMがどれだけ生成されるかではなく、新規RM供給量、実際の流通供給量、Turbo購入需要、アプリケーション需要、長期ロックされたRM、バーンされたRM、流動性の厚みです。また、プロジェクトは自らの限界も自らの言葉で示しています。これらの仕組みは需給構造を改善しますが、価格を保証するものではありません。持続的な供給を吸収できるだけ、持続的な需要が伸びる必要があります。O²について：5%の基準値への復帰は最短で24時間以内で、それも回復条件が3時間サイクルを通じて継続的に満たされた場合に限られます。バーン倍率について：プロジェクトは2日後、2〜6倍というレンジがdApp上の現行パラメータに優先するものではないと述べました。2026年9月26日時点の読み取りでは、バーンが557%、エネルギー・ステーキングが260%で、いずれも変動します。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

O²があるのに、なぜプロジェクトは人の話をし続けるのですか？

プロジェクト自身の言葉によれば、仕組みはパラメータを調整するものであり、人の行動を制御することはできないからです。O²は需給、TWAP、取引アクティビティ、売買比率、流動性の厚みを読み取り、市場が不均衡なときに保護を強めます。AICSはネットワークの健全性をスコア化します。しかし、どちらも上昇局面で人が欲を出すことや、調整局面で恐怖に駆られることを止めることはできません。だからこそSpartan OSは、仕組みと並ぶ第二の基盤としてコミュニティ・ガバナンスを掲げています。

プロジェクトが引き合いに出すのはOlympus DAOです。仕組みの設計には力がある。そして、仕組みだけで市場のあらゆる問題が解決したわけではない。この両方を伝えてください。O²を保証として売り込むプロモーターは、プロジェクト自身の文章によって否定されます。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

ウォレットとブリッジ

ネットワークの追加、ブリッジ、gasDAI、トークンのインポート、スワップ、プレイ。

始めるには、どんな手順を踏めばよいですか？

Bitget Walletをインストールし、シードフレーズ（復元フレーズ）をバックアップします。Anubis Chain（チェーンID 6714）に切り替えるか、別のウォレットであれば追加します。app.anubisbridge.comまたはgalebridge.net経由で数ドル分のDAIをブリッジします。これが手数料用のgasDAIになります。同じ方法でUSDTをAnubisに移します。最初は少額で行ってください。リーダーの紹介リンクまたは紹介コードからSpartan OSのdAppを開き、ウォレットを接続します。そのうえで、画面上の価格と上限を確認しながら$1から540日ボンドを購入し、タービンを通じて12時間ごとにクレーム（受け取り）します。

7つのステップを、ひと晩で。このページの「参加手順」セクションでは、ウォレットのインストールから540日ボンド、最初のクレーム（受け取り）まで、各ステップの文章版とチームの動画を添えてすべてを説明しています。ワンページャー06はそれを1ページにまとめたものです。ステーキングは7つのステップには含まれず、システムに参加し、リーダーから購入したRMを保有した後に行います。新しい経路はすべて、まず少額でテストしてください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド13／技術ガイド、2026年9月、第IV部／Spartan OS国際チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日（ボンドが先）

チュートリアル動画はどこにあり、どのウォレットを使っていますか？

「チュートリアル」セクションにあります。Phalanxチームによる十三のレッスンと二十五本の動画で、ウォレットのインストール（A1）から、タービンを通じたクレーム（D1）、出口（B5）までを扱います。セクション上部でウォレットを一度選ぶと、すべてのレッスンでそのウォレット用の動画が表示されます。全行程に対応しているのはBitget WalletとAstraCore、TokenPocketはウォレット関連の2つのレッスンに対応しています。「参加手順」の各ステップには、そのステップに対応する動画が表示されます。

英語音声・英語字幕付きで、各2〜4分。2026年9月末に実際のアプリで収録しました。チェーン設定とトークンアドレスについては、動画はセクション20「リンク」を案内しています。画面は変わっても、パラメータは変わりません。動画に映るレートは、収録当日のレートです。

出典：Phalanxチームのチュートリアル動画（2026年10月2日受領）

動画で触れているチェーン設定とトークンアドレスはどこにありますか？

セクション20「リンク」の冒頭に掲載しています。ネットワーク名：Anubis ／ RPC：https://rpc.anubispace.org ／ チェーンID：6714 ／ シンボル：DAI（gasDAI） ／ エクスプローラー：https://browser.anubispace.org 。あわせて、Anubis上のRM, GD, USDT, DAIのコントラクトアドレスを、それぞれコピーボタン付きで掲載しています。保存する前に、先頭4文字と末尾4文字を照合してください。

それぞれエクスプローラーで確認済みの、二十一件のコントラクトの全リストは「本日の条件」にあります。アドレスはこのページかanubischain.aiから取得し、チャットからは決して取得しないでください。

出典：Spartan OSサービスアカウントのリスト（2026年9月25日・26日）／各アドレスはbrowser.anubispace.orgで確認済み

ウォレットのネットワーク設定は？

ネットワーク名：ANUBIS Mainnet ／ チェーンID：6714（十六進数で0x1a3a） ／ RPC URL：https://rpc.anubispace.org ／ 通貨シンボル：gasDAI ／ ブロックエクスプローラー：https://browser.anubispace.org 。重要なのはチェーンIDです。これが違っていれば、ウォレットは別のネットワークに接続しています。

chainlist.org/chain/6714に登録されています。RPCをどこかに掲載する前に、anubischain.aiと照合して確認してください。

出典：技術ガイド（2026年9月）第I部・ガイド01

初めての人はどのウォレットを使うべきですか？

手順が最も少ないのはBitget Walletです。Anubis Chainが組み込まれており、スワップとクロスチェーンがウォレット内で完結し、毎日最大3回のガス代無料送金というガス補助もこのウォレットを通じて提供されます。AC Wallet（AstraCore）は、Spartan OSが公式推奨の戦略的ウォレットパートナーとして挙げているウォレットで、AstraCoreキャンペーンの入口です。OKX Wallet, TokenPocket, Binance WalletもAnubisに対応しています。MetaMaskは手動でネットワークを追加する必要があります。

どのウォレットでも、シードフレーズは紙に書き、決して写真に撮らず、入力を求めてくるものには何であれ決して入力しないでください。このページのチュートリアル動画では、Bitget, TokenPocket, OKX, Binance Walletを扱っています。

出典：技術ガイド（2026年9月）第IV部／Anubis Chainガイド（2026年9月20日）

USDTやDAIをAnubisに移すにはどうすればよいですか？

公式ブリッジを使います。Ethereum, BNB Chain, Polygonから、Anubis Bridge（app.anubisbridge.com）またはGaleBridge（galebridge.net）を通じて移します。送金元チェーンでウォレットを接続し、資産と、送金先としてAnubis（6714）を選択し、承認してブリッジします。その後、browser.anubispace.orgで着金を確認してください。最初は少額でテストしてください。

9月7日のオンラインミーティングでの公表どおり、Anubis Bridgeは無料で所要2〜3時間、GaleBridgeは数秒で完了し、手数料は0.5%〜1.5%です。Bitget Walletはウォレット内からブリッジできます。BridgersとStargateは、Anubisが運営していないサードパーティの経路です。メッセージで届いたブリッジのリンクは決して開かないでください。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド13／技術ガイド、2026年9月、ガイド06から08

ガス代不足でトランザクションが失敗します。どうすればよいですか？

gasDAIがありません。公式ブリッジで少額のDAIをブリッジしてください。送金先に届いた残高がガス代になります。数ドルで数千件のトランザクションをまかなえます。gasDAIを直接売ると持ちかけてくる相手からは、決して購入しないでください。

出典：技術ガイド（2026年9月）ガイド09

ウォレットにRMやGDが表示されません。

トークンは、コントラクトアドレスをインポートするまで表示されません。このページの「本日の条件」セクションからアドレスを取得し（RM 0x2e04…e59d、GD 0x21b6…1b4c、2026年9月24日にエクスプローラーで確認済み）、先頭4文字と末尾4文字を照合してから、ウォレットの「トークンをインポート」画面を使ってください。RMとGDは別々のコントラクトです。両方をインポートしてください。ウォレットが読み取ったシンボルが一致しない場合は、そこで中止してください。アドレスが間違っています。

出典：技術ガイド（2026年9月）ガイド10

RMはどうやって購入しますか？

ネイティブの取引所であるRocketSwapで、ブリッジしたUSDTを使って購入します。anubischain.aiのリンクから開き、Anubis上でウォレットを接続し、USDTからRMへのスワップを選んで、見積もり（価格インパクトと最低受取額）を確認します。一度だけ承認し、スワップします。各トランザクションのコストは、gasDAIでセント未満のごくわずかな額です。

価格インパクトが大きいということは、取引額に対してプールが薄いということです。金額を減らすか、分割してください。暗号化メンプールにより、誰もスワップをフロントランニングできません。トランザクションハッシュを使ってエクスプローラーで確認してください。

出典：技術ガイド（2026年9月）ガイド11

トランザクションやアドレスはどうやって確認しますか？

browser.anubispace.orgに貼り付けます。アドレスなら、gasDAI残高、トークン残高、すべてのトランザクションが表示されます。トランザクションハッシュなら、ステータス、ブロック、手数料、送信者、受信者、トークンの移転が表示されます。トークンコントラクトなら、名称、シンボル、供給量、保有者が表示されます。名称が一致しなければ、そのアドレスは本物のトークンではありません。

エクスプローラーのスクリーンショットがあれば、たいていの争いは決着します。トップページには最新のブロックとブロック間の時間が表示されており、そこでリアルタイムのブロック時間を確認できます。

出典：技術ガイド（2026年9月）ガイド13

よくあるトラブルと対処法

ブリッジ後の残高がおかしい：少し待ち、エクスプローラーを確認し、トークンをインポートします。ガス代不足で失敗する：少額のDAIをブリッジします。MetaMaskでチェーンIDが一致しないと表示される：RPCが間違っています。入力し直してください。ブリッジした資産が届かない：送金元チェーンのロックトランザクションを確認し、送金先が6714であることを確かめ、時間を置きます。トークンのシンボルが違う：アドレスが間違っています。削除して再インポートしてください。アプリケーションに接続できない：ウォレットをAnubis（6714）に切り替えます。

出典：技術ガイド（2026年9月）第V部

Anubis上のUSDT, USDC, DAI, ETH, BNB, POL, LGNSのコントラクトアドレスは何ですか？

Anubis Chainの公表どおり：USDT 0xDfb6a28BC6DC51fed17c27C880F2c66cDd040A3e。USDC 0x7DD9c7cBC32dF500Fa3C06fD60Cd62C4E97B2eEF。DAI 0x83fd06F0846d9D90B3016bF670Efe2E0B11cDe14。ETH 0xCA326ae4fE47d07e7D20421170DADAcD92eD694C。BNB 0x699D13487Ed6b78953da2750887B58Ef738f9636。POL 0x72cf15f74657Bb00dd1D8Dd475248dEe644F689A。LGNS 0x4D1D808a081FdAc440703b3765FC61f8028C06B8。

インポートする前に、browser.anubispace.org/tokensでそれぞれを確認してください。名称、シンボル、供給量が一致している必要があります。アドレスは「100 Questions」資料（2026年7月）と6月28日の声明に記載されたとおりです。PDFに誤記がある可能性もあるため、基準はエクスプローラーです。RM 0x2e045e1380f5f5b6e7550328910a7377c9fce59d、GD 0x21b6b0b3fab224921d3054d187e324a673411b4cは、2026年9月24日にエクスプローラーで確認済みです。「本日の条件」セクションを参照してください。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q40／SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ（2026年6月28日）

ブリッジにはどのくらい時間がかかり、費用はいくらですか？

所要時間は送金元チェーンによります。Ethereumの場合、ブリッジは12〜20回の承認（コンファメーション）を待つため、全体で数分かかります。現在の目安はブリッジアプリに表示されます。費用は、送金元チェーンのガス代と、アプリに表示されるブリッジのサービス手数料です。最小額、最大額、総額の上限はありません。Anubisは、最初に10〜50 USDTでテストすることを勧めています。

9月7日のオンラインミーティングで、リーダーたちはAnubis Bridgeを「無料だが遅い（2〜3時間）」、GaleBridgeを「数秒、手数料0.5%〜1.5%」と説明しました。償還はその逆で、Anubis上でバーンし、送金元チェーンで解放されます。Anubis側の資産を直接取引所に送ることは、決してしないでください。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q30・Q42・Q43・Q45

RMや、Anubis上のUSDTを、直接取引所に送れますか？

いいえ。Anubis上のペッグされたUSDTは、EthereumやBNB Chain上のUSDTとは別の資産であり、取引所はAnubis Chainからの入金を反映しません。まず送金元チェーンにブリッジで戻し、そこから送ってください。同じ0xアドレスがすべてのEVMチェーンに存在するため、まさにこの間違いが起きやすいのです。

誤って送った資産は、取引所が管理してはいるものの監視していない、Anubis上のアドレスに留まります。回収できるかどうかは、すべて取引所次第です。このことは、最初の出金の後ではなく、前に伝えてください。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q41・Q52・Q53

ウォレットにAnubis上のUSDTのドル換算額が表示されません。何か問題がありますか？

通常は問題ありません。多くのウォレットは新しいチェーン上のトークンの価格フィードを持たないため、残高はドル換算額なしで表示されます。重要なのは残高そのものです。browser.anubispace.orgにご自身のアドレスを貼り付けて確認してください。

残高も表示されない場合は、トークンがまだインポートされていないか、ウォレットが別のネットワークに接続している可能性があります。チェーンID 6714を確認し、それからコントラクトアドレスをインポートしてください。

出典：プロモーターグループでのAnubis Chainサポート（2026年9月）／Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q57

シードフレーズを紛失しました。誰かにウォレットを復元してもらえますか？

いいえ。セルフカストディ型ウォレットでは、シードフレーズが唯一の鍵です。Anubis Chainも、ウォレットの提供元も、どのサポート担当者も、それをリセットすることはできません。ウォレットがまだ開けるなら、今すぐバックアップし、新しいウォレットを作成して資産を移し、不要な承認を取り消し、新しいフレーズをオフラインで保管してください。

有料でシードフレーズを復元すると持ちかけてくる相手こそ、二度目の損失の元です。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q50

間違ったアドレスに送金しました。取り消せますか？

確定したトランザクションは、誰にも取り消せません。そのアドレスをご自身が管理しているなら、インポートして正しいネットワークに切り替え、資産を送り戻してください。取引所や他人のアドレスであれば、助けられるのはその相手だけです。誰も鍵を持っていなければ、資産は失われます。プロジェクトがチェーンを書き換えることはできません。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q59・Q60・Q81

トランザクションが長時間、保留中のままです。

browser.anubispace.orgでハッシュを確認し、次の順に確かめてください。ウォレットがチェーンID 6714に接続されていること。残高が送金額とガス代をまかなえること。トランザクションはナンス順に実行されるため、同じアドレスから以前に送ったトランザクションが保留中のまま残っていないこと。ウォレットに「高速化（Speed Up）」や「キャンセル（Cancel）」があれば、トランザクションが確定する前に使うこと。新しいナンスで再送信しないでください。二重に支払うおそれがあります。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q62

公式のコントラクトと偽トークンはどう見分けますか？

アクセスは公式チャネルからのみ行い、検索広告やメッセージからは決して入らないでください。コントラクトアドレス全体を、公式に公表されたものと照合してください。名称、シンボル、ロゴが一致していても、何の証明にもなりません。エクスプローラーでネットワークが6714であることを確認し、アドレス、シンボル、小数点以下桁数（decimals）、名称を照合してください。検証済みのソースコードはレビューの助けにはなりますが、チームの身元を証明するものではありません。そのうえで、少額でテストしてください。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q80

ウォレットにAnubisという名前のネットワークが複数表示されます。どれが正しいですか？

チェーンIDが6714のものです。名前が同じでも、同じチェーンとは限りません。パラメータは手動で入力してください。名前：Anubis ／ RPC：https://rpc.anubispace.org ／ チェーンID：6714 ／ シンボル：DAI ／ エクスプローラー：https://browser.anubispace.org 。RPCが保存できない場合でも、ウォレットの検索リストから「Anubis」を選ばないでください。RPCを修正して、もう一度試してください。

出典：プロモーターグループにピン留めされたAnubis Chainサポートのメモ（2026年9月）

トランザクション1件のコストはいくらですか？

FAQによれば、通常の送金は約0.000252 DAIと見積もられています。トークンの送金、スワップ、コントラクトの呼び出しには、それ以上かかります。手数料は署名する前にウォレットに表示されます。失敗したトランザクションでも、実行された部分のガス代は消費されます。ブロードキャストされなかったトランザクションには、費用はかかりません。

出典：Anubis Chain 100 Questions and Answers（公式、2026年7月）Q54〜Q56

RMとGDのコントラクトアドレスは何ですか？

RM：0x2e045e1380f5f5b6e7550328910a7377c9fce59d。GD：0x21b6b0b3fab224921d3054d187e324a673411b4c。いずれもAnubis Chain（6714）上にあります。エクスプローラーではRome (RM)（小数点以下9桁）、Gladiator (GD)（小数点以下18桁、供給量390,000）と表示されます。2026年9月13日にAnubis Chainサポートが投稿し、2026年9月24日にbrowser.anubispace.orgと照合したものです。

両方をインポートしてください。別々のコントラクトです。先頭4文字と末尾4文字を「本日の条件」セクションと照合し、ウォレットが読み取った名称を確認してください。ペッグされたUSDTは0xDfb6a28BC6DC51fed17c27C880F2c66cDd040A3e、DAIは0x83fd06F0846d9D90B3016bF670Efe2E0B11cDe14です。チャットに別のアドレスが表示されていたら、間違っているのはチャットの方です。

出典：Anubis Chainサポート、2026年9月13日／browser.anubispace.org、2026年9月24日

Spartan OSのdAppのアドレスはどこで、何が載っていますか？

spartanar.orgです。ページ構成：Dashboard（Data Analysis）、Flexible Stake、180・360・540日の長期ステーキング、Long-Term Liquidity Bond、RM Stability Vault、Charge Incentive Pool、My Invite、Spider Web Rewards（レベル収入）、DAO（ランク）、Turbine、Energy、Genesis Cornerstone、DAO Vote、Trading Center（スワップ）。フッターにはhome.spartanar.orgとx.com/Spartan_Arena_へのリンクがあり、CertiKのバッジが表示されています。

アドレスを手入力するか、初回はリーダーの紹介リンクから開いてください。そうすることで、dAppが紹介者（あなたを招待した人）を紐づけます。すべてのレートと上限の基準はダッシュボードです。DAOページはリアルタイムではなく、リベースごとに更新されます。よく似たドメインには、決してウォレットを接続しないでください。

出典：spartanar.org、2026年9月24日時点の読み取り

ウォレットがAnubisという名前のネットワークを見つけました。これで正しいですか？

チェーンIDが6714の場合に限ります。9月21日、ブリッジが止まってしまったメンバーへのHarryの指示：ネットワーク設定を公式のメインネットのパラメータと手作業で照合し、ウォレットに表示される名前を当てにしないこと。ネットワーク名：Anubis ／ RPC：rpc.anubispace.org ／ チェーンID：6714 ／ 通貨シンボル：DAI ／ エクスプローラー：browser.anubispace.org。名前が同じでも、別のチェーンであることがあります。識別するのはチェーンIDです。

RPCを追加できない場合でも、ウォレット自体のネットワーク検索から「Anubis」の項目を選ばないでください。上記のパラメータを見ながら手入力で追加し、トランザクションを行う前に6714であることを確認してください。

出典：Harry、作業用チャット（2026年9月21日）／パラメータはSpartan OSサービスアカウントの公表どおり

GaleBridgeでのスワップが長時間、保留中のままです。どうすればよいですか？

保留中の操作を閉じ、GaleBridgeから離れてください。ウォレットを開いて資産がまだあるかを確認し、次にトランザクション履歴を開いて、実際に何かがオンチェーンで送信・完了しているかを確認します。資産がそのまま残っていて、成功した送信トランザクションがなければ、操作は完了していません。ウォレットをGaleBridgeに接続し直して、もう一度試してください。通常の状態であれば、送金は数秒で完了します。

保留状態がトランザクションやウォレットのセッションに起因している場合、スマートフォンを替えても解決しません。再試行する前に、ウォレットがチェーンID 6714に接続されていることを確認してください。以上は、2026年9月21日のHarryによる手順を順番どおりに示したものです。ブリッジの画面はチュートリアルの録画で確認できます。

出典：Harry、作業用チャット（2026年9月21日）

安全

損失を防ぐルール。後からではなく、先に伝えてください。

すべての利用者が守るべき安全ルールは？

アドレスはクリックせず、手入力してください。リンクはanubischain.aiまたは3つの公式Xアカウントからのものだけを使います。すべてのコントラクトアドレスと送金先アドレスの先頭4文字と末尾4文字を確認します。新しい経路は必ず少額でテストします。ウォレットの確認画面はすべて読みます。シードフレーズ（復元フレーズ）はオフラインで保管します。チェーンIDが6714であることを確認します。リスクは後からではなく、先に伝えます。

公式アカウントがシードフレーズを尋ねることは決してありません。チャット、DM、スクリーンショット、転送メッセージにあるアドレスは、誰が送ったものであっても公式ではありません。

出典：技術ガイド（2026年9月）第V部

アドレスやリンクが公式と言えるのはどんなときですか？

anubischain.ai、またはx.com/AnubisChainL1（2026年9月16日以降のAnubis Chainのメインアカウント）、x.com/ANUBISCHAIN_、x.com/Spartan_Arena_、x.com/Anubis_Labsに掲載されている場合です。それ以外の場所はありません。Telegramのコミュニティとリソースライブラリは会話とファイルのためのものであり、アドレスの入手先ではありません。

出典：技術ガイド（2026年9月）第III部

リスクは何ですか？はっきり伝えてください。

Anubis Chainは実績の浅い新しいネットワークです。ブリッジは業界で最も攻撃を受けやすい構成要素であり、すべての資産がブリッジを通って移動します。供給量が少なく流動性の薄いトークンは、価格が大きく動きます。RMには価格が下がるほど上がる売却税があるため、下落局面での撤退は設計上コストが高くなります。TempleRaidは運に左右されるゲームです。Spartan OSの5つのシステムのうち3つは、まだ存在しません。ロードマップの項目は遅れる可能性があります。

この段階のプロジェクトとしては、どれも珍しいことではありません。プロジェクトを知らない人に紹介する際は、誰であれ、これらすべてをはっきり口にすべきです。ここにある内容は投資助言ではありません。また、どの数値もリターンを約束するものではありません。

出典：詳細解説（2026年9月）第VII部／リーダー向け資料（2026年9月）第VII部

このうち、保証されているものはありますか？

いいえ。上限、変動するレート、エネルギーによる利用制限、価格に連動する税。これらはすべて、結果が状況と行動に左右されることを意味します。すべてのレートには上限と日付が付き、すべてのレートは変動します。

出典：リーダー向け資料（2026年9月）第VII部

数字はどのように伝えるべきですか？

まず上限から伝えます。最高値ではなく、レンジを示します。報酬の前にタービンを説明します。未公表のものは、未公表だと明言します。公開資料とプログラムの条件は分けて扱います。リスクを伝えます。

常に上限とともに、常に日付とともに、決して約束としてではなく。上限のないレートはただの物語であり、上限のあるレートは契約です。資料は発行されたとおりに示し、翻訳は承認を得て行い、数字は決して書き換えないでください。

出典：リーダー向け資料（2026年9月）第VII部

現在出ているセキュリティ警告はありますか？

2026年9月から2件あります。Anubis Chainは、どのアプリストアにもソーシャルアプリを公開したことはありません。「Anubischat」というアプリは公式ではなく、インストールしたりウォレットに接続したりしてはいけません（9月19日）。CertiKとAnubis Chainは、FomoPeekに関連する悪意あるコードがiOSアプリに再パッケージ化され、鍵、シードフレーズ、チャットを読み取るおそれがあると警告しています。iOS 26.7にアップデートし、出所不明のアプリを避け、非公式アプリには決してシードフレーズを入力しないでください（9月20日）。

どちらのお知らせも、全文のまま転送してください。セキュリティ警告をいち早く共有するプロモーターは、価格チャートを共有するプロモーターよりも、チームのために多くのことをしています。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ（2026年9月19日・20日）

公式のアカウントとチャネルはどれですか？

2026年9月16日以降のAnubis ChainのメインXアカウントは@AnubisChainL1です。以前の@ANUBISCHAIN_にはそれ以前のお知らせが掲載されています。Anubis Labs：@Anubis_Labs。Spartan OS：@Spartan_Arena_。ウェブサイト：anubischain.ai。Telegram上の英語版リソースライブラリ：t.me/SpartanOSLibrary。Spartan OSのdApp：spartanar.org（フッターにx.com/Spartan_Arena_とhome.spartanar.orgへのリンクがあります）。

それ以外はすべて会話にすぎません。アドレスとリンクはこれらの情報源から取得し、送信者がどれほど上位の立場に見えても、決してチャットからは取得しないでください。

出典：SpartanOS Resource Libraryに転載されたお知らせ、2026年9月16日／SpartanOS Resource Library（t.me/SpartanOSLibrary）

「コミュニティ・ガバナンス」とは、メンバーが売却してはいけないという意味ですか？

いいえ。プロジェクト自身がはっきりそう述べています。オンチェーン資産はその所有者のものであり、すべての参加者には自分で判断する権利があります。コミュニティの取り決めは自主的なガバナンスです。つまり、選択の自由と、その選択が共有の市場にどう影響するかへの理解です。プロトコルが利用者の代わりに決めることはなく、コミュニティが利用者の代わりに決めることもありません。成熟したコミュニティは、人々がよい判断を下せるよう、市場を理解する手助けをします。

どこであれ、売却は禁止されている、あるいはリーダーが資産を預かれると言われたメンバーがいたら、その場で訂正し、この回答を示してください。プロジェクトの言葉では、「真の分散化は秩序の欠如を意味すべきではなく、自由は責任の欠如を意味すべきではない」とされています。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

検証

すべての数値を自分で確認できる場所と、公表されているだけのもの。

数値を自分で確認するには、どこを見ればよいですか？

チェーンIDと手数料の単位：chainlist.org/chain/6714。トランザクション、コントラクト、アドレス全般：browser.anubispace.org。ブリッジのコントラクト：etherscan.io, bscscan.com, polygonscan.com。監査：skynet.certik.com。RMの市場データ：geckoterminal.com, dextools.io。公式のお知らせ：anubischain.aiと3つのXアカウント。

出典：詳細解説（2026年9月）第VII部

検証済みのものは何で、プロジェクトが公表しているだけのものは何ですか？

現時点で検証できるもの：チェーンID 6714とgasDAI、EVM互換性、3つの送金元チェーン上のブリッジコントラクト、GaleBridgeの監査、CertiK Skynet上のRocketSwap、エクスプローラー上のTempleRaidのラウンドとRMの取引。プロジェクトが公表しているもの：Originのスナップショットの数値、1,600万人のユーザー、エクスプローラーで確認できる範囲を超えるデータレポートの数値、$300Mの拠出約束、137件のコントラクトと監査への提出、すべてのレートとダッシュボードの数値、DeBoxの2,600万人のユーザー、日付のないすべてのロードマップ項目。

2つ目のリストは、独立した情報源と照合できなかったため、プロジェクトの公表どおりに掲載している主張の一覧です。そのどれかについて尋ねられたプロモーターは、まさにそのとおりに伝えるべきです。

出典：詳細解説（2026年9月）第VII部

監査を受けたものはありますか？

GaleBridgeは2025年10月にCertiKの監査を受けました。指摘事項は3件で、クリティカルなものはなく、レポートはskynet.certik.comにあります。RocketSwapはCertiK Skynetに掲載されています。Anubis Chainは2026年7月13日、CertiKとArmorによる137件のコアコントラクトの監査を発表しました。Anubis Labsは2026年8月2日、Spartan OSがCertiKの評価を完了したと発表しました。クリティカルはゼロ、メジャーはゼロ、ミディアム3件は解決済みです。

懐疑的な人に結果を伝える前に、skynet.certik.comのレポートのリンクを求めてください。お知らせはプロジェクトの言葉であり、レポートはCertiKの言葉です。

出典：詳細解説（2026年9月）第II部／技術ガイド（2026年9月）第III部／2026年7月13日・8月2日のお知らせ

ブロック時間はどのくらいですか？いろいろな数字を見かけます。

プレゼンテーションでは450ミリ秒、2026年9月のデータレポートでは約1秒、ネットワークの技術ドキュメントでは目標2秒とされ、docs.anubispace.orgのページでは0.45秒となっています。リアルタイムの数値は、エクスプローラーの最新ブロック表示で確認できます。示せる数値を引用し、その出典を伝えてください。

出典：技術ガイド（2026年9月）第I部

このページで答えられない質問があったときは、どうすればよいですか？

アシスタントの下にある「未回答の質問」、または画面下部のフィードバックボタンを押し、質問を聞かれたとおりに書いて「送信」を押してください。Phalanxチーム宛てのメモが入力された状態でTelegramが開きます。次の版に回答が掲載されます。それまでは推測せず、確認して後で伝えると答えてください。

「わかりません、確認します」と言えるプロモーターは、その場しのぎで数字を口にするプロモーターよりも、多くの人をつなぎ留めます。

出典：このページ

Spartan OSについて問うべき、正しいデューデリジェンスの質問は何ですか？

プロジェクト自身が提示しています。Spartan OSに流入する資本の単位ごとに、どのようなプロトコル資産が生まれ、または取得されるのか。それに対応して、どれだけのRM供給量、または将来のトークン負債が生じるのか。そのRMは、どのように流通へ解放されるのか。そして、その供給を実際の市場需要や流動性と釣り合わせるために、どのような仕組みがあるのか。

そして、答えを探すべき場所も示しています。RMの純発行量、買い戻しとバーンの量、POLと流動性の厚み、継続率の動向、そして市場にストレスがかかったときにシステムがどう機能したか。これらの数値の大半は、エクスプローラー、ダッシュボード、Charge Incentive Pool（チャージ・インセンティブプール）のページに掲載されています。9月13日の下落と回復が、これまでに記録されている唯一のストレス事例です。

出典：プロトコルに入る資本の扱いに関する声明、2026年9月24日受領、「公式声明」セクションに転載

Spartan OSにはどのような資金の流れがあり、保有者には何が届きますか？

Spartan OSは、プロモーターが混同しがちな3つのものを区別しています。資本の流れ、プロトコルへの価値蓄積、保有者への価値蓄積です。ある商品に入った資本は、その商品の資産経路（LP、トレジャリー、POL、その他のプロトコル機能）をたどります。商品ごとの配分を、どの商品にも当てはまる収益の割合として示してはいけません。トレジャリーと流動性はプロトコルへの価値蓄積であり、保有者の収入ではありません。プロジェクト自身の記号で示すと、トレジャリー ≠ 保有者への配当、流動性 ≠ 保有者への配当、価格上昇 ≠ キャッシュフローの分配。

保有者にとっての価値は、現時点では間接的なものと説明されています。RMについては、Turbo購入需要、ロック、流通供給量の変化、バーン、アプリケーションでの用途、そして該当する場合は収益連動の買い戻しとバーンを通じて。GDについては、390,000という固定の供給量、ガバナンス権、アプリケーションでの用途を通じて。次の層は、GoPlay、TempleRaid、そしてその後に続くアプリケーションからの外部収益であり、トレジャリー、流動性、買い戻しとバーン、または明示的な分配へと追跡できます。コントラクトや明文化されたプロトコルのルールに「収益のX%がRMまたはGDの保有者に渡る」と書かれていない限り、そうだとは言わないでください。資本の流れ ≠ 収益、プロトコル資産 ≠ 保有者への配当、買い戻しとバーン ≠ 直接の現金分配。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

オンチェーンで検証できるものは何で、オフチェーンで主張されているだけのものは何ですか？

オンチェーンにあり、誰でも確認できるもの：ウォレットアドレス、トークンコントラクト、RMとGDの送金、スワップ、流動性の変化、バーン、コントラクトとのやり取り、トランザクションハッシュ、最終決済。オフチェーンにあり、区別して扱うべきもの：AICSスコア計算の一部、インテントの解釈、外部データの分析、API呼び出し、エージェントの判断。Spartan OS自身のルール：結果がオンチェーンにあっても、計算全体がオンチェーンで行われたことにはならない。

プロジェクトが引く信頼の境界線はこうです。AIとオフチェーンのインフラが知能、分析、実行ロジックを担い、ブロックチェーンが状態、資産、トランザクション、決済を検証する。オフチェーンの計算そのものを検証可能にするには、実装に応じて、公開アルゴリズム、オラクル、TEE、ZK証明、署名、バリデーターネットワークなどが必要になりますが、そのいずれも導入済みとはされていません。したがって、AICSスコアはオンチェーンかと聞かれたら、答えは「スコアに基づくトランザクションはオンチェーンだが、スコアリングはオンチェーンで検証済みとはされていない」となります。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

AIエージェントが主張どおりのことを実行したと、Spartan OSはどう証明するのですか？

証明には2つのレベルがあり、両者は区別されています。実行結果：トランザクションハッシュ、呼び出されたコントラクト、ウォレットから出たもの、届いたもの、決済されたかどうか。これらはすべて、「完了（Completed）」というメッセージを信用しなくても、エクスプローラーで読み取れます。計算：エージェントがなぜそう判断したのか、入力は正しかったのか、推論の各ステップは正しかったのか。チェーンが証明するのは前者です。後者は証明しません。Spartan OSもそう明言しています。

エージェントの内部計算を暗号学的に検証するには、TEE、ZK証明、オラクル、バリデーターネットワーク、署名などが必要であり、実際に導入されている検証技術に基づいて判断すべきものです。伝えるべきルール：エージェントが完了したと言うことを当てにせず、チェーン上で完了が示されていることを確認する。dappOSのようなインテント・インフラは、利用者の手作業を省くためのものであり、資産の結果は引き続きオンチェーンの決済に戻ります。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

「35Mから50M」は目標ですか、それとも約束ですか？

プロジェクトの言葉では、開発目標です。「これらの数字は開発目標であり、リターンや将来のRM価格を保証するものではない」。プロジェクトが示す順序は35M、36M、50M、そしてより大きなグローバル・エコシステムであり、RMの価格は今後も需給、流動性の状況、エコシステムの発展によって決まると付け加えています。

数字を引用するときは、毎回この免責文も一緒に引用してください。3,500万という数字そのものは、2026年9月26日にプロジェクトが公表した資本基盤の総額です。読者はそれを「本日の条件」にあるダッシュボードの数値と照らし合わせて確認できます。

出典：Harry（Spartan OS）「U字回復からグローバル・エコシステムへ」、2026年9月26日にPhalanxチャンネルへ転送、「公式声明」セクションに全文を転載

Spartan OSはどのコントラクトアドレスを公表していて、それらは確認が取れていますか？

二十一件のアドレスで、2026年9月25日・26日にプロジェクトのサービスアカウントが公表しました。内訳は、RM, GD, USDT, DAI、トレジャリー、フレキシブル・180日・360日・540日のステーキング、180日・360日・540日の流動性ボンド、3つの長期固定ボンド、バーン、コミュニティ報酬、Turbo、アクティビティスコア、安定ボールトの各コントラクト、そしてチャージ・インセンティブプールです。9月26日にbrowser.anubispace.orgで確認したところ、二十件は稼働中の取引履歴を持つコントラクトでした（Turboコントラクトだけで100万件超のトランザクション）。チャージ・インセンティブプールのアドレスは、エクスプローラー上ではコントラクトではなく、それ自体の取引のない単なるアドレスです。未確認として扱い、何も送らないでください。

エクスプローラー上でソースコードが検証済みなのは、USDTとDAIのトークンコントラクトだけです。RM、GD、各商品のコントラクトはデプロイされていますが、ソースは閲覧用に公開されていません。尋ねられたらそう伝えてください。バイトコードとすべてのトランザクションは公開されていますが、読めるコードは公開されていません。プロジェクトはコントラクトを検証することで、それを変えることができます。件数を含む完全な表は「本日の条件」にあります。

出典：Spartan OSサービスアカウントのコントラクトリスト（2026年9月25日・26日）、9月26日にbrowser.anubispace.orgで確認／「本日の条件」の表

比較

他のチェーンと比べたAnubis。他のプログラムと比べたSpartan OS。

Anubis Chainは他のチェーンと何が違うのですか？

価格変動の大きいガストークンではなく、ドルにペッグされた単位で支払う手数料。設計上フロントランニングを防ぐ暗号化メンプール。プロトコルの監査可能性を保ちながら、ゼロ知識証明で選択できるプライバシー。再編成（リオーグ）のない確定ブロック。Ethereumとの完全な互換性により、何も書き直す必要がないこと。そして、チェーンを所有し、その上で動くものに資金を提供する財団。

いずれも、Anubisが自らのドキュメントで説明しているものです。メンプールとプライバシーに関する主張はAnubis Networkのドキュメントによるもので、手数料の単位とチェーンIDはchainlist.orgで確認できます。このページには2つの表があります。一般的なEVMチェーンと比較した私たちの表と、2026年7月のインフォグラフィックにあるAnubis Chain自身による8項目の比較です。

出典：技術ガイド（2026年9月）第II部／詳細解説（2026年9月）第II部

Spartan OSは、Olympus型の他のプログラムと何が違うのですか？

元本は期間満了まで据え置かれるのではなく、初日から毎日少しずつ解放されます。すべての長期ポジションには参加時にUSDT建てで確定する上限があり、上限に達するまで支払いが続き、元本はその上限の内数として計算されます（2026年9月26日に確認）。ランクの資格は3ラインではなく、2ラインで決まります。すべての支払いはタービンを通り、購入に変わります。価格が下がるほど上がる売却税が、連鎖的な売りを抑えます。スコアによって、受け身のリーダーよりも積極的なリーダーに多く支払われます。そして、同じ財団が所有するチェーン上で動いています。

2026年9月7日・14日の説明会でのSpartan OSの公表どおり。Originでは$50,000のチームが3つ必要でした。ここでのV1は、$500、3人、そして$10,000のチームが2つです。

出典：プロモーター用デッキv14.2、2026年9月17日、スライド7、10、11、12／リーダー向け資料、2026年9月

AnubisとSpartan OSの革新的な点は何ですか？

チェーンについては、Anubisのドキュメントにあるとおり、ドルにペッグされたガス、暗号化メンプール、選択的なプライバシー、ペイマスターによるガスレス・トランザクション。Spartan OSについては、市場に応じてルールを変える適応型バランシング・プロトコルであるO^2、AIエージェントに独自のトークンを与え、その収益をオンチェーンで決済するToken Router、そしてリターンそのものが買い圧力となるプログラム。

Spartan OSはO^2を世界初と位置づけています。Token Routerは発表済みですが、全容は公開されていません。発表された内容だけを説明し、それ以上は語らないでください。

出典：詳細解説（2026年9月）第II部〜第IV部／O^2コア解説デッキ（Spartan OS、2026年9月）／Anubis Chainのドキュメント（docs.anubispace.org）

トークンやコントラクトはコピーできるのに、Spartan OSの参入障壁は何ですか？

プロジェクト自身の説明によれば、5つの層が組み合わさったものであり、どれか1つだけでは成り立ちません。経済層（RM、GD、O²、1:1のTurbo、AICS、Stable Vault、長期ステーキングとボンド、エネルギー、バーン、複利）、アプリケーション層（GoPlay、TempleRaid、そして今後続くもの）、AI・インテント・実行層（インテントをルーティングと実行に変換しつつ、決済はチェーンに戻すdappOS型のインフラ）、ブロックチェーン・インフラ（ウォレット、ブリッジ、DEX、エクスプローラー、インデックス、そしてThe Graph, Blockscout, LayerZeroなどのクロスチェーン・システムを備えたAnubis Chain）、そしてエコシステムの拡大です。

Q3以降のロードマップ：LayerZeroとOFTによるクロスチェーン・インフラ、エクスプローラーのアップグレード、RocketSwap V3、Guardマルチシグ、NFTとDID、AI MemeとAI Agent、RWAのトークン化、分散型のコントラクト取引プラットフォーム、コントラクト取引保険。Spartan OS自身、これらのいずれも稼働中の収益を生む商品として示してはならないと述べています。稼働中の商品は利用状況とオンチェーンデータで、連携は技術的な進捗と公式発表で、将来の商品はデプロイされてから評価される、ということです。また、自らの参入障壁をコピー不可能と表現するのは時期尚早だとしています。それはネットワークによる参入障壁であり、流動性の厚み、アクティブユーザー、普及度、開発者の活動、外部収益、連携を通じて示されるべきものです。

出典：7つのデューデリジェンス質問への回答、2026年9月24日受領、「デューデリジェンス」セクションに転載

540日ボンドと540日長期ステーキング：何が違うのですか？

どちらも期間は540日、上限は5×で、毎日のブロック生成を通じて報酬を得られ、複利にできます。ボンドはUSDTで参加し、利点は割引率です。参加時により多くのRMを得られ、その後、元本と報酬が毎日解放されます。長期ステーキングはUSDTまたはRMで参加し、利点は長期の利回りと追加報酬です。プロジェクトの略記では、ボンド = 割引価格での参加、より多くのRM、毎日解放、複利、最大5×。ステーキング = USDTまたはRMで参加、長期の利回り、追加報酬、毎日の報酬、複利、最大5×。

プロジェクトの計算例：RM価格30、ボンド価格24の場合、10,000 USDTで市場では333.3 RM、ボンドでは416.7 RMを購入でき、参加時点で83.4 RM多くなります。相手にどちらを望むか尋ねてください。初日により多くのRMを得ることか、それともステーキングの追加報酬か。

出典：Spartan OS海外チーム、ワーキンググループ、2026年9月25日、「公式声明」セクションに転載

04



第 I V 部

よくある反論

寄せられる反論と、それに耐える回答。口に出して言う短い回答、さらに問われたときの長い回答、そして言ってはいけない一言。

01 · これはポンジ・スキームですか？

相手が何を意味しているのかを尋ね、そのうえで仕組みについて答えてください。ポンジ・スキームは、新しいお金で古いお金に支払い、それを隠します。ここでは、すべての支払いが購入になります。タービンにより、各クレーム（受け取り）は解放される前に、同額のRMをDEXで購入します。トレジャリー、流動性、基金のアドレスは公開のエクスプローラーで確認でき、すべての長期ポジションには、開設したその日にドル建てで確定する上限があります。

誠実な説明は3つの部分から成ります。第一に、今日検証できること：Etherscanでのブリッジの準備資産、dAppダッシュボードでのトレジャリーと流動性の数値、browser.anubispace.orgでのRMの取引とTempleRaidのラウンド、Spartan OSのコントラクトに対するCertiKの評価（クリティカルなし、メジャーなし、ミディアム3件は解決済み）。第二に、確認できる事実ではなく、プロジェクト自身の公表にとどまるもの：レート、ロードマップ、ユーザー数。第三に、リスク：レートは変動し、価格は動き、下落局面では売却税が上がり、上限に達すればポジションは終了します。この3つをすべてあなたから聞いた人は、ほかの話も信頼します。

「そんなことはあり得ない」とは言わないでください。銀行と比較しないでください。年率換算の数値を引用しないでください。

02 · リターンが高すぎて現実のものとは思えない。

高いのは事実です。そして変動し、上限があります。長期ポジションの日あたり1.1%〜1.3%は、その日に公表されたレートです。上限は投入額の4×〜5×で、USDT建てで確定します。フレキシブルプールは12時間ごとに約0.3%を支払いますが、変動することがあります。レートを伝えるときは、毎回、同じ流れで上限も伝えてください。

プロジェクトの説明に沿って、支払いの原資を説明します：RMの放出、売却手数料の配分（プラットフォーム0.5%、買い戻し1.2%、コミュニティ1.3%、エコシステム2.0%）、下落時の追加の売却税、そしてすべてのクレーム（受け取り）を購入に変えるタービンです。次に、それを制限するものを説明します：すべての長期ポジションの上限、リベースのスナップショット、価格下落時に売却を抑えるO²プロトコル。高くて無制限なら、それは作り話です。高くても上限と日付があるなら、それはタームシートです。

「保証されている」とは決して言わないでください。ひと月の収入を、レートが固定されているかのように予測しないでください。

03 · 誰が運営しているのですか？創業者が見つかりません。

Anubis Foundationです。Origin（LGNS）、WebKey、Melosを構築し、現在は自らのチェーンを持っています。Anubis Labsは資金提供部門で、Spartan OSはその最初のアプリケーションです。チームは個人名ではなく財団の名義で情報を公開しています。これは業界のこの分野ではよくあることですが、それを好まないのももっともです。確認できるのは実績です。チェーンは2026年4月から稼働しており、トランザクションは100M件を超えています。また、コントラクトはCertiKによる評価を受けています。

財団の活動実績は公開されています：2年間、5大陸、100のプロジェクト、そしてピーク時のOriginのスナップショットでは保有者250万人、時価総額14億ドル。運営会社の経営陣がSpartan OSを運営しており、何年も運営を続け、Originより大きく、より良く運営するという計画を公表しています。ドバイのオフィスとリーダーミーティングで、人々は彼らと直接会っています。創業者の名前は公開されていないことをはっきり伝え、判断する人は、公開されたコードベース、公開チェーン、監査とそれを比較検討すべきだと伝えてください。

創業者の名前や国籍をでっち上げないでください。会っていない人に会ったと主張しないでください。

04 · お金を失うことはありますか？

あります。RMは取引されるトークンであり、すべての支払いのドル建ての価値は、その日の価格によって決まります。下落局面で売却すると、下落幅に応じて上がる税がかかります。TempleRaidは運に左右されるゲームです。長期ポジションは途中で解約できません。そうではないと言う人は、このプログラムを正しく説明していません。

次に、プロジェクトが損失を抑えるために構築したものを、それを下限（フロア）に見せかけることなく説明します：ポジションが際限なく追いかけることのないよう参加時に確定する上限、クレームを購入に変えるタービン、価格が3時間平均に対して5%以上下落したときに売却税を引き上げて流動性を守るO²、買い戻し基金、そして公開アドレスにある1,000,000 USDTの価格安定基金です。どれも保証ではありません。すべてdAppまたはエクスプローラーで確認できます。

「損をすることはない」とは言わないでください。価格は「必ず戻る」とも言わないでください。

05 · なぜ報酬をすぐに引き出せないのですか？

引き出せます。ただし、1つのステップを経た後です。すべてのクレームはタービンに入ります。RocketSwapで同額のRMを購入すると、クレームは24時間後にロック解除され、購入したRMもあなたのものになります。レベル収入には、さらにエネルギーが必要です。1 RMにつき1単位で、360日ステーキングまたはRMのバーンによって得られます。

タービンは、毎日リターンを支払うトークンがなぜ何か月も$30を上回り続けているのかと問われたときに、プロジェクトが挙げる仕組みです：リターンそのものが買い圧力になります。これは同時に、すべての支払いが売却可能になる前に同額の購入を必要とすることを意味し、プロモーターはこれをはっきり口にすべきです。エネルギーは8%、4%、2%のレベル収入にのみ適用され、個人のステーキング、ボンド、ランク報酬には適用されません。

タービンを手数料と説明しないでください。24時間を省かないでください。

06 · 監査は受けていますか？このチェーン上で資金は安全ですか？

Spartan OSは2026年8月2日、CertiKの評価を完了しました。対象はガバナンスのマルチシグ、トレジャリー、ステーキング、報酬分配、コアトークンのコントラクトで、クリティカルとメジャーの指摘はゼロ、ミディアムの指摘3件は解決済みです。GaleBridgeは2025年10月にCertiKの監査を受けました。Anubis Chainは、137件のコアコントラクトがCertiKとArmorによって検証されたと公表しています。ブリッジされた資産はすべて、Etherscanで確認できるブリッジコントラクトにロックされた資産に対して、1対1でミントされます。

入口での安全は、主に利用者自身にかかっています：チェーンID 6714、このページのアドレスを入力すること、最初の4文字と最後の4文字を確認すること、まず少額でテストすること、シードフレーズ（復元フレーズ）を紙に書いておくこと。現在の注意喚起が2つあります：公式の「Anubischat」アプリは存在しないこと、そしてCertiKが、iOSアプリに再パッケージされた悪意あるコードについて警告していることです。両方を転送してください。監査が対象とするのはコードです。フィッシングリンクは対象外です。

誰がいつ監査したのかを言わずに「監査済み」と言わないでください。チャットからのリンクを送らないでください。

07 · ORIGINや、これと似た別のプロジェクトで痛い目に遭った。

それなら、重要な2つの問いをすでにご存じのはずです。何が支払いを制限するのか、そして下落局面で何が起きるのか。Spartan OSは、1つ目には参加時に確定する上限で、2つ目にはO²、売却税、買い戻し基金で答えています。Originでは3ラインが必要でしたが、Spartan OSでは2ラインです。コードベースはOriginが動かしていたものと同じで、それを同じ財団が現在所有するチェーン上で動かしています。

過去について議論しないでください。何がうまくいかなかったのかを尋ねてください。たいていは、上限のないレート、閉ざされた出口、あるいはプロモーターの約束です。上限を見せ、タービンを見せ、売却税の表を見せ、エクスプローラーを見せてください。そのうえで金額は本人に決めてもらい、まず小さなポジションから始めることを提案してください。2年経った今も、PolygonにあるOriginのプールには約5,500万ドルが残っています。これは継続性に関する事実であり、このプロジェクトについての約束ではありません。

ほかのプロジェクトを名指しで批判しないでください。このプロジェクトは違うと約束しないでください。違う点を見せてください。

08 · なぜ紹介リンクが必要なのですか？これはネットワークビジネス（MLM）です。

このプログラムは、コミュニティづくりに対して公然と報酬を支払います。3世代にわたりROIの8%、4%、2%、さらに小さいラインに基づいてDAOプールから支払われる12のランクです。紹介リンクは、誰が誰を紹介したのかをdAppが把握するための仕組みです。紹介された人の預け入れから誰かが収益を得ることはありません。レベル収入は、その人自身のポジションが生む収益の一部です。

ランク構造が何を支払うかを言う前に、何を求めるかを伝えてください：あなた自身のポジション、100 USDT以上の直紹介（あなたが直接紹介した人）の人数、そして2ラインでの取引量です。大きいラインでランク資格を判定し、小さいラインで報酬を計算します。ほとんどの人はV1からV3にとどまります。表の最上位ではなく、本人の実際の数字でランク計算ツールを使ってください。紹介リンクを使うかどうかは本人の自由です。ステーキング商品の支払いは、どちらでも同じです。

ステークしていない人に、V5より上のランクを売り込まないでください。「不労所得」と呼ばないでください。

09 · ポジションが上限に達するとどうなりますか？

完了します。$1,000で始めた540日ポジションは、元本を含めてRM換算$5,000を支払い終え（2026年9月26日に確認：元本は上限内に算入され、上乗せでは支払われません）、終了します。続けたい場合は新しいポジションを開きます。フレキシブル・ステーキングには上限も期間もなく、元本はいつでも引き出せます。

公表レートでは、360日と540日のポジションは期間終了前の約10か月で上限に達します。180日のポジションは、上限より先に期間の終わりを迎えます。バーニングボンドは日次1.5%で、約5か月半で注文額の250%を解放します。どれが当てはまるかを伝え、これはすべて、変動する本日の公表レートに基づく計算にすぎないことも伝えてください。

上限を損失として説明しないでください。同じ条件での更新を約束しないでください。

10 · なぜ中国のチームなのですか？なぜすべてが先に中国語で出るのですか？

財団が中国のチームであり、そのコミュニティがまず中国語圏で築かれたからです。Originの250万人の保有者、MelosとWebKeyのユーザー、クアラルンプールとその周辺地域でのローンチイベント。英語の資料があるのは、そのコミュニティが今ここで築かれつつあるからです。チェーン、コントラクト、エクスプローラーには言語がありません。

このライブラリはそのためにあります：公式資料を発行されたとおりに翻訳または転載し、お知らせを日付付きの平易な言葉で、チュートリアルを英語字幕付きで提供し、数値を確認できる場所を一か所にまとめています。相手の懸念が実は言語ではなく説明責任にあるなら、監査、公開チェーン、ドバイでのミーティングで答えてください。

国籍の話にしないでください。確認していない数値を翻訳しないでください。

11 · いきなり大きな金額を入れてもよいですか？

できます。でも、しないでください。失っても困らない金額から始め、1サイクル（ステーク、クレーム、タービン、解放）を一通り経験してから判断してください。このプログラムは長期ポジションに報酬を与えますが、長期ポジションは途中で解約できません。だからこそ、2つ目の判断は、1つ目を経験してから下すべきです。

新しい人に小さく始めるよう伝えるリーダーこそ、その人がついていくリーダーです。最低額を示してください：ステーキングとボンドは1 USDT、安定ボールトは500 USDT、360日と540日のポジションの追加報酬枠は200 USDTです。そのうえで、計算ツールで本人の金額における各プロダクトの支払いを、上限と日付を添えて示してください。

目標を設定しないでください。知らない相手にプロダクトを重ねて勧めないでください。

12 · 入金額のうち何パーセントがネットワークに回るのですか？

そのような割合はありません。そういうモデルではないからです。Spartan OSによれば、プロトコルに入る資本は資産側、つまり流動性、トレジャリー、プロトコル保有流動性に回り、RMはそれに対してプロトコルのルールに従ってミントされ、ロックされ、管理された形で解放され、O²によって均衡が保たれます。割合で表せるのは預け入れを分配するファンドであり、プロジェクトはそのような運営はしていないと述べています。

両面を一息で伝えてください：その資金がどのようなプロトコル資産を生み出すか、そしてそれに対してどのような将来のRM供給が生まれ、それがどのように市場に届くか。次に、プロジェクト自身のデューデリジェンスの問いを渡してください：資本の単位ごとに、どのような資産が生み出され、どのようなRM供給または将来の負債が発生し、それがどのように解放され、何が実際の需要と流動性に対してそれをバランスさせるのか。そして、それに答えるデータを示してください：RMの純発行量、買い戻しとバーンの量、POLと流動性の厚み、継続率、そして9月13日の下落と回復です。

質問に応えるためにパーセンテージをでっち上げないでください。仕組みが何かを保証するとは言わないでください。声明は、仕組みでは行動を制御できないと述べています。

13 · RMは売られるだけの新規発行にすぎない。こうしたトークンはどれも、最後には売り圧力になる。

それこそが、この設計が前提としているリスクであり、プロジェクト自身もデューデリジェンスの回答でそう述べています。RMはミントされた時点で市場に出るわけではありません。長期ステーキング、360日・540日のボンド、複利がそれを留めます。すべてのTurboクレームには同額の購入が必要で、購入分はその後24時間の沈黙期間に置かれます。エネルギーのためにバーンされたRMは、永久に供給量から消えます。売りが買いを上回ると、O²が売り側の保護を強めます。そして、アプリケーションがRMを消費することが想定されています。そのどれも、価格を保証するものではありません。

議論ではなく、注視すべき数字を渡してください：流通供給量に対する新規のRM供給、ターボの買い需要、長期ロックされたRM、バーンされたRM、流動性の厚み。これらはプロジェクト自身の指標で、すべてダッシュボードまたはエクスプローラーで確認できます。押さえておくべき一言：仕組みは需給の構造を改善する。需要が供給を吸収できるほど伸びるかどうかはデータが示すことであり、誰にも約束できません。

RMは下がらないとは言わないでください。O²が売却を止めるとは言わないでください。連鎖的な下落を緩やかにし、流動性に時間を与えるものです。

14 · TEMPLERAIDはギャンブルですか？

お金を賭ける、運に左右されるオンチェーンのゲームで、証明可能な乱数と六十秒のラウンドで行われ、プレイヤーは投じた分を失う可能性があります。これはSpartan OS上の1つのアプリケーションであり、プログラムそのものではありません。ステーキングのためにプレイする必要はありません。

プロジェクトはその背後に保険の仕組みがあると説明しており、ラウンドはエクスプローラーで読み取れます。機能より先にリスクを、毎回伝えてください。ステーキングについて尋ねた人には、決してゲームを勧めないでください。

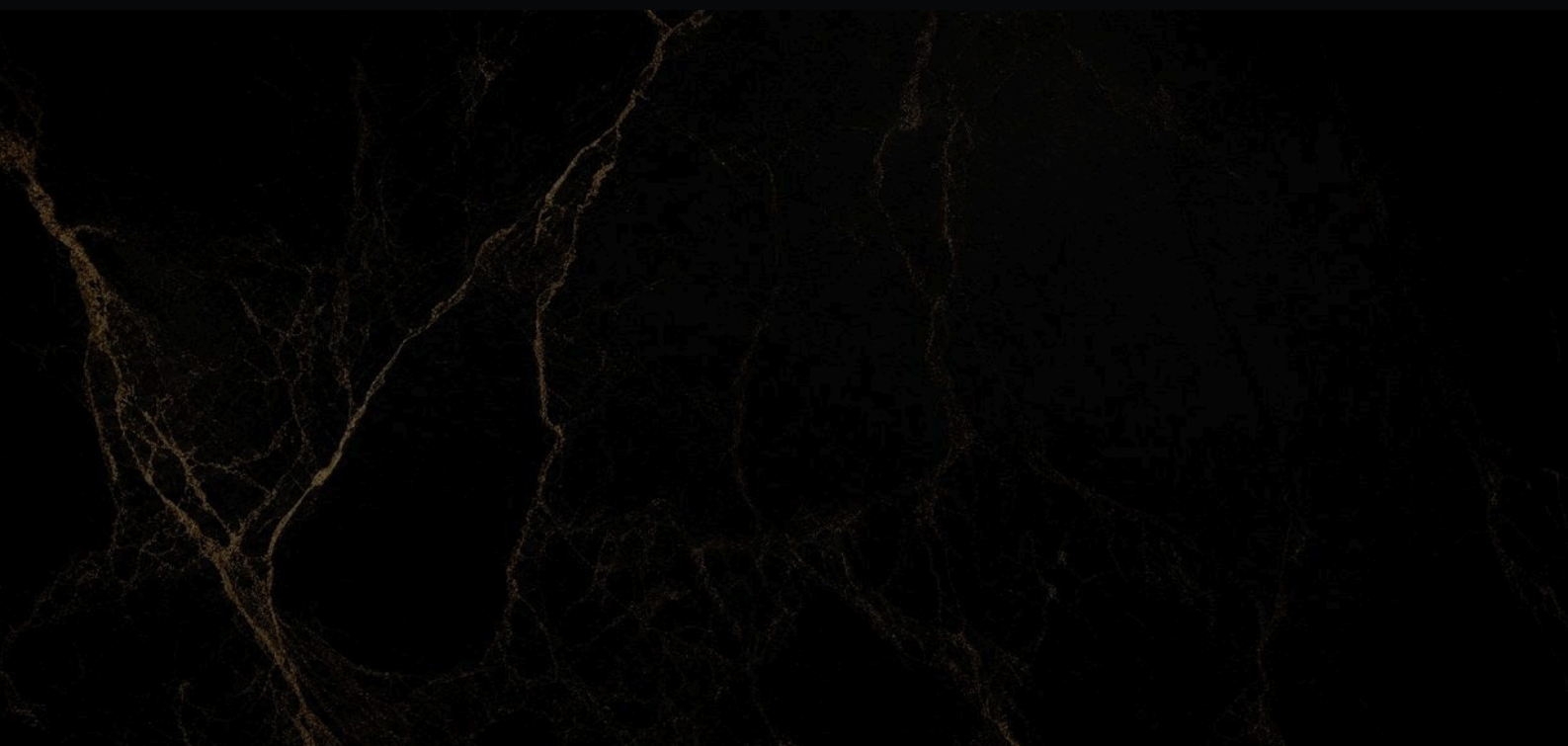
TempleRaidを収入として説明しないでください。18歳未満の人や、違法とされる法域にいる人には勧めないでください。

15 · 「3,500万」や「次は5,000万」は約束のように聞こえる。

これはプロジェクトの数字であり、プロジェクト自身による位置づけが添えられています。3,500万USDTは、2026年9月26日時点で公表された資本基盤の総額です。3,600万と5,000万は、海外パートナーへのメッセージが開発目標と呼んでいるもので、同じ段落で、それらはリターンの保証でもRM価格の保証でもないと述べています。RM価格は需要と供給、流動性、エコシステムの発展によって決まります。

マイルストーンの一行ではなく、メッセージを丸ごと送ってください。その主張は約束とは正反対です：プロジェクトは、調整局面と信頼が試された時期を含むサイクルを経て3,500万に到達し、成長を一直線と誤解しないよう、新しい市場にその経緯を伝えています。読み手は、本日の条件にあるダッシュボードの数値を3,500万と照らし合わせ、5,000万までの距離について自分で結論を出すことができます。

「5,000万に向かっている」とは言わないでください。目標を日付に変えないでください。マイルストーンを、その後に続く文なしで引用しないでください。



05

第 V 部

デューデリジェンス：11の質問とプロジェクトの回答

2026年9月24日、あるメンバーがプロジェクトに7つの質問を送り、9月26日には4つの追加質問に回答がありました。同ランクボーナス、V12のステーク、エネルギー倍率、元本が上限内に含まれるかどうかについてです。回答はSpartan OSが発行し、Anubis Foundationのものとして転送されたもので、番号を保ったまま、提供されたとおりに転載しています。回答は丸ごと引用するか、セクションごと送ってください。それぞれの回答には、その回答自身の言葉で限界が記されています。

2026年9月26日受領 · 追加質問4件

追加質問 1 / 4

同ランク報酬は何%ですか？私がV8で、チームにもV8がいる場合は？

同ランク報酬は10%–15%で、あなたの組織の下にいる最も近い同ランクのポジションの収益に基づいて計算されます。

たとえば、あなたがV5で、その下に2つのV5アカウント（第1世代に1つ、第2世代にもう1つ）がある場合、同ランク報酬は最も近いV5、つまり第1世代のV5から計算されます。あなたは、そのV5の対象収益の10%–15%を受け取ります。

そのポジションより下にあるすべてのV5から、同ランク報酬を重複して受け取ることはありません。

追い越し報酬（override）も、同じく最も近いポジションの原則に従います。

したがって、あなたがV8で、チームの下にV8がいる場合、条件を満たす最も近いV8ポジションの対象収益の10%–15%を受け取ります。

追加質問 2 / 4

V12のガバナンスウェイトは25,000ですか、50,000ですか？

現在のLeader Editionのランク表によると、V12には50,000 USDTが必要です。

正確に言えば、50,000 USDTはV12の個人ステーク要件を指しており、別個の「ガバナンスウェイト」というパラメーターではありません。

したがって、現在の基準は次のとおりです：

V12個人ステーク = 50,000 USDT。

25,000という数値を、現在のV12個人ステーク要件として使うべきではありません。

追加質問 3 / 4

エネルギー倍率について：dAppでは260%と557%、Economic Model Analysisでは150%と200%、今夜の回答ではバーンで2–6×となっています。どれが正しいのですか？

現在のdAppの表示を最終的な基準としてください。

現在dAppには、2つの異なるエネルギーの仕組みが表示されています：

エネルギーステーキング = 260%

エネルギー獲得のためのRMバーン = 557%

この2つは別々の仕組みであり、混同すべきではありません。

最も重要な点として、260%と557%はダイナミックなプロトコルパラメーターであり、恒久的に固定されたレートではありません。プロトコルはこれらの値を調整できるため、数値は時間とともに変わる可能性があります。

以前のEconomic Model Analysis資料にある150%/200%という数値や、バーンの範囲を2–6×とした以前の説明が、現在稼働中のdAppのパラメーターに優先することはありません。

したがって、プロモーターは常にdAppに表示される最新の値を使ってください。

現在：ステーキング = 260%、バーン = 557%。これらの値はダイナミックで、プロトコルによる調整の対象です。dAppが常に最終的な基準です。

追加質問 4 / 4

ステーキングやボンドの当初の元本は4×/5×の内側に含まれますか。それとも、4×/5×の報酬に元本が上乗せされますか？

当初の元本は、4×/5×の総解放上限の内側に含まれます。

この仕組みは、元本＋収益を時間をかけて一緒に解放します。4×/5×の完了後に、元本が別途上乗せで返還されることはありません。

たとえば、ポジションの総上限が5×の場合、プロトコルが解放する元本と収益は、どちらもその5×の総額の内側で計算されます。

したがって、正しい説明は次のとおりです：

元本＋収益は一緒に解放され、どちらも4×/5×の総解放上限の内側に含まれます。元本は、4×/5×に上乗せされる追加の支払いではありません。

2026年9月24日受領 · 質問7件

質問 1 / 7

従来のガバナンストークンやステーブルコインでは実現できない、GDの具体的な経済的目的は何ですか？

GDは、SpartanOSにおける希少なガバナンスと長期的なエコシステム権利のレイヤーとして機能します。GDは、ステーブルコインとRMの両方から意図的に切り離されています。これらの資産は、根本的に異なる経済機能を果たすからです。

ステーブルコインは主に、価格付け、資本の流入、決済を担います。RMは、インセンティブ、ステーキング、ボンド、流動性、複利、バーン、アプリケーション参加にわたって使われる、より高頻度の経済資産です。これに対してGDは、希少なガバナンス権と、より長期的なエコシステム参加を表すように設計されています。

GDの最大供給量は390,000トークンで固定されています。SpartanOSのユーザー、TVL、アプリケーションが増えたからといって、最大供給量が拡大することはありません。

GDの入手経路も、当初のトークノミクスによって制約されています。関連する経路には、初期のNFT保有者に割り当てられた権利、あらかじめ定められたガバナンスおよびエコシステムの割り当て、RM Stable Vaultに関連するGDガバナンス権、そして二次市場での流通があります。

RM Stable Vaultに関連するGDについては、重要な区別があります。そのGD権は30週間かけて線形に解放されますが、Stable Vaultが存在するために新たにミントされるわけではありません。当初の25%の流動性インセンティブ割り当てを含め、当初のトークノミクスのもとですでに割り当てられていたGDから供給されます。当初の割り当て構造には、5%のプロトコル・トレジャリー・リスク準備金も含まれています。したがって、Stable VaultはGDの390,000という最大供給量のロジックを変えません。

SpartanOSがすべてにRMを使わない理由は、RM自体が、はるかに高頻度の経済サイクルを循環するように設計されているからです：インセンティブ → ステーキング → ボンド → 流動性 → アプリケーション → 解放 → 市場需要 → バーン。その役割とエコシステムで最も希少な長期ガバナンス権を組み合わせれば、2つの異なる経済目標を同じ資産に持ち込むことになります。

ステーブルコインも、この役割を完全には果たせません。その主な経済的目的は安定した価値尺度と決済であり、周囲のエコシステムが拡大する一方で供給量が固定されたままの、希少なガバナンス資産を表すことではありません。

このように経済的役割を分離することは、暗号資産では珍しくありません。主要なプロトコルも同様に、決済資産や生産的資産を、ガバナンス資産やエコシステム権利の資産から分離してきました。この比較は、GDがそれらのトークンと同等であることを意味するものではありません。より広い暗号経済の原則を示すものです。つまり、高頻度の経済循環と希少なガバナンス権は、必ずしも同じ資産で表される必要はありません。

従来のガバナンストークンも、理論上は同様の特性を持つように設計できます。したがって、GDの差別化は、単にガバナンストークンと呼ばれていることにあるのではありません。長期的な差別化は、SpartanOSが390,000 GDという固定供給量に、意味のあるガバナンス権、アプリケーションの実用性、エコシステム参加を継続的に結びつけられるかどうかから生まれなければなりません。エコシステムは拡大し得ます。アプリケーションも拡大し得ます。ユーザー基盤も拡大し得ます。GDの最大供給量は、それらとともに拡大する必要はありません。それがGDの中核的な経済的目的です。

質問 2 / 7

実際のSpartanOSの利用を通じて、GDの構造的な需要を生み出すものは何ですか？

GDの構造的な需要は、希少性だけからは生まれません。希少性が自動的に需要を生むわけではありません。需要を生むのは実用性です。

GDに想定されている長期的な需要構造は、次のとおりです：固定供給＋限定的な入手経路＋ガバナンス需要＋アプリケーションの実用性＋エコシステムの拡大。

GDは、純粋なガバナンス資産にとどまらず、実際のアプリケーションでの実用性へと動き始めています。たとえば、TempleRaidのようなアプリケーションは、GD、RM、その他のAnubisChainエコシステム資産を、アプリケーションレベルの利用に取り込んでいます。これは、ガバナンス資産を単に保有することから、その資産をガバナンスとアプリケーションの両方で使うことへの、重要な移行を表しています。

ゲーム、DeFiアプリケーション、RWAプロダクト、DID/NFTシステム、取引インフラ、その他のdAppがさらにエコシステムに加わるにつれて、GDは、追加のガバナンス参加、アプリケーション権利、エコシステムの権限、その他の実用性を段階的に支えることができます。

したがって、私たちが確立したい経済的関係は明快です：アプリケーションの数は増え得る。ユーザーの数は増え得る。GDに結びつく実用性の量は増え得る。しかし、GDの最大供給量は390,000のままです。これが、投機的な需要と構造的な需要の重要な違いです。

ETHは、経済モデルは異なるものの、この原則を理解するうえで有用な主流の参照点です。ETHの需要は、人々がETHを保有することを選ぶことだけに基づいているわけではありません。ETHはガス代に必要で、ステーキングに参加し、Ethereumエコシステム全体で使われています。GDも最終的には、同じより広い経済原則によって自らを証明しなければなりません。実際の実用性が長期的な需要を支えなければならない、という原則です。

そのため、GDを市場価格だけで評価すべきではありません。より意味のある指標には、アクティブなGDアドレスの数、保有の分布、ガバナンス参加、GDを使うアプリケーションの数、アプリケーションでのやり取り、実際のオンチェーン利用があります。エコシステムが拡大してもGDの利用が伸びないなら、構造的な需要は証明されていません。最大供給量が390,000で固定されたまま、より多くのアプリケーションとユーザーが本当にGDを必要とするなら、GDは実用性主導の構造的な需要を育てていることになります。

質問 3 / 7

RMは、ユーザー、開発者、コミュニティの参加にインセンティブを与えるように設計されています。時間の経過とともに、RMが純粋な放出と売り圧力だけのトークンになることを防ぐものは何ですか？

RMは、放出のコントロールだけを軸に設計されているわけではありません。SpartanOSは、方程式の両側を管理しようとしています。つまり、RMがどのように流通に入るか、そして流通に入った後に何がRMの需要を生むかです。トークンの長期的な経済経路が単にミント → 報酬 → 売却であれば、放出の増加はやがて持続的な売り圧力につながりかねません。そのためSpartanOSは、管理された解放、長期ロック、市場での買い需要、バーン、ダイナミックなインセンティブ、アプリケーション需要、流動性バランシングを組み合わせています。

第一に、RMが生成されても、そのRMのすべてがすぐに公開市場に出るわけではありません。長期ステーキング、360/540日の長期流動性ボンド、複利、エネルギーの仕組みが、RMがいつ、どれだけ実際の流通供給量になるかに影響します。エネルギーの仕組みは、RMの消費経路も生み出します。RMはバーンして2–6×のエネルギー価値を得ることができ、エネルギーステーキング自体は360日の構造に従います。したがってRMには、報酬と取引の機能に加えて、消費の仕組みがあります。

第二に、1:1 Turbo Engineは、それに対応する市場での買い需要をもたらします。該当する報酬の仕組みのもとでは、システムは報酬側だけで動いているわけではありません。対応する報酬には市場での1:1のRM購入が必要で、トークンの解放に対する需要側を生み出します。これは重要な違いです。目的は、ユーザーがRMを売ることを禁止することではありません。経済的な問題は、流通に入るRMに十分な実際の市場需要が伴っているかどうかです。Turboを通じて購入されたRMは24時間の沈黙期間にも入り、基本の売却税は5%であるため、同じ購入がすぐに同等の短期売り注文になる可能性を減らします。

第三に、SpartanOSはO2適応型バランシング・プロトコルを使います。O2は3時間のサイクルで動作し、TWAPを取り入れながら、買い／売りの出来高、平均取引サイズ、買い／売り比率、流動性の厚み、より広い市場状況などの変数を観測します。短期的な需給の大きな不均衡が現れると、売り側の保護が強まることがあります。状況が正常化すると、システムは3時間ごとに状況を再評価し、保護を段階的に基本の5%へ戻していきます。24時間以内に基本の状態へ最速で戻る場合でも、関連する回復条件が継続して満たされている必要があります。したがってO2が対処するのは、流動性と需給の不均衡です。RMの市場価格がどうあるべきかを決める仕組みではなく、価格の保証と解釈すべきものでもありません。根底にある原則はシンプルです。価格は結果であり、需給が原因です。不均衡が生じれば保護が強まり、バランスが戻れば保護は正常化します。

第四に、SpartanOSは、ダイナミックなインセンティブ・レイヤーとしてAICSを使います。AICSは30日間のローリング評価で動作します：Score = 0.2H + 0.4C + 0.2A + 0.2R。紹介構造、保有者アドレス、長期参加、継続率、アクティビティ、エコシステムへの貢献など、ネットワークの健全性に関わる要素を評価します。その結果、名目上同じレベルに達しても、必ずしもまったく同じインセンティブを受け取るとは限りません。継続的な大量売却、低い継続率、長期的な貢献の低下は、AICSの評価に影響し得ます。簡単に言えば：AICSはネットワークの健全性を評価し、O2は市場のバランスを管理します。

さらに、長期ステーキング、360/540日のボンド、複利、ロック、バーン、拡大するアプリケーション需要が、需給の構成要素を追加します。より広いDeFi市場は、これがなぜ重要かをすでに示しています。十分な実用性、ロック、実際の需要を伴わない高放出の流動性マイニングモデルは、やがてインセンティブを売り圧力に変えかねません。ほかの主要な暗号資産システムも、ロック、手数料のバーン、買い戻し、実用性による需要を組み合わせて、同様の経済的問題に対応してきました。

SpartanOSが組み合わせるのは、管理された解放＋1:1のターボ需要＋長期ロック＋バーン＋AICS＋O2適応型バランシング＋アプリケーション需要です。したがって、長期的に重要な指標は、単にRMがどれだけ生成されるかではありません。重要なのは、新規のRM供給、実際の流通供給量、1:1のターボ買い需要、アプリケーション需要、長期ロックされたRM、バーンされたRM、流動性の厚みです。これらの仕組みは、需給構造を改善するために設計されています。RMの市場価格を保証するものではありません。最終的には、持続可能な供給を吸収できるだけの持続可能な需要が育たなければなりません。

質問 4 / 7

エコシステムを実際に流れるキャッシュフローは何で、そのうち最終的にプロトコルやトークン保有者に帰属するのは何パーセントですか？

SpartanOSは、混同すべきでない3つの概念を分けています：資本の流れ、プロトコルへの帰属、トークン保有者への価値の帰属です。

SpartanOSを、たとえばユーザーが$100を入金すると固定のX%が自動的にプロトコル収益になり、Y%が自動的にトークン保有者の収入になる、という単純な従来型の資金配分モデルとして説明するのは正確ではありません。より正確なアプローチは、資産側とRMの供給側の両方を分析することです。

資本がSpartanOSに入ると、特定のプロダクトとその経済ルールに応じて、その資本は、流動性、トレジャリー、POL、その他のプロトコル資産といった機能を含むプロトコル資産構造に寄与します。プロダクトによって資産の経路は異なり得ます。したがって、特定のプロダクトについては、資本のうちどれだけがLP、トレジャリー／POL、その他のプロトコル機能に寄与するかという観点で分析できます。ただし、プロダクト固有の資産配分を、SpartanOSエコシステム全体に共通する収益分配率として示すべきではありません。

同時にプロトコルは、そのプロダクトのルールに従って、対応するRMのミント、ロック、将来の解放義務を決定します。つまり、$100がプロトコルに入るとき、関連する経済的な問いは「$100はどこに配分されたか」だけではありません。「その$100によってどのようなプロトコル資産価値が生まれ、それに対してどのような将来のRM供給またはトークン負債が生まれたか」でもあります。そのRMは、必ずしもすぐに公開市場に出るわけではありません。その経済的経路には、ロック → 管理された解放 → 1:1のターボ需要 → 買い戻し → バーン → O2の適応型バランシングが含まれ得ます。

したがって経済的に重要なのは、単に「$100のうちいくらが分配されたか」ではありません。より意味のある問いは、「その$100によってどのようなプロトコル資産価値が生まれ、それに対してどれだけの将来のRM供給が生まれ、そのRMがいつどのように流通に入り、市場がその供給をどう吸収するか」です。

簡略化して表すと、次のようになります：資本がプロトコルに入る → プロトコル資産／トレジャリー／POL／流動性 → プロトコルルールに従ったRMのミント → RMのロックと管理された解放 → 二次市場の需給 → O2が市場状況を監視 → 買い戻し／バーン／保護／流動性の仕組みが応答 → システムが新たな需給均衡へ向かう。簡単に言えば、SpartanOSは入金を単に分けているのではなく、トークンエコノミーを管理しています。

質問の後半、つまり最終的にトークン保有者に何が帰属するかも、同じく重要です。トレジャリー／POLに蓄積された資産は、プロトコルへの帰属を表します。流動性は、プロトコルの経済と市場の厚みに寄与します。どちらも、トークン保有者に直接支払われる現金収入として自動的に説明すべきではありません。したがって：トレジャリー ≠ 保有者配当、流動性 ≠ 保有者配当、トークン価格の上昇 ≠ キャッシュフローの分配。

現時点では、RMとGDの保有者による価値の獲得は、従来型の固定配当モデルではなく、主に間接的な価値の帰属として理解すべきです。RMについては、1:1のターボによる市場での買い需要、ロック、流通供給量の変化、バーン、アプリケーションの実用性、そして該当する場合はアプリケーション収益に連動した買い戻し／バーンの仕組みを通じて、価値の帰属が生じ得ます。GDについては、390,000という固定の最大供給量、ガバナンス権、拡大するアプリケーションの実用性に、価値の帰属が結びついています。

次の主要な経済レイヤーは、外部のアプリケーション収益です。GoPlay、TempleRaid、将来のゲーム、DEX、クロスチェーンアプリケーション、RWAプロダクト、取引インフラ、その他のdAppが実際の外部経済活動を生み出すにつれて、アプリケーション収益のうちどれだけがトレジャリーに入り、どれだけが流動性を強化し、どれだけがRMの買い戻し／バーンに使われ、何らかの部分が保有者に明示的に分配されるかどうかを追跡できるようになります。スマートコントラクトや明示的なプロトコルルールが、プロトコル収益のX%をRM/GD保有者に直接分配すると定めていない限り、プロトコル資産を保有者への直接のキャッシュフローとして示すべきではありません。

したがって現時点では、「$100の入金＝X%がRM/GD保有者に直接行く」といった正確な共通式は存在しません。より意味のあるデューデリジェンスの枠組みは次のとおりです：SpartanOSに入る資本の単位ごとに、どのようなプロトコル資産が生み出され、または取得されるのか。それに対応して、どれだけのRM供給または将来のトークン負債が発生するのか。そのRMはどのように流通へ解放されるのか。そして、その供給を実際の市場需要と流動性に対してバランスさせる仕組みは何か。さらに、外部のアプリケーション収益のうち、最終的にどれだけがトレジャリー、流動性、買い戻し／バーン、または保有者への直接分配によって捕捉されるのか。

これらの区別は不可欠です：資本の流れ ≠ 収益、プロトコル資産 ≠ 保有者配当、買い戻し／バーン ≠ 直接の現金分配。

質問 5 / 7

SpartanOSの暗号資産ネイティブな参入障壁は何ですか？

SpartanOSの参入障壁は、RMだけ、GDだけ、O2だけ、あるいは単一のスマートコントラクトではありません。トークンはコピーできます。スマートコントラクトはフォークできます。トークノミクスのパラメーターも複製できます。潜在的な参入障壁は、経済、アプリケーション、インフラ、流動性、開発者、コミュニティという複数のレイヤーが連動して動くときに生まれる、ネットワーク効果から生じます。

第一のレイヤーは経済レイヤーです：RM＋GD＋O2＋1:1 Turbo＋AICS＋Stable Vault＋長期ステーキング＋長期流動性ボンド＋エネルギー＋バーン＋複利。これらの仕組みは、供給、需要、流動性、長期参加、ネットワークの健全性という、経済システムの異なる部分に対応します。

第二のレイヤーはアプリケーション・レイヤーです。GoPlay、TempleRaid、将来のアプリケーションは、RMとGDを内部のプロトコル経済の外へ、実際のアプリケーションの実用性へと移すことを目指しています。アプリケーションがユーザー、取引、外部収益を生み出すにつれて、アプリケーション経済は経済活動をRM/GDエコシステムに還流させ始めることができます。

第三のレイヤーは、AI／インテント／実行のレイヤーです。dappOSのようなインテント基盤は、ここで重要な方向性を示しています。その意義は、単にWeb3に「AI」というラベルを付けることではありません。目的は、ブロックチェーンとのやり取りの複雑さを減らすことです。ユーザーがインテント（意図）を表明すると、関連するインフラがルーティング、実行、dAppとのやり取りを支援し、最終的な資産の所有と決済はブロックチェーン・レイヤーに戻ります。簡単に言えば：AIが知能と実行支援を担い、ブロックチェーンが信頼できる状態、資産、価値の決済を提供します。

第四のレイヤーはブロックチェーン・インフラです。SpartanOSはスマートコントラクトの実行と資産の決済にAnubisChainを使い、より広いエコシステムは、ウォレット、ブリッジ、DEX、エクスプローラー、インデックス／データ基盤、クロスチェーンシステムにわたるインフラと接続しています。これにはThe Graph、Blockscout、LayerZeroなどの分野が含まれます。

第五のレイヤーはエコシステムの拡大です。Q3以降、エコシステムのロードマップには、次の分野での段階的な開発が含まれます：LayerZero＋OFTのクロスチェーン基盤、エクスプローラーのアップグレード、RocketSwap V3、Guardマルチシグ、NFT＋DID、AI Meme／AI Agent、RWAトークン化、分散型のコントラクト取引プラットフォーム、コントラクト取引の保険。これらすべてを、すでに稼働して収益を生んでいるプロダクトとして示すべきではありません。稼働中のプロダクトは、プロダクトの利用状況とオンチェーンデータで評価すべきです。開発中の統合は、技術的な進捗と公式発表で評価すべきです。将来のプロダクトは、デプロイ後に、コントラクト、取引、ユーザー、収益によって検証すべきです。

主要な暗号資産ネットワークは、この区別がなぜ重要かを示しています。Ethereumの参入障壁は、単にEVMのソースコードではありません。そのネットワーク効果は、開発者、流動性、ウォレット、アプリケーション、インフラ、標準規格、ユーザーが相互に作用することから生まれます。同様に、AMMの計算式自体はフォークできますが、成熟したDEXを取り巻く流動性、統合、ユーザー、開発者ツール、ネットワーク効果を再現することは、はるかに困難です。

したがって、SpartanOSが構築しようとしているネットワークは、トークンエコノミー＋流動性＋AI／インテント＋アプリケーション＋ブロックチェーン・インフラ＋開発者＋ユーザー＋グローバルコミュニティです。これを絶対的でコピー不可能な参入障壁と表現するのは時期尚早です。より正確には、SpartanOSはネットワーク型の参入障壁を築いているところであり、その強さは最終的に、流動性の厚み、アクティブユーザー、アプリケーションの採用、開発者の活動、外部収益、エコシステムをまたぐ統合によって示されなければなりません。

質問 6 / 7

オンチェーンで正確に何が検証され、何がオフチェーンのAIインフラによる主張にすぎないのですか？

SpartanOSは、オンチェーンの状態とオフチェーンの計算を明確に区別しています。

オンチェーンで独立して検証できる情報には、ウォレットアドレス、トークンコントラクト、RM/GDの送金、スワップ、流動性の変化、バーン、スマートコントラクトとのやり取り、トランザクションハッシュ、最終的な資産の決済が含まれます。これらの事実について、利用者がSpartanOSのフロントエンドの表示を信頼する必要はありません。エクスプローラーや、対応している場合は第三者のブロックチェーンデータ／インデックス基盤を通じて、関連するブロックチェーンの状態と照らし合わせて独立して確認できます。これはブロックチェーンの中核的な特性の一つです。利用者は、プロトコル自身のインターフェースだけに頼るのではなく、重要な資産と取引の状態を独立して検証できるべきです。

ただし、システムのすべての構成要素が自動的にオンチェーンにあるわけではありません。AICSのスコア計算の一部、インテントの解釈、外部データの分析、API呼び出し、エージェントの意思決定、その他のオフチェーン計算といった要素は、別に扱う必要があります。オフチェーンのシステムが計算を行い、その後ブロックチェーンにトランザクションを送信した場合、ブロックチェーンは最終的なトランザクションが発生したことを証明できます。しかし、それに先立つオフチェーンの計算がすべて正しかったことを自動的に証明するわけではありません。したがって：結果がオンチェーン ≠ 計算全体がオンチェーン。

信頼の境界をより正確に表すと、次のようになります：AI／オフチェーンのインフラが知能、分析、実行ロジックを担い、ブロックチェーンが信頼できる状態、資産、取引、最終的な価値の決済を検証します。

オフチェーンの計算自体を暗号学的に検証可能にする必要がある場合は、実装に応じて、公開アルゴリズム、オラクル、TEE、ZK証明、暗号署名、バリデーターネットワーク、その他の検証可能な計算システムなどの追加技術が必要になる場合があります。

したがって私たちは、ブロックチェーンの状態を通じて独立して検証できるオンチェーンの事実と、独自の検証の仕組みを必要とするオフチェーンの計算とを区別しています。結果がブロックチェーンに書き込まれたことを、オフチェーンの計算全体がオンチェーンで実行または検証された証拠として示すべきではありません。

質問 7 / 7

AIエージェントが、実行したと主張するサービスを実際に実行したことを、SpartanOSはどのように証明しますか？

証明には、2つの別々のレベルがあります：実行結果の検証と、計算の検証です。

エージェントが送金、スワップ、ステーク、スマートコントラクトとのやり取りを完了したと主張する場合、利用者が「完了しました」というフロントエンドのメッセージを信頼しなければならない状況であるべきではありません。主な証拠はブロックチェーンであるべきです。利用者は、トランザクションハッシュ、コントラクトの呼び出し、入力資産、出力資産、ウォレットの状態の変化、最終的な決済を検証できるべきです。

たとえば、エージェントが「あなたの代わりに資産Aを資産Bにスワップしました」と主張する場合、関連する証拠はエージェント自身の発言ではありません。利用者は、そのトランザクションが実際に存在するか、どのスマートコントラクトが呼び出されたか、どれだけの資産Aがウォレットから出たか、どれだけの資産Bを受け取ったか、そしてトランザクションが正常に決済されたかを検証できるべきです。それが実行結果の検証です。ブロックチェーンは、資産に関わる行為が実際に発生したことを証明するのに特に有効です。

しかし、トランザクションハッシュは、エージェントがなぜ特定の判断をしたのか、すべての入力が正確だったのか、内部の推論ステップがすべて正しかったのかを自動的に証明するわけではありません。それは別の問題、つまり計算の検証です。エージェントの内部計算を暗号学的に検証することが目的であれば、TEE、ZK証明、オラクルシステム、バリデーターネットワーク、暗号署名、その他の検証可能な計算などの追加の仕組みが必要になる場合があります。

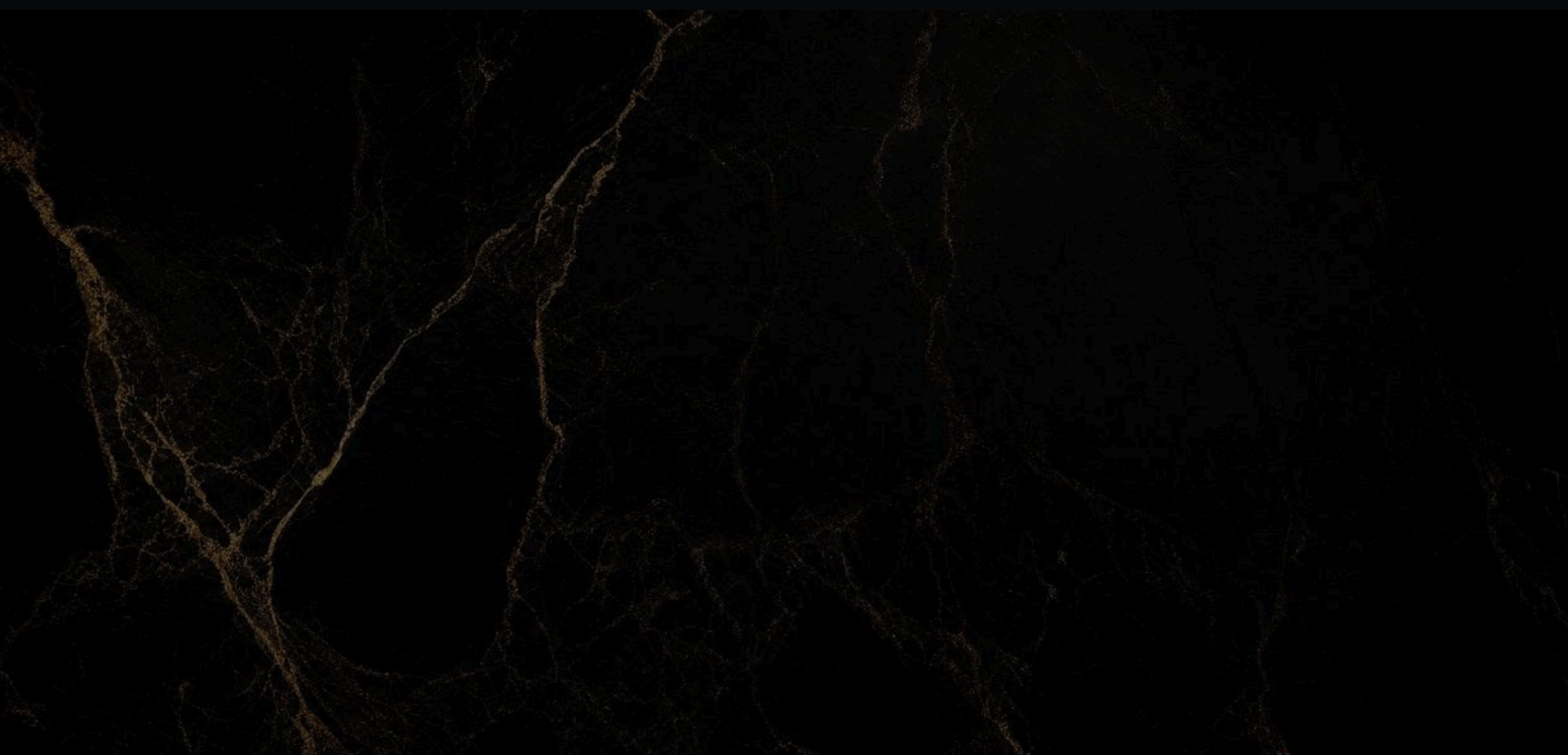
したがって私たちは、「トランザクションがオンチェーンにあるのだから、その背後にあるAIの計算はすべて自動的に信頼できる」という技術的に不正確な主張はしません。より正確なモデルは次のとおりです：AIはインテントを理解し、分析を行い、実行を支援する。ブロックチェーンは資産の状態と最終的な実行を検証する。

dappOSのようなインテント基盤は、より広い方向性を示しています：利用者は、インテントを実現するために関わるすべてのブロックチェーン操作を、必ずしも手作業で理解する必要はありません。インテント／実行のレイヤーはルーティングと実行を簡素化できますが、重要な資産の結果は、引き続きブロックチェーンで検証可能な決済に戻るべきです。

原則は明快です。エージェントの「タスクを完了しました」という言葉だけに頼らないでください。タスクが実際に完了したことをブロックチェーンが証明しているかを検証してください。エージェントがなぜその判断をしたのか、あるいはその内部計算が正しかったのかまで証明することが求められる場合は、別の暗号学的または検証可能な計算のレイヤーが必要であり、実際に導入されている検証技術に即して評価すべきです。

使い方

回答の一文だけでなく、回答全体を引用してください。仕組みはいかなる価格も保証しません。トレジャリーは配当ではありません。チェーン上のトランザクションは、その背後にある計算を証明するものではありません。ロードマップの項目は稼働中の製品ではありません。エネルギー倍率は、その日のdAppから読み取る変動値です。これらの限界を省けば、それはもはやプロジェクトの引用ではありません。



06

第 V I 部

海外パートナーへのメッセージとボンド

プロジェクトからの2つの文章を、提供されたとおりに転載しています。1つ目は、2026年9月26日にHarryが新しい海外パートナー全員に送ったメッセージです。Spartan OSがどのようにして3,500万USDTに到達したか、調整局面と回復、そして初期のコミュニティがそこから受け継いだ文化について述べています。次に9月25日のボンドに関する文章です。現段階ではボンドを先に勧めるというガイダンス、その日に1,000 USDTで購入できた量、毎日の解放、変動する割引率、そして540日ボンドと540日ステーキングの比較です。

2026年9月26日受領 · Spartan OSのHarryより · Phalanxのチャンネルに転送 · 提供されたとおりに転載、セクション見出しはそのまま

U字回復からグローバル・エコシステムへ

SpartanOSに加わるすべてのグローバル・コミュニティ・パートナーへのメッセージ

現在、インド、中東、東南アジア、そして世界のその他の地域から、ますます多くのパートナーがSpartanOSに加わっています。

海外市場の皆さんが目にしているのは、今日のSpartanOSです：

3,500万USDTを超える総資本基盤、拡大を続けるグローバル・コミュニティ、成長するエコシステム、そして国際展開の新たな段階に入りつつある市場。

しかし、仕組みやリターン、価格について話す前に、さらに重要なことがあります：

私たちがどのようにしてここまで来たのかを、理解していただく必要があります。

なぜなら、今日の3,500万USDTは一夜にして築かれたものではないからです。

そして、今日の私たちのコンセンサスは、一度の価格上昇によって生まれたものではありません。

1. 四月8日から今日まで：決して一直線ではなかった私たちの歩み

4月8日のAnubis Chainのローンチから、6月16日のSpartanOSの正式な市場ローンチを経て、総資本基盤が3,500万USDTを超え、次のマイルストーンへと進み続けている現在まで——

私たちは、現実の、そして完全な市場サイクルを経験してきました。

私たちは急速な成長を経験しました。

私たちは価格の調整を経験しました。

市場が極度に熱狂した瞬間も見てきました。

そして、信頼が試される瞬間も経験しました。

そして何より重要なのは、私たちが本物のU字型の市場回復を経験したことです。

だからこそ、初期のコミュニティは「コンセンサス」という言葉を、エコシステムに入ったばかりの人とは違うかたちで理解しているのです。

なぜなら、私たちはひとつの重要な教訓を学んだからです：

エコシステムの真の試練は、市場が上昇しているときにどれだけ多くの人がそれを信じているかではありません。本当の試練は、市場が厳しくなったときに、どれだけ多くの人がなお築き続けようとするかです。

市場サイクルを重ねるごとに、私たちは今日のコミュニティ文化を少しずつ育ててきました。

2. 価格が上がるときは規律を学び、価格が下がるときは築く

これは、私たちが海外のコミュニティと共有したい最初の経験です。

RMが急騰し、市場センチメントが非常に強かったとき、私たちは重要なことに気づきました：

全員が短期的な利益だけに目を向ければ、集中した大量の無秩序な売りが、流動性と市場センチメントに不要な圧力をかけることがあります。それは、プロトコル自体が健全であっても起こり得ます。

だからこそ、私たちのコミュニティは次のことを呼びかけ始めました：

合理的な取引。分散した取引。秩序ある市場行動。

これは、売却が禁じられているという意味ではありません。

ましてや、誰かが他人の資産をコントロールする権利を持つという意味でもありません。

それは、ひとつのシンプルな原則を理解するということです：

流動性を共有する市場では、個人の行動がエコシステム全体に影響を及ぼし得ます。

そして、市場が調整局面に入り価格が下落したときも、私たちは築くことをやめませんでした。

私たちはコミュニティの育成を続けました。

私たちは市場教育を続けました。

私たちはイベントとエコシステムの拡大を続けました。

新たな参加者を迎え入れ、集中的な市場への圧力を減らすため、より合理的な市場行動を促しました。

そして最終的に、私たちはU字回復を経験しました。

その経験から、私たちはとてもシンプルで、しかし重要な哲学を築きました：

価格が高いときは規律を守る。価格が低いときは築き続ける。

上昇局面では感情を管理する。調整局面では信頼を強める。

これらはスマートコントラクトに書き込まれたルールではありません。

現実の市場経験を通じて学んだ教訓です。

3. O2があるのに、なぜ今も人をこれほど重視するのか？

DeFiはすでに業界に多くの重要な教訓を与えてきました。

Olympus DAOをはじめとする前世代のプロトコルは、経済メカニズム設計の力を示しました。

しかし同時に、それらは業界に同じくらい重要なことも教えました：

経済メカニズムだけでは、市場のあらゆる問題を解決することはできません。

そのためSpartanOSは、これまでのDeFiモデルを単純に模倣してはいません。

私たちはO2適応型バランシング・プロトコルを開発しました。

O2は、需給、TWAP、平均取引活動、買い/売り比率、流動性の厚みなど、市場の状況を観測します。

市場が不均衡になると、保護メカニズムが発動されることがあります。

状況が正常に戻ると、システムはデータを再評価し、それに応じて調整します。

だからこそ、私たちはよくこう言います：

価格は結果である。需給は原因である。不均衡が現れれば、保護が始まる。均衡が戻れば、調整が続く。

しかし、現実の市場サイクルを経験した今、私たちはあることをさらにはっきりと理解しています：

仕組みはパラメーターを調整できます。しかし、人間の行動をコントロールすることはできません。

スマートコントラクトはルールを実行できます。

O2は市場データに反応できます。

AICSはネットワークの健全性を評価できます。

しかし、上昇局面で人が貪欲にならないことを保証できるコードはありません。

そして、調整局面で人が恐怖に駆られないことを保証できるアルゴリズムもありません。

だからこそSpartanOSには、同じくらい重要なもうひとつの基盤があります：

コミュニティ・ガバナンス。

4. コミュニティの約束事は制限のためではなく、自律のためにある

これは、新しく加わった海外のコミュニティに特に理解していただきたい点です。

私たちがコミュニティの約束事について話すとき、次のように言っているのではありません：

「売ってはいけない」

オンチェーンの資産は、その所有者のものです。

すべての参加者には、自ら決定する権利があります。

私たちが築きたいのは、成熟した分散型のコミュニティ文化です：

選択の自由を持ちながら、自分の選択が市場全体にどう影響し得るかも理解していること。

だからこそ、私たちのコミュニティは市場の状況について話し合います。

私たちは新しい参加者への教育を行います。

集中的で大規模な、感情に流された市場行動を避けるよう呼びかけます。

長期の参加者には、エコシステムの発展にさらに貢献するよう促します。

そして市場が厳しいときには、恐怖を増幅させるのではなく、力を合わせて解決策を探します。

これが、私たちの言う次の言葉の意味です：

コミュニティ・ガバナンス。

真の分散化とは、秩序がないことを意味するものではありません。

そして自由とは、責任がないことを意味するものではありません。

プロトコルはユーザーに代わって決定しません。コミュニティもまた、ユーザーに代わって決定しません。

しかし成熟したコミュニティは、参加者が市場をよりよく理解し、より十分な情報に基づいた、責任ある、長期的な判断を下せるよう支えることができます。

これは、私たちが学んだ最も重要な教訓のひとつです。

5. なぜ今、この歴史をグローバル市場と共有するのか？

SpartanOSが新たな段階に入ったからです。

これまで、基盤の多くは初期のコミュニティによって築かれてきました。

今、インド、中東、東南アジア、そしてさらに多くの海外市場が加わりつつあります。

同時に、エコシステムの発展も前進を続けています。

より多くのエコシステムのアプリケーション、パートナー、外部資本、流動性、グローバルなユーザーが入ってくるにつれ、市場の規模はこれまでとは大きく異なるものになるでしょう。

3,500万は終着点ではありません。

私たちは、流動性とエコシステムの新たなマイルストーンに向かって進み続けています：

35M → 36M → 50M → より大きなグローバル・エコシステム

これらの数字は開発目標を示すものであり、リターンや将来のRM価格を保証するものではありません。

RMの市場価格は、今後も実際の需給、流動性の状況、エコシステムの発展によって決まります。

しかし、ひとつの原則は変わりません：

エコシステムが大きくなるほど、コンセンサスはより重要になる。

6. 5,000万に向かう今、進化すべきは市場だけでなく、私たちのコンセンサスである

エコシステムが小さいうちは、少数の中核コミュニティで多くのことを成し遂げられるかもしれません。

3,500万の規模では、より多くのコミュニティが参加しなければなりません。

そして、エコシステムがいずれ50M、100M、あるいはさらに大きな規模へと発展すれば、私たちが向き合うのはもはや地域の市場ではありません。

向き合うのは、真にグローバルなエコシステムです。

その段階では、中国の市場行動、インドのコミュニティ活動、中東のエコシステム拡大、東南アジアの成長が、すべてひとつのグローバル市場の、相互につながった一部になるかもしれません。

したがって、進化しなければならないのはプロトコルだけではありません。

私たちのグローバルなコンセンサスも、それとともに進化しなければなりません。

だからこそ、私たちは今日、初期のコミュニティの経験を海外のパートナーと共有しているのです。

私たちが経験したすべてを、皆さんに繰り返してほしいからではありません。

まったく逆です。

私たちがすでに学んだ教訓を、グローバル市場に役立ててほしいのです。

7. 過去は初期のコミュニティがコンセンサスを築く時代。未来は世界がともにエコシステムを築く時代。

今日から、SpartanOSの物語は変わります。

これまで私たちは、ひとつの市場がどう成長できるかを語ってきました。

これからの問いは、こうなります：

グローバルなエコシステムは、どうすればともに成長できるのか？

SpartanOSの未来は、中国のものではありません。

インドのものでもありません。

ドバイのものでもありません。

そして、どの単一のコミュニティのものでもありません。

エコシステムの構築に真に貢献するすべての人のものです。

だからこそ、私たちが確立したいグローバルな文化はシンプルです：

市場が上昇するとき、理性を保つ。市場が調整するとき、パニックにならない。個人の選択を尊重し、共有の市場も尊重する。価格に注意を払い、それ以上に流動性に注意を払う。リターンに注意を払い、エコシステムにも注意を払う。今日のことを考え、明日のために築く。

地域のコンセンサスから、グローバルなコンセンサスへ

この数か月間、現実の市場経験は私たちにとても重要なことを教えてくれました：

コンセンサスのない仕組みでは不十分です。

そして同じように：

強い仕組みのないコンセンサスでも不十分です。

SpartanOSが最終的に築こうとしているのは、次の組み合わせです：

O2 + AICS + エコシステムの発展 + コミュニティ・ガバナンス + グローバルなコンセンサス

O2は適応的なバランスを維持します。

AICSはエコシステムの健全性を評価します。

エコシステムは長期的な需要と実用性を生み出します。

そしてグローバル・コミュニティが、すべてをひとつにつなぎます。

仕組みはボラティリティを乗り越える助けになります。しかし、エコシステムが市場サイクルを生き抜き、成長することを可能にするのは人です。

4月8日から6月16日へ。

最初の市場の試練から、U字回復へ。

初期の市場から、今日の3,500万USDT超へ。

そして3,500万から5,000万へ、さらにはるかに大きなグローバル・エコシステムへ――

私たちが積み上げてきたのは、流動性だけではありません。

さらに重要なのは：

市場を乗り切り、ボラティリティに対応し、長期的なコンセンサスを築くという、現実の経験を積み上げてきたことです。

今、その経験は初期のコミュニティからグローバル市場へと受け継がれようとしています。

次の段階は、ある市場が別の市場を率いることではありません。

異なる国、言語、コミュニティのスパルタの戦士たちが、ともに築き、ともに守り、このエコシステムの成長をともに見届けることです。

プロトコルは、私たちの動き方を決めます。エコシステムは、私たちが生み出せる価値の大きさを決めます。そしてグローバルなコンセンサスは、私たちがどこまで行けるかを決めます。

SPARTAN OS

プロトコルからエコシステムへ。コミュニティからグローバルへ。コンセンサスから未来へ。

6つの言葉

相場が上がっても冷静に。調整しても慌てない。個人の選択を尊重し、共有の市場を尊重する。価格を見る。流動性はもっと見る。リターンを見る。エコシステムも見る。今日を考え、明日を築く。これはプロジェクトの言葉による心得であり、契約上の規則ではありません。誰も売却を禁じられてはおらず、誰も他人の資産を管理することはできません。

伝え方

経緯は順を追って話し、調整局面も省かないでください。数字はその位置づけとともに引用してください。3,500万USDTは9月26日時点で公表された総額です。36Mと50Mは開発目標であり、文章にはそれらがリターンやRM価格の保証ではないと書かれています。このメッセージは、O²があるのになぜプロジェクトが人について語るのかに答えるために使い、誰がいくら稼げるかに答えるためには使わないでください。

2026年9月25日受領 · Spartan OS国際チーム、ワーキンググループ · 提供されたとおりに転載、見出しは追加

海外市場は通常のステーキングとボンドのどちらにならうべきかと問われ、Harryは「現段階ではボンド」と答えました。ボンドには割引があり、ステーキングはより多くの数量のコインを得られます。同じ時間内に国際チームへ伝えられた指示は、「現段階では通常のステーキングではなくボンドを購入するよう、海外市場に伝える」というものでした。その後に続いた4つの文章は次のとおりです。

1000 USDTでのRM購入比較

現在の市場価格：$30.8081

1,000 USDTで市場価格で直接購入した場合：≈ 32.459 RM

360日LPボンド。ボンド価格：$27.5301。市場価格に対する割引率：≈ 10.64% OFF。1,000 USDTで受け取るRM：≈ 36.324 RM。市場での直接購入と比べた追加RM：≈ +3.865 RM

540日LPボンド。ボンド価格：$26.2535。市場価格に対する割引率：≈ 14.79% OFF。1,000 USDTで受け取るRM：≈ 38.090 RM。市場での直接購入と比べた追加RM：≈ +5.631 RM

利益が支払われるのは360日または540日の後だけですか、それとも毎日ですか？

360日と540日のLPボンドはいずれも、元本と利益を受け取るために満期まで待つ必要はありません。元本と報酬はどちらも、ボンド期間を通じて毎日解放されます。

割引率は固定ですか？

割引率は固定ではありません。プロトコルは実際の状況に基づいて調整されます。

540日ボンドと540日長期ステーキングの比較

どちらの商品も、期間は540日、上限は最大5×です。

報酬は毎日のブロック生成を通じて発生し、発生した報酬は継続的に複利にでき、全体のリターンの積み上げを加速できます。

540日ボンド | 主なメリット：割引 + より多くのRM

USDTで参加します。主なメリットはボンドの割引で、現在の市場価格より低い価格でより多くのRMを取得できます。

参加後、元本と報酬は毎日段階的に解放されます。毎日の報酬は複利にすることもでき、上限は最大5×です。

たとえば10,000 USDTを投資し、次のように仮定します：RMの市場価格：30 USDT。540日ボンド価格：24 USDT。

市場価格の場合：10,000 ÷ 30 ≈ 333.3 RM

540日ボンドの場合：10,000 ÷ 24 ≈ 416.7 RM

同じ10,000 USDTで、ボンドの割引により、参加時に約83.4 RM多く得られます。

つまりボンドの主なメリットは、まず割引された参加価格でより多くのRMを得て、その後540日の期間にわたり、毎日の解放と複利で積み上げを続けられることです。

540日長期ステーキング | 主なメリット：長期利回り + 追加報酬

USDTまたはRMのどちらでも参加でき、資産は540日の長期ステーキング・サイクルに参加します。

ボンドとは異なり、割引されたボンド価格で追加のRMを取得することが主眼ではありません。この仕組みが重視するのは、長期利回りと追加報酬です。

報酬はブロック生成を通じて毎日発生し、継続的に複利にして積み上げを加速することもできます。上限は最大5×です。

簡単に言えば：

540日ボンド = 割引価格でのRM参加 + 参加時により多くのRM + 元本と報酬の毎日解放 + 複利 + 最大5×の上限

540日長期ステーキング = USDT/RMで参加 + 長期利回り + 追加報酬 + 毎日のブロック報酬 + 複利 + 最大5×の上限

どちらも期間は540日、上限は最大5×で、複利に対応しています。主な違いは、ボンドが割引とRMの数量面のメリットを重視するのに対し、長期ステーキングは長期利回りと追加報酬を重視する点です。

このパートで押さえること

ボンドは、割引と毎日の解放を理由に、現段階でプロジェクトが海外市場向けに最も推す商品です。割引率は変動し、その日のボンドページで確認します。ボンドの元本と報酬は毎日解放され、上限内に算入されます。いずれもリターンを約束するものではなく、パートナーへのメッセージも自らのマイルストーンについてそう述べています。

07

第 V I I 部

ローンチ以降のお知らせ

メインネット以降のすべての公式のお知らせを新しい順に要約し、
出典がある場合は併記しています。

日付	発信元	お知らせの内容
2026年9月20日	Anubis Chain × CertiK	**セキュリティ警告：FomoPeek** iOSアプリに再パッケージされた悪意あるコードが、鍵、シードフレーズ（復元フレーズ）、チャット履歴を読み取る可能性があります。iOS 26.7にアップデートし、不明なアプリは避けてください。
2026年9月19日	Anubis Chain	**セキュリティ通知：「Anubischat」というアプリは存在しません** Anubis Chainはどのストアでもソーシャルアプリを公開したことがありません。インストールしたり、ウォレットを接続したりしないでください。
2026年9月17日	Anubis Chain	**TOKEN2049 Singaporeのゴールドスポンサー** マリーナベイ・サンズ、2026年10月7日から8日。
2026年9月16日	Anubis Chain	**新しい公式Xアカウント：@AnubisChainL1** この日以降、エコシステム、パートナーシップ、製品、公式のお知らせを発信するメインチャンネル。
2026年9月15日	Anubis Chain	**The GraphがAnubis Chainをサポート** サブグラフのインデックス作成が稼働。開発者はThe Graphを通じてオンチェーンデータを照会できます。
2026年9月14日	Anubis Chain	**AnubisChain × Spartan OS：継続的なサポート** Spartan OSに対するオンチェーンインフラ、エコシステムリソース、アプリケーションレベルでの協力が確認されました。
2026年9月13日	Spartan OS	**RMが再び$30超に** $32.84から$25.12まで下落し、再び$30を上回りました。RM/USDTの流動性は約2,903万USDT、準備金400万、公表された資本基盤は3,300万超。
2026年9月10日	Anubis Chain	**トランザクション100M件** 155日目：トランザクション102,934,209件、アドレス18,185,105件、コントラクト16,533件、ブロック時間1.0秒、ガス代$0.01未満。
2026年9月8日	Spartan OS	**AstraCoreと30,000 DAIの日次インセンティブ** 日次インセンティブキャンペーンを通じて、AC WalletのユーザーをAnubisChainに迎え入れます。
2026年9月6日	Spartan OS	**TempleRaidが稼働開始** AnubisChain上の六十秒ラウンド、結果は証明可能な乱数で決定、RMとGDに対応。
2026年9月5日	Spartan OS	**RM/USDTの流動性28,153,200 USDT** エコシステム準備金4,000,000 USDT。RMは$25.122から$29.9639に上昇したと公表。
2026年8月26日	Spartan OS	**コミュニティミーティングの方針を公表** ミーティングの規模別の申請費用、開催ルール、費用補填のための150%の実績条件。
2026年8月25日	Spartan OS	**GoPlayとの提携：TempleRaidを発表** 初のPlay-to-Co-CreateプラットフォームとされるGoPlayが、AnubisChain上でTempleRaidをローンチ予定。まずRM、DAI、USDTに対応。
2026年8月22日	Anubis Chain	**メインネット137日目：日に百万件の時代** トランザクション7,473万件、アドレス1,561万件、24時間で107.9万件のトランザクション、コントラクト13,000件超、DAI送金250,149件。

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

日付	発信元	お知らせの内容
2026年8月18日	Anubis Chain	**Q3戦略ブループリント** オムニチェーンの資産フロー、ZKプライバシーインフラ、高速・低コストのトランザクション、DeFi、Awake NFTアイデンティティ、オンチェーンガバナンス、長期インセンティブ、AI、RWA。
2026年8月12日	Anubis Chain	**AC Carnival：1,000,000 DAIのタスクエアドロップを開始** AC Walletを通じた30日間のタスク、8月12日から9月11日まで。
2026年8月11日	Anubis Chain	**DappOSのトークンDOSが上場** 最初の上場先として発表：Upbit, Binance Alpha, Bitget, OKX, Gate。
2026年8月8日	Anubis Chain	**新たなマイルストーン：トランザクション57.78M件** アドレス14.10M件、ブロック10.64M、24時間で938,000件のトランザクション、コントラクト10,792件、ガス代$0.01未満。
2026年8月7日	Anubis Chain	**DappOSと連携したAIユーザーガイド** メインネット、ウォレット、セキュリティ、プライバシー、スワップ、ブリッジに関する質問に答えるAIのQ&Aページ。
2026年8月4日	Spartan OS	**Charge Incentive Pool（チャージ・インセンティブプール）を開始** 360日または540日のステーキングやボンド、またはRM Stable Vaultへの、一度に200 USDTを超える参加が、プールからの不定期エアドロップの対象。ルールは公式発表によります。
2026年8月2日	Anubis Labs	**Spartan OSがCertiKの評価を完了** ガバナンス用マルチシグ、トレジャリー、ステーキング、報酬分配、コアトークンのコントラクト：重大はゼロ、重要はゼロ、中程度の指摘3件は解決済み。
2026年8月1日	Spartan OS	**8月の施策：長期ポジション向けDAPPOSトークンのエアドロップ** 500 USDTからの360日ステーキングまたはボンド：DOSを追加で1.5%エアドロップ。540日：3%。キャンペーンは8月31日に終了しました。
2026年7月31日	Anubis Chain	**LayerZeroとの提携** オムニチェーンインフラとOFT規格を、メインネットへのデプロイとエコシステム統合に活用予定。詳細は追って発表。
2026年7月26日	Anubis Chain	**AstraCore（AC Wallet）がAnubisChainを統合** AC WalletがAnubisChain資産への入り口に。同日に引用されたDEXToolsのデータでは、AnubisChainはチェーン別で取引高12位、流動性10位。
2026年7月22日	Anubis Chain	**メインネット100日：主要データ** 7月20日時点：アドレス1,213万件、トランザクション3,849万件、ブロック905万、TVL $189.91M、トークン種類2,650超、検証済みコントラクト119件、平均ブロック時間約1秒。
2026年7月13日	Anubis Chain	**CertiKとArmorによる二重監査** 137件のコアスマートコントラクトを検証。資産の準備金、発行、移転を追跡可能。
2026年7月10日	Spartan OS	**1,000,000 USDTで価格安定基金を設立** Genesis Foundation Programの第3ラウンドで基金を割り当て。アドレスを公開。異常な変動時にRM市場を安定させる目的にのみ使用し、DAOが監督。
2026年7月7日	Anubis Chain	**Bitget Walletのガス代補助** Bitget Wallet経由で、AnubisChain内のガス代ゼロの送金を日に3回まで、各回最大0.1 gasDAI。クロスチェーン取引は対象外。

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

日付	発信元	お知らせの内容
2026年6月28日	Anubis Chain	**資産透明性に関する声明：$243,288,606.82を裏付け** 当日の公表どおりの公式裏付け資産の総額。両ブリッジコントラクトとDAIマッピング資産コントラクトを公開。
2026年6月26日	Anubis Chain	**パートナー一覧を発表** CoinMarketCap, CoinGecko, DEXTools, Bitget Wallet, MyToken, Ave.ai, dappOS, RocketSwap, AuraOS, Ads3, Spartan OS, VESTがエコシステムパートナーとして掲載されました。
2026年6月23日	Anubis Chain	**CoinGeckoにパブリックチェーンとして掲載** エコシステムのプロジェクトは、AnubisChainセクション向けにトークン情報を提出できます。
2026年6月16日	Spartan OS	**Spartan OSが16:16 SGTに稼働開始** Anubis Labs初のアプリケーションが公開。Spartan OSが後に公表したところでは、RMの初値は$18.85。
2026年6月15日	Anubis Chain	**AVE.aiがクロスチェーンと即時スワップを統合** AVE.aiがAnubisChain資産のクロスチェーンアクセスとスワップを追加。
2026年5月13日	Anubis Chain	**AWAKEがCapybaraを通じてローンチ** ジェネシスレベル初のエコシステムプロジェクトが、RocketSwapでDAI/LGNSペアを開設。プロジェクトの公表によれば、初期プールは約$163M。
2026年4月8日	Anubis Chain	**メインネットが稼働開始** チェーンID 6714、手数料はgasDAI、PoSAコンセンサス。以後のすべてのマイルストーンはこの日から数えます。



08



第 VIII 部

安全、検証、公式リンク

損失を防ぐためのルール、すべての数値を確認する場所、そして唯一有効なリンク。

クリックせず、手入力

アドレスとリンクは、このハンドブックかライブラリから手入力するか、anubischain.aiと公式Xアカウントから取得します。送信者がどれほど上位の人に見えても、チャットからは決して取得しないでください。

チェーンID 6714

ウォレットに別のチェーンIDが表示される場合、誤ったネットワークに接続しています。RPCはrpc.anubispace.org、エクスプローラーはbrowser.anubispace.org、手数料はgasDAI。

先頭4文字、末尾4文字

すべてのコントラクトアドレスと送金先アドレスの先頭4文字と末尾4文字、そしてウォレットが表示するトークン名を照合してください。

まず少額でテスト

新しい経路（ブリッジ、スワップ、ステーク、クレーム）はすべて、失っても困らない金額で試してから、残りを送ってください。

シードフレーズは紙に

公式アカウントも、リーダーも、サポート窓口も、シードフレーズ（復元フレーズ）を尋ねることは決してありません。公式の「Anubischat」アプリは存在しません。CertiKは再パッケージされたiOSアプリに含まれる悪意あるコードについて警告しています。iOSをアップデートし、不明な入手元は避けてください。

取引所へ直接送らない

Anubis上のペッグUSDTは別の資産です。まず元のチェーンにブリッジして戻してください。取引所はAnubis Chainからの入金を反映しません。

確認先

項目	確認先
チェーンIDと手数料の単位	chainlist.org/chain/6714
あらゆるアドレス、コントラクト、トークン、トランザクション	browser.anubispace.org
ブリッジの準備金	etherscan.io, bscscan.com, polygonscan.com（ブリッジコントラクト 0x250b…64f3と0x8932…5F71）
監査	skynet.certik.com
レート、上限、ボンド価格、ボールト	spartanar.org
お知らせ	x.com/AnubisChainL1 · x.com/Spartan_Arena_ · x.com/Anubis_Labs · t.me/SpartanOSLibrary

公式リンク

名称	アドレス
Anubis Chain	anubischain.ai
X上のAnubis Chain（2026年9月16日以降のメイン）	x.com/AnubisChainL1

数値はすべて、記載日時点のSpartan OSまたはAnubis Chainの公表どおりです。レートは変動します。上限は参加時に確定します。投資助言ではありません。

名称	アドレス
X上のSpartan OS	x.com/Spartan_Arena_
X上のAnubis Labs	x.com/Anubis_Labs
Spartan OSのdApp	spartanar.org
公式サイト	home.spartanar.org
RocketSwap	rocketswap.org
Anubis Bridge	app.anubisbridge.com
GaleBridge	galebridge.net
エクスプローラー	browser.anubispace.org
リソースライブラリ（Telegram）	t.me/SpartanOSLibrary
他言語のライブラリ	t.me/SpartanOSResourceLibraryCN · t.me/SpartanOSKoreanLibrary · t.me/SpartanOSJapaneseLibrary · t.me/SpartanOSVietnameseLibrary
開発者向けドキュメント	docs.anubispace.org
Phalanx Communityチャンネル	t.me/spartanos_phalanx
登録リンク（コードは紹介者のウォレットアドレス）	spartanar.org/myinvite?code=0x83659d0BDF57ac8550060E869fC5926e52E2e5Fe

ライブラリ

このハンドブックはある時点の記録です。ライブラリには、アシスタント、計算ツール、動画、チュートリアル、そしてすべての数値の最新版があります。リンクはPhalanxのチャンネル（t.me/spartanos_phalanx）に固定表示されています。ホーム画面に追加してください。